

14. 2口-261



\*1200601156908\*

19

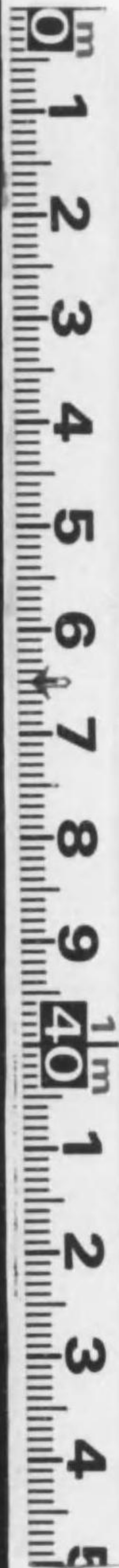
農務掛

米穀資料第十二號

米穀法ノ沿革

農林省米穀部

(代贈寫)



始





本編ハ昭和七年九月刊行シタル「米穀法ノ沿革」ヲ  
増補シタルモノナリ

昭和八年三月

農林省米穀部



米穀法ノ沿革 目次

第一帝國議會……………一

第二 米穀法及米穀需給調節特別會計法ノ制定及改正……………二

一 第四十四回帝國議會……………三

二 第四十六回帝國議會……………八

三 第四十九回帝國議會……………一二

四 第五十回帝國議會……………一四

五 第五十一回帝國議會……………一九

六 第五十二回帝國議會……………二三

七 第五十六回帝國議會……………二六

八 第五十八回帝國議會……………三〇

九 第五十九回帝國議會……………三三

十 第六十二回帝國議會……………四五

十一 第六十三回帝國議會……………四八

十二 第六十四回帝國議會……………七五

第三 米穀ニ關スル調査會……………八七

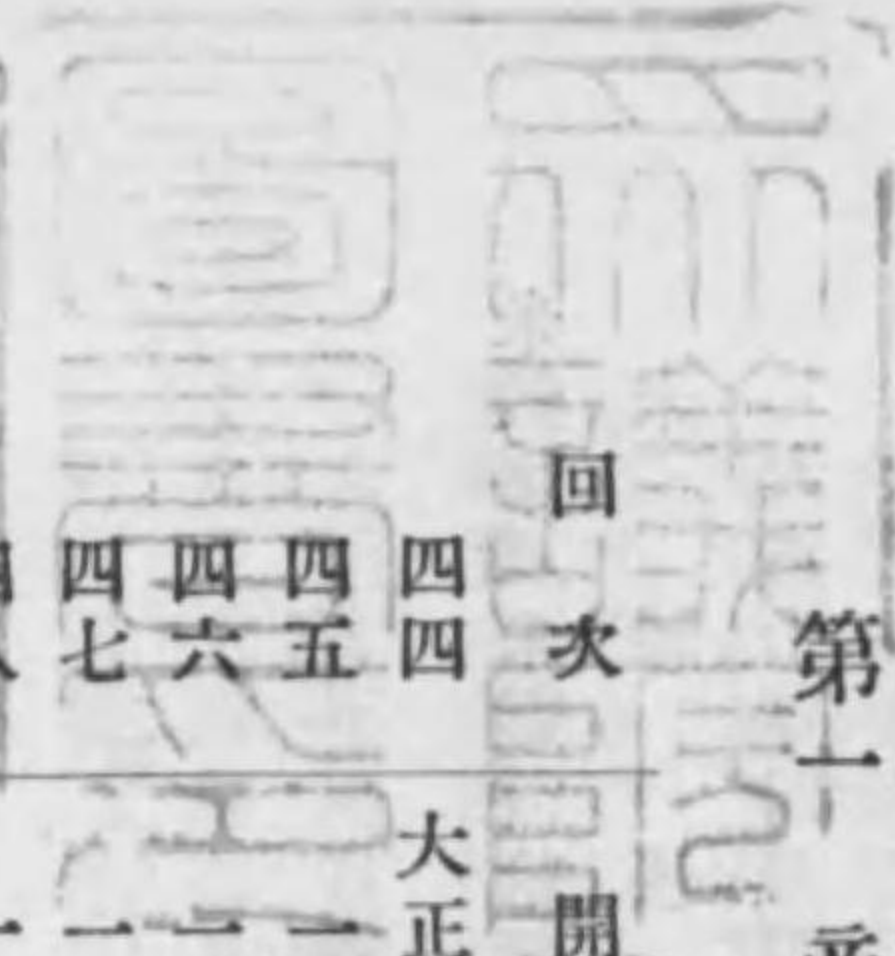


一	各種調査會	八八
二	米穀調査會	八九
三	米穀統制調査委員會	一〇二
四	米穀統制調査會	一〇三
第四	米穀法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件	一三〇
第五	米穀需給調節特別會計法附屬規程ノ沿革	一三二
一	米穀需給調節特別會計規則	一三二
二	米穀證券發行規程	一三五
第六	米穀法施行機關	一三八
一	食糧局設置	一三八
二	農務局ニ合併	一四四
三	米穀部設置	一五〇
四	米穀事務所	一五七
第七	米穀需給調節特別會計	一六九
一	豫算及決算	一六九
二	支出濟額内譯	一七〇
三	累年損益比較	一七一

四	大正十年度以降米穀證券發行高竝ニ割引歩合	一七二
五	昭和六年度以降借替米穀證券發行高竝ニ割引歩合	一七四
第八	米穀貯藏設備	一七五
一	米穀事務所附屬倉庫	一七六
二	政府米ノ貯藏ヲ寄託スル指定倉庫	一七七
第九	米穀現在高調査	一九三
第十	米穀委員會	二〇五
第十一	米穀法ノ施行	二一五
一	米穀ノ買入	二一五
二	朝鮮米ノ買入	二二八
三	米穀ノ賣渡	二三二
四	米穀ノ貸付	二三二
五	米穀ノ加工(搗精)	二三三
六	米穀ノ貯藏(燻蒸)	二三四
七	米穀ノ輸送	二三五
八	米及粳ノ輸入税ノ増減免除	二三六
九	米及粳ノ輸入制限	二四〇



第一帝國議會



回数	開院式	閉院式	解散	期間	内閣
四四	大正九年、一月、二七日	一〇、三月、二七日		九〇日	原
四五	〇、一月、二六	一、三月、二六		九〇日	高橋
四六	一、一月、二七	一、三月、二七		九〇日	加藤(友)
四七	一、一月、二七	一、三月、二七		九〇日	山本
四八	一、一月、二七	一、三月、二七		九〇日	山本、清浦
四九	一、一月、二八	一、三月、一九	一三、一、三一	二一	加藤(高)
五〇	一、一月、二六	一、三月、三一		九五	加藤(高)
五一	昭和元年、一月、二六	一五、三月、二六		九〇	若槻
五二	二、一月、二六	二、三月、二六		九〇	若槻
五三	二、一月、二六	二、三月、二六		九五	田中
五四	二、一月、二六	二、三月、二六	三、一、二二	二七	田中
五五	三、一月、二六	三、三月、二六		一四	田中
五六	三、一月、二六	三、三月、二六		九〇	田中

(第五十回議會ハ會期延長スルコト三回(一日、二日、二日)ニ及ヘリ)

十 米穀ノ輸出制限.....二五一

第十二 昭和五年豊作ニ對スル米穀政策.....二五二

一 總說.....二五二

二 粃又ハ玄米ノ貯藏獎勵.....二五三

三 罹災救助基金ニ依ル粃又ハ玄米ノ買入貯藏.....二六三

第十三 昭和六年米穀法改正後ノ經過.....二七四

第十四 現行法規.....二七六



五七	四、一二、二六	五、五、一四	五、一、二二	二七	濱口
五八	五、四、二三	六、三、二八	三	二一	濱口
五九	五、一二、二六	(二日間會期延長)	九二	九二	濱口
六〇	六、一二、二六		七、一、二二	二七	犬養
六一	七、三、二〇		七	二七	犬養
六二	七、六、一		七、六、一五	一四	齋藤

(第六十二回帝國議會ハ五月二十三日召集)

六三	七、八、二三	七、九、五	一三	齋藤
六四	七、一二、二六	八、三、二六	九〇	齋藤

(第六十三回帝國議會ハ會期延長スルコト三回(三日、一日、一日)ニ及ヘリ)

第二 米穀法及米穀需給調節特別會計法ノ制定及改正

米穀法及米穀需給調節特別會計法ノ制定及改正左ノ如シ  
米 穀 法

- 大正十年四月四日法律第三十六號ヲ以テ公布
- 大正十四年三月三十一日法律第三十六號ヲ以テ改正

- 昭和六年三月三十一日法律第三十一號ヲ以テ改正
- 昭和七年九月八日法律第三十四號ヲ以テ改正
- 昭和八年二月九日法律第二四號ヲ以テ廢止(昭和八年法律第二四號施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム)

米穀需給調節特別會計法

- 大正十年四月四日法律第三十七號ヲ以テ公布
- 大正十四年三月三十一日法律第三十三號ヲ以テ改正
- 昭和四年三月三十日法律第三十號ヲ以テ改正
- 昭和六年三月三十一日法律第三十二號ヲ以テ改正
- 昭和七年九月七日法律第二十七號ヲ以テ改正
- 昭和八年三月九日法律第二五號ヲ以テ改正

第四十四回帝國議會

(一) 米、穀、法、案

○政府提出原案  
政府ヨリ議會ニ提出シタル米穀法案左ノ如シ  
米 穀 法 案



第一條 政府ハ米穀ノ需給ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキハ米穀ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ米穀ノ需給ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀ノ輸入税ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得

第三條 政府ハ帝國內ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲サムトスルトキハ其ノ價格及期間ヲ告示スヘシ但シ米穀ノ買換、貯藏米穀整理ノ爲ニスル賣渡其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第四條 政府ハ米穀需給調節上米穀現在高調査ノ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ生産者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ調査ニ必要ナル事項ノ報告ヲ命シ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其ノ營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第五條 前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○衆 議 院

修正案提出(否決)

衆議院特別委員會ニ於テ齋藤宇一郎ヨリ左ノ修正案ヲ提出シタルモ採決ノ結果修正案否決、原案ヲ可

決ス

第一條中「需給」ノ下ニ「及價格」ヲ入ル

第二條中「需給」ノ下ニ「及價格」ヲ入ル

第四條 第二條、第三條ノ場合ニ於テハ米穀需給調節委員會ノ諮問ヲ經ルコトヲ要ス

米穀需給調節委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

原案ノ四條ヲ五條ニ繰下ケ「需給」ノ下ニ「及價格」ヲ入ル

○貴 族 院

修正案提出(可決)

貴族院特別委員會ニ於テハ更ニ小委員會ヲ設ケテ審議ノ結果左ノ通修正可決シ委員會及本會議ニ於テモ小委員會ノ修正案通リ可決セリ

第三條中「及期間」ヲ削除シ第二項ヲ加フ

前項ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ムヘシ

施行月日ヲ「公布ノ日」ト改ム

如此シテ本法案ハ議會ヲ通過シ四月四日ヲ以テ公布セラレタリ

米 穀 法

大正十年四月四日 法律第三十六號

第一條 政府ハ米穀ノ需給ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキハ米穀ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得



第二條 政府ハ米穀ノ需給ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀ノ輸入税ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得

第三條 政府ハ帝國内ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲サムトキハ其ノ價格ヲ告示スヘシ但シ米穀ノ買換、貯藏米穀整理ノ爲ニスル賣渡其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ムヘシ

第四條 政府ハ米穀需給調節上米穀現在高調査ノ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ生産者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ調査ニ必要ナル事項ノ報告ヲ命シ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其營業所倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第五條 前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務執行ヲ妨ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(二) 米穀需給調節特別會計法案

第一條 米穀需給ノ調節ノ爲ニスル米穀ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ之ヲ一般會計ト區分シ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコト

ヲ得

前項ノ規定ニ依ル借入金ノ額ハ第三條ノ規定ニ依リ發行スル證券ノ額ト通シテ最高二億圓トス

第三條 米穀ノ買入代價ハ外國ヨリ直接ニ買入ルル場合ヲ除クノ外一年内ニ償還スヘキ證券ヲ以テ其ノ額面金額ニ依リ之ヲ交付ス

前項ノ證券ハ無記名證券トス

第一項ノ規定ニ依リ交付スル爲政府ハ證券ヲ發行スルコトヲ得

第四條 日本銀行ハ前條ノ證券ノ所持人ノ請求ニ依リ政府ノ定ムル歩合ヲ以テ其ノ證券ノ割引ヲ爲スヘシ

第五條 本會計ノ負擔ニ屬スル證券及借入金ノ償還金及利子並證券ノ發行及償還ニ關スル諸費ノ支出ニ必要ナル金額ハ毎年度國債整理基金特別會計ニ之ヲ繰入ルヘシ

第六條 本會計ハ借入金米穀賣渡代金及附屬雜收入ヲ以テ歳入トシ米穀ノ買入代金米穀ノ買入賣渡交換加工貯藏及運搬ニ關スル諸費、證券及借入金ノ償還金及利子其ノ他諸費ヲ以テ歳出トス

第七條 本會計ニ於テ支拂上餘裕アルトキハ大藏省預金部ニ之ヲ預入ルヘシ

第八條 本會計ノ決算上剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ之ヲ繰入ルヘシ

本會計ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第九條 政府ハ毎年度本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ之ヲ提出スヘシ



第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ大正十年度ヨリ之ヲ施行ス

本法律案ハ議會ノ協賛ヲ經テ大正十年四月四日法律第三十七號ヲ以テ公布ス

(三) 罹災救助基金法中改正法案

政府ハ罹災救助基金法ヲ改正シ本基金ヲ以テ米穀賣買ノ途ヲ開ク爲メ改正法案ヲ第四十四議會ニ提出セリ

衆議院ニ於テハ齋藤宇一郎ヨリ本基金ヲ更ニ産業組合、農業倉庫等ノ資金ニモ運用シ得ル様改正セントノ希望ヲ以テ修正案ヲ提出セシモ採決ノ結果修正案ハ否決シ原案ヲ可決セリ  
然ルニ貴族院ニ於テハ此ノ基金ヲ以テ地方ニ於テ米ノ賣買ヲ爲ストキハ政府ノ米價調節ニ付テ賣買齟齬シ方針ヲ一定スルコト困難ナルノミナラス救助基金ノ目的ニモ反スルノ理由ヲ以テ否決セリ

二 第四十六回帝國議會

(一) 米穀法中改正法律案

○衆 議 院

齋藤宇一郎外二名ヨリ左ノ法律案ヲ提出セシモ特別委員會ニ於テ議了スルニ至ラス閉會セリ  
米穀法中改正法律案

米穀法中左ノ通改正ス

第一條及第二條中「米穀ノ需給」ノ下ニ「及價格」ヲ加フ

第三條ノ二 前二條ノ場合ニ於テハ米穀需給調節委員會ノ諮問ヲ經ルコトヲ要ス

米穀需給調節委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條中「米穀需給」ノ下ニ「及價格」ヲ加フ

然レトモ安達謙藏外四名及床次竹二郎外十一名ヨリ提出セシ「農村振興ニ關スル建議案」ヲ修正シテ其ノ中ニ

一米穀法ノ運用ヲ完フシ以テ米ノ需給ノ調節ヲ圖リ同時ニ其ノ價格ノ調節ニ違算ナキヲ期スルコト  
ノ一項ヲ設ケテ建議セリ依テ農商務省ニ於テハ曩ニ帝國經濟會議ヲシテ各種農村振興策ニ關シ審議ヲ盡サシメタル結果等ヲ參酌シテ適當ノ對策ヲ樹テ其ノ實行ヲ期スヘク閣議稟請セリ

備 考

帝國經濟會議官制ハ大正十三年四月一日勅令第七十號ヲ以テ公布シ同年十一月二十五日勅令第二百八十號ヲ以テ廢止セララル

(二) 建 議 案

○衆 議 院

(イ) 米穀法運用ニ關スル建議案

荒川五郎外五名ヨリ「米穀ノ標準價格ヲ公定シ米穀法ヲ運用シテ之ヲ調節スルコト」ニ付建議案ヲ提出セシモ特別委員會ニ於テ議事未了ノ儘閉會セリ



(ロ) 農村振興ニ關スル建議案

農村振興ニ關シ安達謙藏外四名及床次竹二郎外十一名ヨリ建議案ヲ提出セシカ特別委員會ニ於テ右二案ヲ併セテ一案トナシ修正可決セリ而シテ急速調査ヲ要スヘキ事項トシテ掲ケタルモノノ中米穀法ニ關スルモノ左ノ如シ

一 米穀法ノ運用ヲ完フシ以テ米ノ需給ノ調節ヲ圖リ同時ニ其ノ價格ノ調節ニ違算ナキヲ期スルコト

(三) 請願

○衆議院

(イ) 農村救済ニ關スル件

請願ノ要旨中「米麥價格ノ安定ヲ圖ラレタシ」トアリ

(右ハ採擇ト看做ス)

(ロ) 食糧政策根本確立ノ件

請願ノ要旨中「國法ヲ以テ外米ノ輸入ヲ斷然禁止スルト同時ニ國民全般ヲシテ米麥混用食ヲ爲サシムベキ政策ヲ實行セラレタシ」トアリ

(右ハ採擇)

(ハ) 農村維持農民保護ノ件

請願ノ要旨中「米穀價格ヲ相當ニ維持スルコト」トアリ

(右ハ採擇ト看做ス)

(ニ) 米穀法運用ニ關スル件

請願ノ要旨中「米穀法運用ニ際シテハ生産費ヲ基礎トシテ相當價格ヲ定メラレタシ」トアリ

(右ハ採擇)

請願ニ對スル處理

一 米麥價格ノ安定又ハ維持ニ關スル請願ニ付テハ左ノ意見ヲ附シ閣議ヲ稟請シ請議ノ通決定セリ

「米穀法運用、農業倉庫ノ普及其ノ他ノ施設ニ依リ直接間接ニ價格ノ調節安定ヲ期シツツアリ」

二 米穀法ノ運用ニ關スル請願ニ付テハ左ノ意見ヲ附シ閣議ヲ稟請シ請議ノ通決定セリ

「米穀法ハ買入價格ノ時價ニ準據スベキコトヲ規定スルヲ以テ生産費ヲ基礎トシテ買入價格ヲ決定スルコトハ現行法上不可能ナリ而シテ立法問題トシテ之ヲ考フルモ本問題ハ法律制定當時ニ於テ充分審議ノ結果米ノ生産費ハ其ノ調査頗ル困難ナルノミナラス各地各戸ニ依リ著シク異ナルモノナルヲ以テ生産費ニ依リテ買入價格ヲ定ムルコトハ適當ナラザルノ故ヲ以テ採用セラレザリシモノナルガ故ニ法律制定後日尙淺キ今日ニ於テハ未ダ之ガ改正ノ必要ナキモノト認ム」

(四) 質問書

○衆議院

質問主意書ヲ提出セルモノ左ノ如シ

農業政策及米穀法運用ニ關スル質問主意書

土井 權 大



木下甚三郎

中原德太郎

米穀法ニ依リ食料ノ安定農民ノ困憊防止ニ關スル質問主意書

食糧問題ニ關スル質問主意書

(五) 希望決議

○貴族院

(イ) 米穀法運用ニ關スル件

貴族院豫算委員第五分科會(大正十二年三月十三日)ニ於テ上山滿之進ヨリ米穀法運用ニ關シ左ノ希望決議案ヲ提出セシガ全會一致ヲ以テ可決シ次テ三月十五日豫算委員會、三月二十三日貴族院本會議ニ於テ何レモ之ヲ可決セリ

希望事項

調節ノ爲ニスル買入賣渡ト保管ノ爲ニスル買換トノ區分ガ動モスレバ混合セラルルノ虞アリ政府ハ深ク茲ニ留意シ荷モ米穀法ノ本旨ニ背クナカラムコトヲ望ム

三 第四十九回帝國議會

(一) 建議

○衆議院

(イ) 農村振興ニ關スル建議案

大正十三年七月十五日東武外十六名ヨリ左ノ建議案ヲ提出シ七月十七日滿場一致ヲ以テ可決セリ

農村振興ニ關スル建議

今ヤ農村ハ疲弊困憊ノ極ニ達シ各種ノ社會問題惹起シツツアリ此ノ際ニ當リ適當ナル方策ヲ講ズルニアラザレバ遂ニ農村ハ滅亡シ國家ノ基礎ヲ危フスルニ到ルヤ必セリ仍テ政府ハ這般ノ事情ニ鑑ミ速ニ左ノ各項ノ實現ヲ圖リ以テ國本ノ培養ニ勉ムベシ

三 米穀法及關稅定率法ノ改正

(一、二、四、五、六、七、八、略)

帝國農政協會ノ米穀法改正案

帝國農政協會ニテハ大正十三年七月三日四日帝國農會ニ於テ理事會ヲ開キ今期特別議會ニ議員ヨリ提出ヲ要望スル事項トシテ左ノ米穀法改正案ヲ決議セリ

米穀法改正法案

第一條 政府ハ米穀ノ價格及數量ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキハ米穀ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ米穀ノ價格及數量ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得

第三條 削除

第四條 同上



第五條 同 上

四 第五十回帝國議會

(一) 法律案

(1) 米穀法中改正法律案

○衆議院

二月五日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

米穀法中改正法律案

米穀法中左ノ通改正ス

第一條及第二條中「米穀ノ需給」ヲ「米穀ノ數量又ハ市價」ニ改ム

第四條中「米穀需給調節上」ヲ「米穀ノ數量又ハ市價調節上」ニ改ム

附則

本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二月十九日本會議ニ於テ左ノ附帶決議案ヲ提出セシモ採決ノ結果否決シ原案ヲ可決セリ

米穀法中改正法律案ニ對スル附帶決議

米穀法ハ當面ノ急ニ應シテ聊カ暴騰暴落ヲ牽制スルノ效ナシトセザルモ微温不徹底ニシテ到底米價調節ノ目的ヲ達スル能ハザルヤ既往ニ徴シテ明ナリ隨テ之ガ根本政策ノ樹立ハ極メテ喫緊事ニ屬ス政府ハ米價安定ノ國民生活及農村振興ニ至大ノ關係アルニ鑑ミ米穀專賣其他ノ政策ニ付利害

得失ヲ審究シ速ニ米價安定ノ根本政策ヲ定ムベシ

○貴族院

三月二十三日左ノ希望決議ト共ニ原案ヲ可決セリ

米穀ノ市價ヲ調節スルニ當リ若シ其ノ方法宜シキヲ得ザルトキハ却テ市場ヲ攪亂スルノ虞ナシトセズ依テ政府ハ之カ實行ニ際シ十分慎重ナル注意ヲ取ラレムコトヲ望ム

而シテ右法案ハ大正十四年三月三十日法律第三十六號ヲ以テ公布セラレ改正後ノ米穀法ノ條文左ノ如シ

米穀法 大正十年四月四日 法律第三十六號

第一條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀ノ輸入稅ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得

第三條 政府ハ帝國內ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲サムトスルトキハ其ノ價格ヲ告示スヘシ但シ米穀ノ買換、貯藏米穀整理ノ爲ニスル賣渡其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ムヘシ  
第四條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價調節上米穀現在高調査ノ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ生産者、



取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ調査ニ必要ナル事項ノ報告ヲ命シ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得  
第五條 前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務執行ヲ妨ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

備考 改正法律ハ大正十四年四月一日ヨリ施行

○米穀法中改正反對陳情

議會開會中大阪穀物商同業組合組長上田彌兵衛外三名及全國取引所聯合會米穀部幹事取引所株式會社大阪堂島米穀取引所理事長宮崎敬介外四名ヨリ米穀法改正ニ關シ反對ノ陳情ヲナセリ

(ロ) 米穀需給調節特別會計法中改正法律案

○衆議院

二月八日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

第一條中「米穀需給」ヲ「米穀ノ數量又ハ市價」ニ改ム

附則

本法ハ大正十四年度ヨリ之ヲ施行ス

本法律案ハ議會ノ協賛ヲ經テ大正十四年三月三十日法律第三十三號ヲ以テ公布ス

(二) 建議案

○衆議院

(イ) 食糧政策確立ニ關スル建議案

坂本幸太郎ヨリ「我國食糧品ノ生産ハ人口ノ増殖ニ伴ハズ仍テ政府ハ之ニ對スル政策ヲ確立シ速ニ實行セラレタシ」トノ建議案ヲ提出シ三月二十三日之ヲ可決ス

(ロ) 北陸ニ國立倉庫設置ニ關スル建議案

寺島權藏外二名ヨリ「北陸地方ニ國立倉庫ヲ設置セラレタシ」トノ建議案ヲ提出シ三月二十五日可決セリ

(ハ) 國立倉庫ニ關スル建議案

大島要三外六名ヨリ「福島市ニ國立倉庫ヲ設置セラレタシ」トノ建議案ヲ提出シ三月二十五日之ヲ可決セリ

(三) 請願

○貴族院

(イ) 農産物價格安定ニ關スル件

請願ノ要旨中「穀價及糸繭價格ノ安定ヲ圖リ農村救済ノ方法ヲ講ゼラレタシ」ト在リ



(右ハ委員會議事未了)

(ロ) 米麥法定價格制定ニ關スル件

請願ノ要旨中「米麥ノ最高最低價格ヲ制定シテ適當ノ調節ヲ圖リ以テ農民生計ノ安定ヲ期セラレタシ」トアリ

(右ハ採擇)

○衆議院

(イ) 農產物價格安定ノ件

請願ノ要旨中「穀物ノ最低價格ヲ公表シ、  
、  
、  
、  
農產物價格ヲ安定セラレタシ」トアリ

(右ハ參考送付)

(ロ) 農村振興其ノ他ニ關スル件

請願ノ要旨中「食糧ノ自給自足、  
農產加工國立研究所ノ設置等」トアリ

(右ハ參考送付)

(ハ) 米麥法定價格制定ノ件

請願ノ要旨中「米麥最高最低ノ法定價格ヲ制定シ之ヲ實施セラレタシ」トアリ

(右ハ參考送付)

(ニ) 残飯取締ノ件

請願ノ要旨中「汽車辨當、  
軍隊、工場等ノ残飯ヲ整理利用シテ食糧調節ヲ圖ル研究ヲ爲シ適當ナル施

設ヲ行ハレタシ」トアリ

(右ハ參考送付)

(ホ) 米麥混食法制定ノ件

請願ノ要旨中「國民一般ニ三割ノ麥ヲ混食セシムル爲米麥混食法ヲ制定セラントシ」トアリ

(右ハ參考送付)

(四) 質問書

○衆議院

質問主意書ヲ提出セルモノ左ノ如シ

多木久米次郎

米及粳ノ關稅ニ關スル質問主意書

同上再質問主意書

建部遜吾

食糧問題ニ關スル質問主意書

五 第五十一回帝國議會

(一) 關稅定率法中改正法律案

○衆議院

政府ヨリ提出シタル關稅定率法中改正法律案審議ノ際「米及粳」ノ稅率現在「百斤ニ付一圓」トアルヲ



「百斤ニ付一圓五十錢」ニ修正案(政友會)出デシモ結局現行法通ニシテ改正ヲ見ルニ至ラズ

(二) 建議案

○衆議院

(イ) 福島市ニ國立倉庫設立ニ關スル建議案

大島要三外六名ヨリ提出シ可決セリ

(三) 請願

○貴族院

(イ) 肥料原價供給平準米價維持ニ關スル件

本件ハ審議未了

(ロ) 穀物搗精取締法制定ニ關スル件

「混砂白米ハ米ノ量ヲ損失スルコト莫大ナルノミナラズ國民ノ保健衛生上有害ナルヲ以テ穀物搗精取締法ヲ制定セラレタシ」トノ請願

(右ハ審議未了)

(ハ) 穀物搗精取締法制定ニ關スル件

「穀類搗精取締法ノ制定ヲ猶餘セラレタシ」トノ請願

(右ハ審議未了)

(ニ) 米穀貯藏倉庫設置ノ件

「旭川市ニ米穀貯藏倉庫ヲ設置セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

○衆議院

(イ) 肥料原價供給並平準米價維持ニ關スル件

「平準米價維持ノ爲相當ノ方策ヲ講ゼラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ロ) 旭川市ニ米穀貯藏倉庫設置ノ件

(右ハ採擇)

(ハ) 穀類搗精取締法制定猶餘ノ件

(右ハ參考送付)

(ニ) 穀ノ政府專賣ニ關スル件

「政府ニ於テ穀專賣ノ制度ヲ實現セラレタシ」トノ請願

(右ハ參考送付)

(四) 質問書

○衆議院

質問主意書ヲ提出セルモノ左ノ如シ

清水市太郎



東洋政策ニ關スル質問

原 夫 次 郎

農村振興ニ關スル質問

土 井 權 大

同再質問

作 間 耕 逸

正米市場法制定ニ關スル質問

三月十日衆議院本會議ニ於ケル三輪議員ノ質問ニ對スル内閣總理大臣ノ答辯左ノ如シ

(速記録ニ依ル)

○國務大臣(若槻禮次郎君) 三輪君ノ御質問ハ極メテ重要ナル御質問デアリマス、故ニ私ハ明確ニ箇條ヲ逐フテ御答辯ヲ申上ゲマス、第一ハ米穀法ノ運用ニ關シマシテハ單リ内地米ニ限ラナイコトニ致スノデアリマシテ、此點ハ申上ゲルマデモナイ事デアリマス、第二ハ米價ガ著シク騰貴若クハ下落致シマシタ場合ニ於テハ生産者ト消費者トノ利害ヲ調和スルガ爲ニ米穀法ノ運用ニ依テ之ヲ調節スルノ方針ヲ執ル考デアリマス(拍手)第三ハ米穀委員會ノ委員ハ半數以上ハ民間委員ヲ以テ之ニ充シマシテ民間委員ノ中農業ニ關シテ知識經驗ヲ有スル者ノ數ヲ多クスル考デアリマス、(拍手)第四ハ米穀委員會ハ委員三分ノ一以上ノ要求ガアリマシタラバ之ヲ開會スルコトニ致シマス(拍手)最後ノ御質問ノ米穀委員會ノ意見ハ之ヲ尊重スルヤウニト云フ事柄ハ政府モ固ヨリ其ノ通りニ致ス

考デアリマス(拍手)三輪君ノ御質問ハ極メテ重要デアリマス故ニ私モ亦明確ニ御答辯ヲ申上ゲテ置キマス(拍手)

○三輪市太郎君 只今ノ總理大臣ノ御答辯ハ満足ヲ致シマス、全ク農家ノ爲ニ感謝スル所デアリマス(拍手)

### 六 第五十二回帝國議會

#### (一) 建 議

○衆 議 院

(イ) 米麥搗精ノ取締及制限ニ關スル建議案

荒川五郎外九名ヨリ「混砂搗精及白土塗裝ヲ禁止シテ之ガ取締ノ法ヲ設ケ又相當程度ニ制限シタル精白米麥ヲ常用セシムル様之ガ普及獎勵ノ途ヲ講ゼラレタシ」トノ建議案ヲ提出シ三月二十五日議決セリ

(ロ) 福島市ニ國立倉庫設立ニ關スル建議案

「福島市ニ國立倉庫ヲ設立セラレタシ」トノ建議案ハ三月二十五日議決セリ

(ハ) 宮城縣ニ國立米穀倉庫設置ニ關スル建議案

内ヶ崎作三郎外三名ヨリ提出シ三月二十五日議決セリ

(ニ) 正米市場法制定促進ニ關スル建議案

作間耕逸外二名ヨリ「米穀需給ノ反射作用ヲ正確ナラシメ正米ノ價格ヲ公正ニ維持スルト共ニ不自然



ナル米價ノ動搖ヲ禦ギ供給者モ需要者モ眞ニ米價ノ準繩トシテ之ニ倚據セシメ有力ナル當業者ヲ自然ニ招致シ以テ米ノ集散ヲ圓滑ナラシムル目的ヲ達成スル爲速ニ正米市場法ヲ制定セラレタシトノ提案ヲナシ三月二十五日議決セリ

(ホ) 農漁村ノ金融ニ關スル建議案

床次竹二郎外十二名ヨリ「各種低利資金ノ融通額ヲ増加シ且其ノ貸付方法ヲ簡便ナラシメ以テ速ニ農漁村ノ窮狀ヲ救済セラレタシ」トノ提案ヲナシ三月二十五日議決セリ

(二) 請願

○衆議院

(イ) 米穀最低價格保證制度ニ關スル件

「生産者ノ不安ヲ除ク爲米穀最低價格保證制度ヲ確立セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ロ) 肥料原價供給並平準米價維持ニ關スル件

(右ハ採擇)

(ハ) 穀類搗精取締法制定ニ關スル件

「混砂搗精ヲ嚴禁シ、絶對無砂精米ヲ常用セシムル爲穀類搗精取締法ヲ制定セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ニ) 正米市場法制定ニ關スル件

「旭川市ニ正米市場ヲ設置セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ホ) 正米市場法制定ニ關スル件

「米穀ノ需給ヲ圓滑ナラシメ不自然ナル價格ノ動搖ヲ禦グ爲本期議會ニ該法案ヲ提出セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

○貴族院

(イ) 米穀最低價格保證制度ニ關スル件

(右ハ審議未了)

(ロ) 肥料原價供給並平準米價維持ニ關スル件

(右ハ審議未了)

(三) 質問

○衆議院

質問主意書ヲ提出セルモノ左ノ如シ

多木久米次郎

外米輸入關稅撤廢ニ關スル緊急質問

兼松寅太郎



正米市場政策ニ關スル質問

土井權大

産業政策ニ關スル質問

小橋三衛

人口食糧政策ニ關スル質問

七 第五十六回帝國議會

(一) 米穀需給調節特別會計法中改正法律案

○衆議院

昭和四年二月十六日三輪市太郎外六十三名ハ内ヶ崎作三郎外百十四名ノ賛成ヲ得テ左ノ法律案ヲ提出セリ

米穀需給調節特別會計法中左ノ通改正ス

第二條第二項中「最高二億圓トス」ヲ「最高四億圓トス」ニ改ム

然ルニ政府ハ三月八日左ノ法律案ヲ衆議院ニ提出セリ

米穀需給調節特別會計法中左ノ通改正ス

第二條中「二億圓」ヲ「二億七千萬圓」ニ改ム

三月十五日特別委員會ニ於テ右政府案可決セララルヤ議員提出案ハ之ヲ提出者ヨリ撤回セリ、而シテ同日本會議ニ於テ政府案ヲ可決セリ

○貴族院

三月二十五日特別委員會ニ於テ左ノ希望決議ヲ附シテ政府案ヲ可決セシガ、同日本會議ニ於テモ委員會決議決通可決セリ

本資金ノ増加ハ新ニ設ケラルベキ調査委員會ニ依リテ米穀需給ノ調節ニ關スル根本方針ノ決定ニ至ルマデノ便法トシテ其間ニ於ケル米價ノ急激ナル低落ニ供ヘ其生産ニ重大ナル影響ヲ及ボスベキ場合ニ限り使用スベキ用意トシテ已ムヲ得ザルモノト認ム、然ルニ過去米穀法資金二億圓中六千餘萬圓ノ損失ヲ招キ更ニ七千萬圓ノ増加ヲ要スルニ至リタルハ畢竟本法ノ運用宜シキヲ得ザルニ因ル、當局者ハ將來其運用上深甚ノ注意ヲ拂ハムコトヲ望ム

(二) 建議

○衆議院

(イ) 米價恢復維持ニ關スル建議案

加藤知正ヨリ「政府ハ速ニ米穀法ヲ改正シテ米ノ大量買上ヲナシ、朝鮮臺灣ニ米穀法ヲ施行シ、鮮、灣ニ於テモ外米輸入制限ヲ勵行シ外米輸入ノ關稅率ヲ高メ以テ米價ノ維持恢復ニ努メラレタシ」トノ提案ヲナシ三月二十五日可決セリ

(ロ) 米價政策ニ關スル建議案

三輪市太郎外六十名ヨリ「米穀法ノ施行區域ヲ朝鮮、臺灣ニ擴張シ外國米ノ輸入制限ヲ徹底的ニ實行シ、米穀倉庫ノ建設費ヲ一般會計ニ移シ、特別會計ノ損失整理案ヲ速ニ議會ニ提出セラレタシ」トノ



提案ヲナシ三月二十五日可決セリ

(ハ) 米穀價格政策ニ關スル建議案

胎中楠右衛門外二名ヨリ「各府縣ニ米穀同業組合ヲ中央ニ同聯合會ヲ設立セシメ米穀検査、均賣的共同販賣斡旋、米穀擔保金融、公定價格以外ノ米ノ販賣禁止、消費地ニ販賣店指定等ノコトヲ行ハシメ臺灣米ニ付テモ之ニ準ゼシメ、外米ハ政府ニ於テ管理スル等此際速ニ米穀價格政策ヲ樹立セラレタシ」トノ提案ヲナシ三月二十五日可決セリ

(ニ) 粳貯藏ニ關スル建議案

胎中楠右衛門外三名ヨリ「此ノ際速ニ粳貯藏ニ關スル方策ヲ樹立シ以テ米穀法運用ノ圓滿ヲ期セラレタシ」トノ提案ヲナシ三月二十五日可決セリ

(ホ) 山陰道出雲國內ニ國立農業倉庫設立ニ關スル建議案

原夫次郎外三名ヨリ提案三月二十五日可決セリ

(ヘ) 廣島縣ニ國立農業倉庫設置ニ關スル建議案

藤田若水外二名ヨリ提案三月二十五日可決セリ

(ト) 米穀法中改正ニ關スル建議案

富澤裕外三名ヨリ「米穀法ヲ改正シテ米價ノ向上ヲ圖リ且米價ノ激變ヲ防止スル爲高低標準價格ヲ公定セラレタシ」トノ提案ヲナシ三月二十五日可決セリ

(三) 請願

○貴族院

(イ) 米價調節ニ關スル件

「米穀法ヲ運用スル場合(イ)生産消費者ノ生活ヲ保證シ(ロ)運用資金ノ増額ト損失補填ノ方法ヲ講ジ(ハ)臺鮮ニモ米穀法ヲ施行シ(ニ)産米過剩地ニ於テ買上ヲナシ(ホ)應急ノ場合ハ米穀委員會ノ諮問ヲ經ズシテ買上(ゲ)買上値ハ市價ト米價ヲ考慮シ(ト)粳ノ買上ヲナシ(チ)食糧省ヲ置クカ食糧局ヲ復活スルコト若シ米穀法ヲ以テ米價ノ調節不可能ナリトセバ同法ヲ根本的ニ改正スルカ又ハ米專賣、價格公定ノ制度ヲ設ケラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

○衆議院

(イ) 米價調節ニ關スル件

「農村ノ現状ニ鑑ミ疲弊窮乏ヲ救済スルノ適法ヲ選ミ農民ノ生活安定ヲ圖ラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(四) 質問

○衆議院

質問主意書ヲ提出シタルモノ左ノ如シ

資源並食糧問題ニ關スル質問

葛原猪平



八 第五十八回帝國議會

(一) 建議

○衆議院

(イ) 米價恢復維持ニ關スル建議案

近年米價ノ低落ハ以テ其ノ生産費ヲ償フニ足ラズシテ農村ノ荒廢、農家ノ困憊愈甚シキヲ加ヘントスルノ状態ニアルハ國家ノ爲由々敷大問題ト謂ハザルベカラズ仍テ政府ハ速ニ之ガ對策ヲ講ジ米價ノ恢復維持ニ努メラレンコトヲ望ム

(ロ) 米價ノ生産費以下ノ下落防止策ニ關スル建議案

米價ノ高キニ過グルハ多數ノ細民苦シムベキヲ以テ宜シカラズト雖米價ガ安キニ過ギテ生産費以下ニ下ルガ如キコトアラバ多數農民ノ困厄之ニ過グルモノナカラム從テ農村振興ノ政策多々アルベシト雖多數農民ヲシテ其ノ職ニ安ムゼシムルニハ先ヅ米價ヲ生産費以下ニ下ラザル様ニスル方策ヲ講ズルコト最緊要ナリト信ズ仍テ政府ハ米價ヲ生産費以下ニ下ラザル様ニスル適當ナル方策ヲ講ゼラレムコトヲ望ム

(ハ) 酒造官營ニ關スル建議案

酒造業ハ之ヲ官營ト爲サムコトヲ望ム

備考

右三案ハ何レモ審議未了ニ終レリ

(二) 請願

○衆議院

(イ) 田畑地租全廢ノ件

「政府ニ於テ田畑地租ノ全廢又ハ期年撤廢ノ途ヲ講セラレタシ」トノ請願  
(右ハ採擇ト看做ス)

(ロ) 農村救濟施設ニ關スル件

「米價下落ノ防止」(二)——(六略)等ノ諸施設ヲ實施シ以テ農村ヲ救濟セラレタシ」トノ請願  
(右ハ審議未了)

(三) 質問主意書

○衆議院

質問主意書ヲ提出セルモノ左ノ如シ

農村救濟ニ關スル質問主意書

要旨

左ノ諸件ニ對スル政府ノ所見如何

一 米穀法ノ運用

(二以下略)

八 田 宗 吉



土井 權 大  
胎中 楠右衛門

農業政策ニ關スル質問主意書

要 旨

左記各項ニ付如何ナル具體案ヲ所持セラルルヤ

四 米麥藁等農産物價格ノ維持

(其ノ他略)

多木 久米次郎

農業救済ニ關スル質問主意書

要 旨

六 米ノ調節局ヲ全廢スルカ又ハ組織ヲ改善シテ農産增收ニ資スベキ政策ヲ實現セラレムコトヲ

望ム

(其ノ他略)

土井 權 大

外一名

米穀及肥料政策ニ關スル質問主意書

要 旨

四 衆議院ハ第五十六回帝國議會ニ於テ滿場一致ヲ以テ米價ニ關スル根本政策ヲ樹立スベキ旨ノ

意思ヲ表示シ米穀法ヲ根本ヨリ改正シ米穀ノ價格安定ト其價格維持ノ方策ヲ樹立スベシト要

望シタルニ拘ラズ未ダ其ノ運ニ至ラズ荏苒トシテ爲スナキノ事由果シテ如何

五 政府ハ將來米穀ニ對シ如何ナル具體的政策ヲ樹立セムトスルカ

(其ノ他略)

九 第五十九回帝國議會

(一) 法律案

(イ) 米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀調査會ノ答申ニ基キ左ノ法律案ヲ提出セリ

米穀法中左ノ通改正ス

第二條中「米穀ノ輸入税ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得」ヲ「米穀ノ

輸入税ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得」ニ改ム

第三條 米穀ノ輸入又ハ輸出ハ勅令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレ

バ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第四條ヲ第六條トシ第五條中「前條」ヲ「第六條」ニ改メ同條ヲ第八條トス

第四條 政府ガ帝國内ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲スハ米價ガ政府ノ告示

シタル最低價格又ハ最高價格ヲ超エ低落又ハ騰貴シタル場合ニ限ル但シ米穀ノ買換、貯藏米穀



整理ノ爲ニスル賣渡、輸入ヲ目的トスル米穀ノ買入及輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ米價ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ指定スル市場ノ相場ニ依リ之ヲ定ム

第一項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定メ同項但書ノ場合ヲ除クノ外之ヲ告示ス

第五條 前條ノ最低價格又ハ最高價格ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル事項ヲ基礎トシ之ヲ定ム

米穀生産費

家計費

米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格

第七條 第三條ノ規定ニ違反シテ米穀ヲ輸入又ハ輸出シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ米

穀ヲ沒收ス若シ其ノ米穀ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價格ヲ追徴ス

營業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ前項ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇入其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

法人ノ代表者其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

命令ノ定ムル所ニ依リ當分ノ内第四條ノ最低價格又ハ最高價格ハ第五條ノ規定ニ拘ラズ米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格ヲ基礎トシテ之ヲ定ム

右議會ノ協賛ヲ經テ昭和六年三月三十一日法律第三十一號ヲ以テ之ヲ公布シ、昭和六年六月三十日勅令第六十八號ヲ以テ昭和六年七月一日ヨリ施行セシガ本法律案ノ議決ニ當リ貴衆兩院ニ於テ議決セラル希望決議左ノ如シ

希望條項

衆議院

本法附則第二項ノ規定ハ米穀生産費及家計費ニ關スル資料ノ整備スル迄ノ暫定方法トシテ已ムヲ得ザルモノト認ムルモ政府ハ米穀生産費及家計費ノ調査ヲ一日モ速ニ完了シ之ヲ基準價格ノ決定ニ用ウルト共ニ内地ニ於ケル米穀生産保護ノ極メテ緊切ナル事實ニ鑑ミ最低基準價格ハ努メテ米穀生産費ニ近カラシムル様最善ノ考慮ヲ拂ハレンコトヲ望ム

希望決議

貴族院

(一) 第五十六議會ニ於テ米穀資金七千萬圓ノ増額ヲ議決スルニ當リ米穀法ノ運用ニ付深甚ノ注意ヲ拂ハレンコトヲ政府ニ警告セリ然ルニ爾來近々二年ニシテ今復八千萬圓増加ノ已ムナキニ至リタルハ頗ル遺憾ニ堪エス政府ハ今後一層思フ米穀法ノ適正ナル運用ニ致シ其ノ過ヲ三たびセザランコトヲ望ム



(二) 米穀法ノ買換ノ過去ノ実績ハ調節賣買ニ陥リタルノ感ナキヲ得ズ今米穀法ノ改正ニ依リ調節賣買ニ一定ノ基準ヲ設クル以上ハ將來ノ買換ハ一層規律アルモノナラザルベカラズ之ガ爲メニ施行命令中ニ適當ノ規定ヲ設ケンコトヲ望ム

(三) 米穀生産費及生計費ト率勢米價トヲ對比シテ調節基準ヲ定ムル場合ニ當リ其ノ組合セノ割合ニ於テ偏重偏輕ナキヲ期センコトヲ望ム

参 照

○ 勅令第六十八號(昭和六年六月三十日公布)

昭和六年法律第三十一號ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○ 勅令第七十號米穀法施行令(昭和六年六月三十日公布)

○ 農林省令第十三號米穀法施行規則(昭和六年七月一日公布)

(ロ) 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中左ノ通改正ス

第二條第二項ヲ削ル

第四條ノ二 第三條ノ規定ニ依リ發行スル證券ノ借換ノ爲政府ハ借入ヲ爲シ又ハ一年內ニ償還スヘキ證券ヲ發行スルコトヲ得其ノ借換ニ付亦同シ

第四條ノ三 本會計ノ負擔ニ屬スル證券及借入金ノ額ハ通シテ最高三億五千萬圓トス

附 則

本法ハ昭和六年度ヨリ之ヲ施行ス

(右議會ノ協賛ヲ經昭和六年三月三十一日法律第三十二號ヲ以テ公布セリ)

(ハ) 米穀需給法案 (土井權大君外三名提出)

第一條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲毎年一定ノ時期ニ於テ一千万石以内ノ米ノ買入ヲ爲スコトヲ得 但シ靱ヲ以テ買入レタルトキハ靱ノ米ニ對スル換算ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

政府貯藏ノ米又ハ靱ハ前項買入ルヘキ數量中ニ加算ス

第二條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎月平均賣ヲ以テ米ノ賣渡又ハ輸出ヲ爲シ買入ノ日ヨリ起算シ一年以内ニ其ノ處分ヲ爲スヘシ但シ數量調節ノ爲貯藏ノ必要アル部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

靱ハ加工又ハ貯藏ヲ爲シ加工シタル靱ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用ス

第三條 米穀ノ輸入又ハ輸出ハ勅令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 政府ハ帝國内ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ第二條ノ規定ニ依リ米ノ賣渡ヲ爲サムトスルトキハ其ノ價格ヲ告示スヘシ 但シ米穀ノ買換、貯藏米穀ノ整理ノクメニスル賣渡其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ムヘシ

第五條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價調節上米穀現在高調査ノ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ生産者、取引業者、倉庫業者其ノ他ノ占有者ニ對シ調査ニ必要ナル事項ノ報告ヲ命シ又ハ官吏若ハ吏員ヲシ



テ其營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第六條 前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 第三條ノ規定ニ違反シテ米穀ヲ輸入又ハ輸出シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ米穀ヲ沒收ス若シ其ノ米穀ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價格ヲ追徴ス

營業者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ前項ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

法人ノ代表者其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀法ハ之ヲ廢止ス

米穀需給法案理由書

現行米穀法ハ有效ニ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節シ得サルカ故ニ之ヲ廢止シテ別ニ有效適切ニ其ノ目的ヲ達成スル立法ヲ爲スノ要アリト認ム

之本案ヲ提出スル所以ナリ

(右ハ衆議院ニ提出セシガ審議未了)

(ニ) 米穀需給特別會計法案 (土井權大君外三名提出)

第一條 米穀ノ數量又ハ市價ノ調節ノ爲ニスル米穀ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ之ヲ一般會計ト區分シ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲ニ必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル借入金ノ額ハ第三條ノ規定ニ依リ發行スル證券ノ額ト通シテ最高三億圓トス

第三條 米穀ノ買入代價ハ外國ヨリ直接ニ買入ルル場合ヲ除クノ外一年內ニ償還スヘキ證券ヲ以テ其額面金額ニ依リ之ヲ交付ス

前項ノ證券ハ無記名證券トス

第一項ノ規定ニ依リ交付スル爲政府ハ證券ヲ發行スルコトヲ得

第四條 日本銀行ハ前條ノ證券ノ所持人ノ請求ニ依リ政府ノ定ムル歩合ヲ以テ其ノ證券ノ割引ヲ爲スヘシ

第五條 本會計ノ負擔ニ屬スル證券及借入金ノ償還金及利子並證券ノ發行及償還ニ關スル諸費ノ支出ニ必要ナル金額ハ毎年度國債整理基金特別會計ニ之ヲ繰入ルヘシ

第六條 本會計ハ借入金、米穀賣渡代金及附屬雜收入ヲ以テ歲入トシ米穀ノ買入代金、米穀ノ買入賣渡交換加工貯藏及運搬ニ關スル諸費、證券及借入金ノ償還金及利子其ノ他諸費ヲ以テ歲出トス



第七條 本會計ニ於テ支拂上餘裕アルトキハ大藏省預金部ニ之ヲ預入ルヘシ  
 第八條 本會計ノ決算上剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ之ヲ繰入ルヘシ  
 本會計ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得  
 第九條 政府ハ毎年度本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ之ヲ提出ス  
 ヘシ

第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 附 則

本法ハ昭和六年度ヨリ之ヲ施行ス  
 米穀需給調節特別會計法ハ之ヲ廢止ス

米穀需給特別會計法案理由書

現行米穀需給調節特別會計法ハ有效ニ其目的ヲ達セスト認ム依テ之ヲ廢止シ別ニ有效ニ其目的ヲ達シ得ヘキ制度ヲ確立スルノ必要ヲ認ム  
 之本案ヲ提出スル所以ナリ

(右ハ衆議院ニ提出セシガ審議未了)

(二) 建 議

○衆 議 院

(イ) 米麥混砂搗精禁止ニ關スル建議

政府ハ速ニ米麥混砂搗精禁止法規ヲ制定セラレムコトヲ望ム  
 右建議ス

(ロ) 國立農業倉庫設置ニ關スル建議

島根縣能義郡安來町附近ニ速ニ國立農業倉庫ヲ設置セラレムコトヲ望ム  
 右建議ス

(右二件共議決)

(三) 請 願

○貴 族 院

(イ) 穀類搗精取締法制定ニ關スル件

「混砂搗精ヲ嚴禁シテ絶對無砂精米麥ノ普及ヲ計ル爲ニ穀類搗精取締法ヲ設ケラレタシ」トノ請願  
 (右願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決セリ)

○衆 議 院

(イ) 米穀法改正ニ關スル件

「米穀法ノ改正ニ際シテハ米ノ生産費ヲ基調トシテ改正セラレタシ」トノ請願  
 (右ハ採擇シタルモノト看做ス)

(ロ) 米穀最低價格ノ公定補償ニ關スル件

「政府ハ速ニ生産諸費ヲ斟酌シテ米ノ最低價格ヲ公定シ若シ市價カ其ノ公定價格以下ニ下落スルトキ



ハ政府ニ於テ其ノ差額ヲ補償スルノ制ヲ立テラレタシトノ請願  
(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

ハ) 米價基準法制定ニ關スル件

「米穀生産費、家計費及率勢價格ヲ基礎トスル米價基準案ハ率勢價格ヲ削除シ米價基準ヲ制定セラレ  
タシ」トノ請願

(右ハ採擇シタルモノト看做ス)

ニ) 米商價ノ生産費維持ニ關スル件

「政府ハ米商ニ對シ其ノ生産費ヲ維持セシムル様適當ノ方策ヲ講シ以テ現下農家ノ窮狀ヲ打開セラレ  
タシ」トノ請願

(右ハ採擇)

ホ) 農民經濟救済ニ關スル件

「左記各項ヲ即時決行セラレタシ」トノ請願

一 生産費ニ對スル米價維持ノ件

(其ノ他略)

(右ハ採擇シタルモノト看做ス)

ヘ) 農村救済ニ關スル件

「政府ハ農村救済ノ爲ニ左記各項ニ關スル適實緊急ノ施設ヲ講ゼラレタシ」トノ請願

三 米及其ノ他ノ重要農産物乳製品ノ市價維持ニ關スル積極有效ノ方策ヲ樹立實行セラレタシ  
(其ノ他略)

(右ハ採擇シタルモノト看做ス)

ト) 農村救済ニ關スル件

「政府ハ速ニ農村救済ノ爲公債ヲ發行シ産米ノ大量買上ヲ實行シ尙政府持米ノ全部海外輸出、外米輸  
入ノ禁止、臺灣米移入ノ調節、農業關係各種低利資金ノ償還延期、地租ノ改正、、、、等ノ諸政策  
ヲ行ヒ以テ農村ヲ救済セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

チ) 政府買上米検査緩和ニ關スル件

「政府ノ米買上ハ農村ニ採リ喜ブベキコトナルモ其ノ検査嚴格ニ過ギ農村ノ受クル損害ハ却テ大ナル  
モノアリ依テ之ガ救済ノ爲速ニ買上米検査ニ對シ適當ナル緩和策ヲ講ゼラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

リ) 國立農業倉庫設置ニ關スル件

「島根縣能義郡安來町ニ國立農業倉庫ヲ設置セラレタシ」トノ請願

(二通)

(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

ヌ) 國立米穀倉庫設立ニ關スル件



「島根縣簸郡今市町ニ國立米穀倉庫ヲ設置セラレタシトノ請願

(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

(ル) 米穀及蠶絲專賣法制定ノ件

「米穀及蠶絲ノ專賣法ヲ設ケ價格ノ安定ヲ計リ以テ農村ヲ救濟セラレタシトノ請願

(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

(ワ) 米專賣法制定ニ關スル件

「政府ハ米穀專賣法ヲ制定セラレタシトノ請願

(右ハ採擇シタルモノト看做ス)

(ヰ) 米穀賣買國營ニ關スル件

「米穀ノ賣買ハ之ヲ國營ニセラレタシトノ請願

(右ハ採擇シタルモノト看做ス)

(カ) 玄米主食獎勵法規制定ノ件

「政府ハ速ニ國民生活ノ安定ト保健トヲ圖ル爲法規ヲ制定シ玄米主食ヲ獎勵セラレタシトノ請願

(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

(ヨ) 混砂搗精禁止ニ關スル件

「速ニ混砂搗精ヲ禁止セラレタシトノ請願

(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

(タ) 穀類搗精取締法制定ニ關スル件

「速ニ穀類搗精法ヲ制定シ混砂搗精ヲ嚴禁スルト共ニ無砂精米麥ノ普及ヲ圖ラレタシトノ請願

(右ハ採擇スヘキモノト議決ス)

(レ) 穀類搗精取締法制定反對ノ件

「穀類搗精取締法ハ制定セラレザル様トノ請願

(右ハ參考送付ニ決ス)

### 十 第六十二回帝國議會

#### (一) 法律案

(イ) 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案ハ議會ノ協贊ヲ得テ昭和七年六月十六日法律第四號ヲ以テ公布セラレタリ依テ米及粳ノ輸入稅ハ從來每百斤一圓ナリシガ法律改正ノ結果每百斤一圓三十五錢トナレリ

參照

法律第四號(昭和七年六月十六日公布)

關稅定率法別表輸入稅表ニ定メタル從量稅率ハ當分ノ内之ヲ其ノ百分ノ百三十五トス但シ同輸入稅表ニ掲グル物品ニシテ本法ノ別表ニ掲グルモノノ從量稅率ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル從量稅率ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

附則



本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第四號關稅定率法中改正法律ハ昭和七年六月十八日勅令第八十五號ヲ以テ之ヲ朝鮮ニ施行セラレシガ粟ニ付テハ當分ノ内之ヲ除外スルコトナレリ

參照

勅令第八十五號

昭和七年法律第四號ハ朝鮮ニ之ヲ施行ス但シ當分ノ内關稅定率法別表輸入稅表第十七號ノ二ノ内粟ノ從量稅率ニ關スルモノヲ除ク

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和七年六月十八日公布)

(二) 請願

○貴族院

(1) 農村救濟ニ關スル件

山口縣厚狹郡吉部村藤本東雄

「米穀及蠶絲ノ專賣法ヲ制定シ以テ諸物價ノ平衡ヲ圖ラレタシト」ノ請願

(右ハ採擇)

○衆議院

(1) 農村不況對策救濟ノ件

山口縣厚狹郡吉部村農會長藤本東雄

「米穀及蠶絲ノ專賣法ヲ設ケ一定ノ相場均一ヲ計ラレタシト」ノ請願

(右ハ採擇)

(三) 豫算

(1) 米穀統制實施計畫費

我國ニ於ケル主要農產物ニシテ主要食糧品タル米穀ニ付テハ需給ノ圓滑ヲ圖リ生産者及消費者ノ經濟ヲ安定セシムルノ必要アリ故ニ之ガ事情ニ鑑ミ内地、臺灣、朝鮮及外國米ニ付充分ナル調査ヲ遂ゲ米穀統制計畫ヲ樹立スルノ必要アルニ依リ之ガ經費十萬圓ヲ昭和七年度追加豫算トシテ要求シ協賛ヲ得タリ其ノ内譯左ノ如シ

勅任 俸給

部長

一人

三、八七五圓

奏任 俸給

書記官

一人

二、六〇〇

事務官

三人

七、二〇〇

技師

二人

四、八〇〇

判任 俸給

屬

五人

四、一〇五



技手	八人	六、五六七
應費		二、三、三四九
內國旅費		六、七〇九
外國旅費		八、三三四
雜給及雜費		三二、四六一

十一 第六十三回帝國議會

(一) 法律案

(イ) 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

政府ハ左ノ米穀需給調節特別會計法中改正法律案ヲ衆議院ニ提出セリ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

第四條ノ三中「三億五千萬圓」ヲ「四億五千萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

然ルニ衆議院ニ於テハ「四億五千萬圓」ヲ「四億八千萬圓」ニ修正可決シ、尙左ノ附帶決議ヲ議決セリ

附帶決議

一 政府原案四億五千萬圓ヲ四億八千萬圓ト修正増額スル趣旨ハ米穀ノ數量又ハ市價調節ニ遺憾

ナキヲ期スル爲ナリ

故ニ米穀法中改正法律案ト本案トハ密接不離ノ關係ヲ有スル不可分ノ決議ナルコトヲ玆ニ明ニ

ス

二 政府ハ現行米穀法ニ不備缺陷アルヲ認メ速ニ根本方策ヲ立ツル必要アルコトヲ聲明セラレタ

リ政府ハ速ニ現下ノ國情ニ鑑ミ米穀ニ關スル根本方策ヲ樹立シ之ヲ次ノ通常議會ニ提出スベシ

次ニ貴族院ニ於テハ衆議院議決ノ通可決セリ

參照

法律第二十七號

米穀需給調節特別會計法中左ノ通改正ス

第四條ノ三中「三億五千萬圓」ヲ「四億八千萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和七年九月七日公布)

(ロ) 米穀應急施設法案(政府提出)

米穀應急施設法

第一條 政府ハ米穀法ニ依リ米穀ノ買換ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令

ノ定ムル所ニ依リ買換ニ代ヘ買換ノ爲賣渡ヲ爲サントスル米穀ヲ道府縣ニ對シ貸付スルコトヲ

得



第二條 政府ハ米穀ノ出廻數量ヲ調節スル爲道府縣ガ米穀貯藏助成施設ヲ行フ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得但シ其ノ金額及交付ノ年度ニ付テハ帝國議會ノ協賛ヲ經ベシ

第三條 政府ハ朝鮮米及臺灣米ノ内地移入數量ヲ月別平均ナラシムル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第四條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ粟ノ輸入税ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法律案ハ衆議院ニ於テ之ヲ否決セリ然レドモ其ノ條項ノ大部分ハ米穀法中改正法律ノ中ニ加ヘラレタリ

(ハ) 米穀法中改正法律案(秦豊助君外二十三名提出)

米穀法中左ノ通改正ス

第一條 ニ左ノ一項ヲ加フ

政府ハ災害救助其ノ他緊急ノ必要アリト認ムルトキハ市町村ニ對シ其ノ貯藏ニ係ル米穀ヲ有償若ハ無償ニテ交付シ又ハ一定ノ期間ヲ限リ貸付ヲ爲スコトヲ得

第四條 削除

第五條 削除

昭和六年法律第三十一號附則第二項ヲ削ル

附則

政府ハ當分ノ内本法ニ依リ朝鮮及臺灣ニ於テ各其ノ地ノ産米ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

然ルニ衆議院ニ於テハ左ノ通修正可決セリ

米穀法中改正法律案中左ノ通修正ス

附則

政府ハ當分ノ内本法ニ依リ朝鮮及臺灣ニ於テ各其ノ地ノ産米ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

政府ハ當分ノ内米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ粟ノ輸入税ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得

本法ニ依ル米穀ノ交付又ハ貸付並ニ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

次デ貴族院ニ於テ更ニ左ノ通修正可決セリ

(——修正)

米穀法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ



政府ハ米穀ノ買換ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ買換ニ代ヘ買換ノ爲賣渡ヲ爲サントスル米穀ヲ道府縣ニ對シ貸付スルコトヲ得

政府ハ災害救助其ノ他緊急ノ必要アリト認ムルトキハ市町村ニ對シ其ノ貯藏ニ係ル米穀ヲ有償若ハ無償ニテ交付シ又ハ一定ノ期間ヲ限り貸付ヲ爲スコトヲ得

第四條 削除

第五條 削除

昭和六年法律第三十一號附則第二項ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

政府ハ當分ノ内本法ニ依リ朝鮮及臺灣ニ於テ各其ノ地ノ産米ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

本法施行ノ日ヨリ昭和八年十二月末日ニ至ル迄ハ第四條ノ最低價格ハ第五條ノ規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル米穀生産費ニ依ル

政府ハ當分ノ内朝鮮米及臺灣米ノ内地移入數量ヲ月別平均的ナラシムル爲メ勅令ノ定ムル所ニ依リ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

政府ハ當分ノ内米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ粟ノ輸入税ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得

本法ニ依ル米穀ノ交付又ハ貸付並ニ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

依テ兩院協議會ヲ開キ左ノ成案ヲ得、貴衆兩院共之ヲ可決セリ

米穀法中改正法律案兩院協議會成案

貴族院議決案中附則第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ米穀生産費ハ米穀委員會ニ諮問シテ之ヲ定ム

參考

米穀法改正經過表

現行法	修正案	貴族院通過シタル案	兩院協議會通過シタル案
<p>第一條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキハ米穀ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得</p>	<p>泰豐助君外二十二名 提出改正案</p>	<p>衆議院ヲ通過シタル案</p>	<p>兩院協議會ヲ通過シタル案</p>
<p>政府ハ災害救助其ノ他緊急ノ必要アリト認ムルトキハ市町村ニ對シ其ノ貯藏ニ係ル米穀ヲ有償若ハ無償ニテ交付シ又ハ一定ノ期間ヲ限り貸付ヲ爲スコトヲ得</p>	<p>同上</p>	<p>同上</p>	<p>同上</p>
<p>政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキハ米穀ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得</p>	<p>同上</p>	<p>同上</p>	<p>同上</p>

第二條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ



第三條 輸入税増減の特ニ必要アリト認めルト  
 第四條 政府ガ帝國内ニ於テ第一條ノ  
 規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣出ノ價  
 格ハ最高價ヲ示シタルノ買入又ハ賣  
 出ノ價格ニシテ但シ米穀ノ買入又ハ  
 賣出ノ價格ノ整理ノ爲メニ米穀ノ買  
 入又ハ賣出ノ價格ノ買入又ハ賣出ノ  
 目的ニ在ラズ  
 此ノ限ニ在ラズ  
 前項ノ米價ハ市場ノ相場ニ依リ之ヲ  
 定ム  
 第一項ノ買入又ハ賣出ノ價格ハ時價  
 ニ準據シテ之ヲ定ム同項但書ノ場合  
 第五條 前條ノ最低價格又ハ最高價格  
 事項ヲ基礎トシ之ヲ定ム  
 米穀生産費  
 米價指數  
 米價指數ノ物價指數ニ對スル割合  
 第六條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價調  
 節上米穀現在高價ノ必要アリト認め  
 倉庫業者其ノ他報告ヲ命シ又ハ官吏  
 必要ナル事項ヲ報告ヲ命シ又ハ官吏  
 若ハ吏員ヲシテ其ノ營業所倉庫其  
 他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査

削除	削除
同上	同上
復活	復活

第七條 第三條ノ規定ニ違反シテ米穀  
 下ノ罰金ニ處シタル者ハ五千元以  
 シノ罰金ニ處シタル者ハ五千元以  
 ルコト能ハザルトキハ其ノ部ヲ沒收ス若  
 徵ス  
 營業者未成年者又ハ禁治産者ナルト  
 キハ前項ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ  
 適用ス但シ營業ニ關シテ法定代理人  
 ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此  
 ノ限ニ在ラズ  
 營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、  
 雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關  
 シ第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ  
 自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其  
 ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ズ  
 法人ノ代表者其ノ他ノ從業者法人ノ  
 業務ニ關シ第三條ノ規定ニ違反シタ  
 ルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス  
 第八條 第六條ノ規定ニ依リ命令ニ違  
 反シ又ハ當該官吏若ハ五百圓以下ノ罰  
 金ニ處ス

削除	削除
同上	同上
復活	復活

附則 (大正十年法律)  
 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 附則 (大正十四年法律)  
 本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施  
 行ス  
 附則 (昭和六年法律)  
 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 (昭和六年勅令第百六十八號ヲ以  
 テ昭和六年七月一日ヨリ施行)



命令ノ定ムル所ニ依リ當分ノ内第四條ノ最低價格又ハ最高價格ハ第五條ノ規定ニ拘ラズ米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格ヲ基礎トシテ之ヲ定ム

削除  
政府ハ當分ノ内米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲メ特ニ必要トキハ節制ヲ認ムル期間トキハ輸入税ヲ増減セシムルコトヲ得

同上  
政府ハ當分ノ内米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲メ特ニ必要トキハ節制ヲ認ムル期間トキハ輸入税ヲ増減セシムルコトヲ得

復活  
本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
昭和八年十二月一日ニ至ル迄ハ第四條ノ最低價格ハ第五條ノ規定ニ拘ラズ米穀生産費ニ依リ算出シタル價格ニ依リ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯蔵ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム  
政府ハ當分ノ内米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲メ特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米ノ輸入税ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得

前項ノ米穀生産費ハ米穀委員會ニ諮問シテ之ヲ定ム

参照

法律第三十四號

米穀法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依ル米穀ノ交付又ハ貸付並ニ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯蔵ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

本法ニ依ル米穀ノ買入、賣渡、加工又ハ貯蔵ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム



政府ハ米穀ノ買換ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ買換ニ代ヘ買換ノ爲賣渡ヲ爲サントスル米穀ヲ道府縣ニ對シ貸付スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ日ヨリ昭和八年十二月末日ニ至ル迄ハ第四條ノ最低價格ハ第五條ノ規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル米穀生産費ニ依ル

前項ノ米穀生産費ハ米穀委員會ニ諮問シテ之ヲ定ム

政府ハ當分ノ内朝鮮米及臺灣米ノ内地移入數量ヲ月別平均的ナラシムル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

政府ハ當分ノ内米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ粟ノ輸入税ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得

本法ニ依ル米穀ノ貸付竝ニ朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歲入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

(昭和七年九月八日公布)

尙米穀法中改正法律施行期日ニ關スル勅令竝米穀法施行令中改正ニ關スル勅令、米穀法附則第五項ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ニ關スル勅令ハ何レモ昭和七年十月三日公布セラレタリ

參照

○勅令第二百九十五號(昭和七年十月三日公布)

昭和七年法律第三十四號ハ昭和七年十月四日ヨリ之ヲ施行ス

○勅令第二百九十六號(昭和七年十月三日公布)

米穀法施行令中左ノ通改正ス

第十六條 米穀法第一條第二項ノ規定ニ依ル米穀ノ貸付ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、産業組合、農會等ニ對シ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ貸付又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第十七條 米穀法第一條第二項ノ規定ニ依リ米穀ノ貸付ヲ受ケタル道府縣ハ貸付ヲ受ケタル米穀ト同一數量ノ米穀ヲ貸付ヲ受ケタル日ヨリ一年以内ニ於テ農林大臣ノ指定スル時期ニ返還スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ返還スベキ米穀ハ農林大臣ノ指定スル所ニ從ヒ返還スベキ時期ノ屬スル年又ハ其ノ前年ニ於テ生産シタル米穀ニシテ貸付ヲ受ケタル米穀ト同一ノ銘柄及等級ノモノ又ハ之ト同格ノモノタルコトヲ要ス

附則

本令ハ昭和七年法律第三十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第三十四號附則第二項ノ米穀生産費ハ第五條ノ規定ニ依リ算出スル米穀生産費トス



米穀法第四條ノ最低價格ハ昭和七年ニ限り十月及十二月ニ之ヲ決定ス  
昭和七年法律第三十四號附則第四項ノ規定ニ依ル朝鮮米及臺灣米ノ買入、賣渡、加工又ハ貯藏ハ朝  
鮮米ニ在リテハ朝鮮ニ於テ、臺灣米ニ在リテハ臺灣ニ於テ之ヲ行フ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ  
限ニ在ラズ

昭和七年法律第三十四號附則第四項ノ規定ニ依リ買入レタル米穀ハ當該米穀年度内ニ於テ之ヲ賣渡  
スモノトス

前項ノ米穀年度ハ前年ノ十一月一日ヨリ其ノ年ノ十月三十一日迄トス  
○勅令第二百九十七號(昭和七年十月三日公布)

昭和七年法律第三十四號附則第五項ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附則

本令ハ昭和七年法律第三十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

次ニ昭和七年十月五日農林省令第二十九號ヲ以テ米穀法施行規則中左ノ通改正セラレタリ

參照

○農林省令第二十九號(昭和七年十月五日公布)

米穀法施行規則中左ノ通改正ス

第二十七條ノ二 道府縣米穀ノ貸付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農

林大臣ニ提出スベシ

一 貸付ヲ受ケントスル米穀ノ數量

二 貸付米ノ受渡及返還ノ時期

三 米穀ノ貸付ヲ受ケントスル理由

四 道府縣ヨリ米穀ノ貸付又ハ賣渡ヲ受クベキ者ノ名稱及之ニ對スル道府縣ノ貸付又ハ賣渡ノ計  
畫

五 前號ノ貸付又ハ賣渡ニ關スル規程又ハ條件

六 道府縣ヨリ米穀ノ貸付又ハ賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ米穀ノ處分ニ關スル計畫

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第二十七條ノ三 農林大臣前項ノ申請ヲ爲シタル道府縣ニ米穀ノ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付米及  
返還米ノ種類、數量、受渡期日、受渡場所、受渡方法其ノ他必要ナル條項ヲ定メ道府縣ニ之ヲ通  
知スルモノトス

第二十七條ノ四 道府縣前項ニ依リ通知ヲ受ケタル條項ニ異議ナキトキハ遲滯ナク農林大臣ニ請書  
ヲ提出スベシ

第二十七條ノ五 道府縣米穀ノ貸付ヲ受ケタル後第二十七條ノ二第一項第四號又ハ第五號ニ掲グル  
事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第二十七條ノ六 道府縣貸付ヲ受ケタル米穀ヲ貸付シ又ハ賣渡シタルトキハ其ノ結果ヲ遲滯ナク農  
林大臣ニ報告スベシ



第二十七條ノ七 米穀現在高定期調査ハ毎年三月一日、五月一日、七月一日、八月一日、九月一日及十一月一日各午前零時現在ニ於テ内地ニ現在スル米穀ニ付之ヲ行フ但シ左ニ掲グル米穀ニ付テハ之ヲ行ハザルモノトス

一 調査期日ニ於テ保税地域及外國貿易船ニ現在スル米穀

二 調査期日ノ屬スル年ニ於テ生産セラレタル内地米

三 内地米、朝鮮米及臺灣米ノ碎米

前項ノ調査ハ内地米、朝鮮米及臺灣米ニ在リテハ粃、玄米及白米ニ區分シ、外國米ニ在リテハ粃、玄米、白米及碎米ニ區分シテ之ヲ行フ

第二十七條ノ八 左ニ掲グル倉庫ノ管理者ハ其ノ倉庫ニ現在スル米穀ニシテ前條ノ規定ニ依リ調査セラルベキモノノ數量ニ付府縣知事ニ對シ様式第一號ニ依リ申告ヲ爲スベシ

一 倉庫營業者ノ倉庫

二 運送營業者、運送取扱營業者又ハ銀行ノ倉庫

三 農業倉庫又ハ聯合農業倉庫

四 前號ノ外農會、産業組合、産業組合聯合會又ハ之ニ準ズルモノニシテ府縣知事ノ指定シタルモノノ倉庫

第二十七條ノ九 府縣知事ハ農林大臣ノ命ヲ承ケ府縣内ノ米穀現在高定期調査ノ執行ヲ指揮監督ス  
第二十七條ノ十 米穀現在高定期調査ノ爲必要アル場合ニ於テハ府縣ノ區域ニ依リ米穀現在高調査

指導員ヲ置ク

第二十七條ノ十一 米穀現在高定期調査ノ爲市町村ノ區域ニ依リ米穀現在高調査員ヲ置ク但シ特別ノ事由アルトキハ市町村ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

第二十七條ノ十二 米穀現在高調査指導員及米穀現在高調査員ハ府縣知事ノ推薦ニ依リ農林大臣ニ於テ之ヲ囑託ス

第二十七條ノ十三 米穀現在高調査指導員ハ府縣知事ノ指揮ヲ承ケ米穀現在高調査員ノ事務ノ執行ヲ指導ス

米穀現在高調査員ハ府縣知事ノ指揮ヲ承ケ擔當調査區域内ノ米穀現在高定期調査ノ事務ニ従事ス  
前項ノ擔當調査區域ハ府縣知事ニ於テ之ヲ定ム

第二十七條ノ十四 第二十七條ノ七ノ規定ニ依リ調査セラルベキ米穀ニシテ左ニ掲グル場所ニ現在スルモノハ米穀現在高調査員ニ於テ之ヲ調査スベシ

一 米穀生産者又ハ耕地所有者ノ倉庫、納屋其ノ他ノ貯藏場所

二 米穀販賣業者又ハ精米業者ノ店舗、精米場又ハ倉庫其ノ他ノ貯藏場所

三 正米市場又ハ之ニ準ズル市場ノ營業所又ハ倉庫

四 社寺又ハ之ニ準ズルモノノ貯藏場所

五 品評會、共進會等ノ會場

六 鐵道若ハ軌道ノ驛又ハ地方鐵道若ハ軌道ノ貨車其ノ他ノ運搬具



七 河川港灣ニ於ケル繫船岸壁、棧橋、物揚場、上屋又ハ船舶  
 第二十七條ノ十五 米穀現在高調査員ハ職務執行ノ際様式第二號ニ依ル資格證明書ヲ携帯スベシ  
 前項ノ資格證明書ハ府縣知事之ヲ交付ス  
 第二十七條ノ十六 米穀現在高定期調査ノ爲米穀法第六條ノ規定ニ依ル處分ノ必要アリト認めムベキ  
 事情アルトキハ府縣知事遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スベシ  
 第二十七條ノ十七 第二十三條ノ規定ハ米穀現在高定期調査ノ事務ニ從事シタル者ニ之ヲ準用ス  
 第二十八條ニ左ノ後段ヲ加フ  
 第二十七條ノ十七ノ規定ニ依リ準用セラレル第二十三條ノ規定ニ違反シタル者亦同ジ  
 第三十條中「米穀生産費ノ調査」ノ下ニ「又ハ米穀現在高定期調査」ヲ加フ  
 様式(略)

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(ニ) 米 專 賣 法 案(胎中楠右衛門外一名提出)

米 專 賣 法

第一條 政府ハ米ノ專賣權ヲ有ス

朝鮮米及臺灣米ノ移入及再移出、外國米ノ輸入並内地米ノ輸出及移出ハ政府ノ專賣權ニ屬ス  
 第二條 政府ハ農家ノ自家用消費量ヲ除キタル殘餘ノ米ヲ市町村ヲ一區域トスル米納者組合ヲシ

テ政府ニ納入セシムルモノトス

第三條 政府ハ收納シタル米ニ對シ其ノ代價トシテ米穀證券ヲ發行シテ之ヲ納入者ニ交付ス

第四條 納入米ニ對シテ政府ノ交付スベキ代價價格ハ米等級鑑定人ヲシテ鑑定セシメ之ヲ全國標準價格及格付表ニ照シテ決定ス  
 前項ノ鑑定ニ對シテ不服アル場合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ米納入者組合又ハ納入者ヨリ再鑑定ヲ請求スルコトヲ得

第五條 政府ハ米穀評議員會ノ審議ヲ經テ毎年一回全國標準價格及格付表ヲ改定公示スルモノトス  
 特別ノ必要アル場合ニ於テハ臨時之ガ變更ヲ爲スコトヲ得

第六條 米穀證券ハ之ヲ公租公課ノ納入ニ代用スルコトヲ得

第七條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ米ノ賣拂代金ヲ以テ米穀證券ヲ償還スルコトヲ要ス

第八條 米ハ政府又ハ政府ノ指定シタル米元賣捌人若ハ米小賣人ニ非ザレバ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ  
 米ノ販賣ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 政府ハ米穀評議員會ノ審議ヲ經テ毎年一回白米小賣價格ヲ改定公示ス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ臨時之ガ變更ヲ爲スコトヲ得

第十條 政府又ハ政府ノ指定シタル者ニ非ザレバ米ノ精白ヲ爲スコトヲ得ズ但シ農家ノ自家用米



ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 米元賣捌人及米小賣人ハ政府ノ定メタル價格ヲ以テスルニ非ザレバ米ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ

第十二條 政府ハ米穀評議員會ノ審議ヲ經テ米ノ廉賣又ハ無償交付ヲ爲スコトヲ得

第十三條 米專賣ノ機關トシテ政府ハ中央ニ米專賣局各道府縣ニ支局ヲ置キ命令ノ定ムル所ニ依リ米ノ検査、收納、精白、賣捌、移入移出、輸入輸出、其ノ他米專賣ニ關スル事務ヲ掌理セシム

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル米ハ之ヲ沒收ス既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ第九條ノ賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 第八條第一項、第十條及第十一條ノ規定ニ違反シタル者

二 許可ヲ受ケズシテ朝鮮米、臺灣米又ハ外國米ヲ移輸入シ又ハ内地米ヲ移輸出シタル者

附則

第十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 米穀法、米穀需給調節特別會計法ハ之ヲ廢止ス

第十七條 米穀取引所ハ之ヲ廢止ス

第十八條 本法ノ實施ニ依リ業務ヲ失フ者ニ對シテハ政府之ヲ補償ス

補償ハ交付公債ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第十九條

政府ハ補償委員會ヲ設ケ補償額ヲ決定スルモノトス

第二十條 政府ハ米ノ專賣ニ因リ利益ヲ收ムルコトヲ得ズ

年度ノ決算ニ於テ剩餘金ヲ生ジタル場合ニ於テハ米專賣特別會計法ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處分スルモノトス

本法律案ハ衆議院ノ委員會ニ於テ審議未了ノ儘閉會セリ

(ホ) 米專賣特別會計法案(胎中補右衛門外一名提出)

米專賣特別會計法

第一條 米專賣ノ會計ハ之ヲ特別トシ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

第二條 本會計ニ於テハ借入金、米賣拂代金及附屬雜收入ヲ以テ歲入トシ米穀證券及借入金ノ償還金及利息、米ノ加工貯藏及運搬ニ關スル諸費、事務取扱費並附屬諸費ヲ以テ其ノ歲出ト爲ス

第三條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入金ヲ爲スコトヲ得

第四條 米穀ノ收納代金ハ本法施行地外ヨリ直接ニ買入ルル場合ヲ除クノ外三月内ニ償還スベキ證券ヲ以テ其ノ額面金額ニ依リ之ヲ交付ス

前項ノ證券ハ無記名トス

第五條 本會計ノ決算上不足ヲ生ジタルトキハ剩餘金、積立金又ハ借入金ヲ以テ之ヲ補填スベシ

第六條 本會計ノ決算上剩餘ヲ生ジタルトキハ前條ノ償却ニ充テ殘餘アルトキハ之ヲ翌年度ノ歲



入ニ繰入ルベシ

第七條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スベシ

第八條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法律案ハ衆議院ノ委員會ニ於テ審議未了ノ儘閉會セリ

(ハ) 植民地米統制法案(胎中楠右衛門外一名提出)

植民地米統制法

第一條 政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ朝鮮及臺灣ヨリ米又ハ粃ノ移入ヲ爲スコトヲ得ズ

第二條 政府ハ米穀證券ヲ發行シ朝鮮内ニ於テ毎年八百萬石以内、臺灣ニ於テ二百萬石以内ノ米

又ハ粃ヲ買收貯藏スルモノトス

粃ノ米ニ對スル換算ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 政府ハ必要ニ應ジ朝鮮又ハ臺灣ニ貯藏セル買收米ヲ内地ニ移入スルモノトス

第四條 朝鮮又ハ臺灣ニ於テ發行スル米穀證券ハ發行ノ日ヨリ六月内ニ現金ヲ以テ之ヲ支拂フモノトス

第五條 日本銀行ハ第二條ノ米穀證券ノ所持人ノ請求ニ依リ政府ノ定ムル歩合ヲ以テ其ノ證券ノ割引ヲ爲スコトヲ要ス

第六條 政府ノ許可ヲ受ケズシテ朝鮮又ハ臺灣ヨリ米又ハ粃ヲ移入シタル者ハ五百圓以上五千圓

以下ノ罰金ニ處シ犯罪ニ係ル米穀ノ沒收又ハ其ノ價格ノ追徴ヲ爲スモノトス

第七條 本法實施ニ必要ナル事項及收支會計ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法律案ハ衆議院ノ委員會ニ於テ審議未了ノ儘閉會セリ

(二) 請願

○貴族院

(イ) 農村救済ニ關スル件

福岡縣宗像郡農會長 花田實

一 米穀政策ニ關スル事項

應急策

米ノ即時大量買上斷行ノコト

朝鮮米、臺灣米及外米ノ移輸入ノ統制ヲ圖ラレタキコト  
生産費ヲ根據トシタル公定價格ヲ設定シ補償ノ途ヲ講ゼラレタキコト



恒久策

生産費ヲ根據トシタル專賣法ヲ制定セラレタキコト

其ノ他農産物關稅ヲ引上ゲラレタシトノ請願

(右ハ採擇)

(ロ) 農村救濟ニ關スル件

岡山縣都窪郡加茂村長 外十五名

「米穀法ヲ改正シ生産費以上ニテ米穀ノ買上ヲ行ヒ米價ノ調節ヲ計ラレタシトノ請願

(右ハ採擇)

(ハ) 農村救濟ニ關スル件

三重縣一志郡川口村前川定 外百九十四名

「農産物價格ノ引上等ヲ實行セラレタシトノ請願

(右ハ採擇)

(ニ) 農村救濟ニ關スル件

兵庫縣宍粟郡千種村植田武一 外百九十六名

「農産物價格ノ引上等ヲ速ニ實行セラレタシトノ請願

(右ハ採擇)

(ホ) 農商工業者救濟ノ件

長野縣小縣郡丸子町谷仲源吾 外百十一名

「政府米ノ半價配給等ヲ實行セラレタシトノ請願

(右ハ採擇)

(ヘ) 山村住民救濟ニ關スル件

岐阜縣武儀郡下牧村高橋鯛治郎 外九名

「政府米ノ廉賣等ヲ講ゼラレタシトノ請願

(右ハ採擇)

○衆議院

(イ) 農村救濟ニ關スル件

富山縣西礪波郡西五位村堀澤紋三郎

外六十六件

「農産物生産費補償制度ノ確立、、、、等ノ諸問題ニ對シ斷乎タル對策ヲ樹立シ以テ之ガ實現ヲ期セラレタシトノ請願

(右ハ採擇)

(ロ) 農村救濟政策ニ關スル件

福岡縣宗像郡農會長 花田實

「農産物ノ價格引上及農産物關稅ノ引上ヲ行ハレタシトノ請願



(右ハ採擇)

(ハ) 農村匡救策ニ關スル件

廣島縣比婆郡久代村長高坂穩 外二名  
外 五 件

「農産物價格ノ引上、、、、ノ救濟策ヲ樹立セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ニ) 山村住民救濟ニ關スル件

岐阜縣武儀郡上三保村河江藤六 外十九名  
外 十 件

「、、、、政府貯藏米ヲ廉價ヲ以テ直接山村又ハ山村産業組合ニ拂下セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ホ) 農村應急救濟策ニ關スル件

鳥取縣西伯郡大篠津村安田乙松 外六百九十二名

「政府米ノ無償即時配給、、、、等救濟ノ方圖ヲ講ゼラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ヘ) 農村窮乏打破ニ關スル件

東京府北多摩郡立川町佐藤吉熊 外六百八十二名

外十四件

「、、、、政府貯藏米無償配給、米農蠶家損失ノ國家補償ヲ行ヒ、且ツ之ニ關スル法律ヲ制定セラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ト) 米穀專賣法制定ニ關スル件

廣島縣賀茂郡原村佐々木源太郎 外十六名

「政府ハ速ニ米穀專賣法ヲ制定シ米ノ生産費ヲ基準トシテ之ヲ買上ゲ且ツ臺灣米ノ内地移入ヲ制限シ又ハ移入税ヲ課シ農村ヲ匡救セラレタシ」トノ請願

(三) 豫 算

(イ) 米穀現在高調査費

米穀現在高調査ニ要スル經費(事業費)九萬八千八百三十四圓ヲ昭和七年度追加豫算トシテ要求シ協賛ヲ得タリ此ノ他判任俸給二萬四千四百圓(四十七人分)ハ施行豫算ノ範圍内ニ於テ實行豫算トシテ認メラレタリ

(四) 豫算外國庫負擔トナルベキ契約ニ關スル要求書

(イ) 米穀貯藏獎勵

米穀調節ノ爲行フ道府縣ノ米穀貯藏助成施設ニ對スル獎勵金ノ交付ニ付テハ豫メ之ガ獎勵ヲ爲スニアラザレバ事業施設ノ遂行ヲ期シ難キヲ以テ總額五百萬圓ヲ限り昭和八年度ニ於テ國庫ノ負擔トナルベ



キ契約ヲ昭和七年度ニ於テ締結スルヲ要ス  
右協賛ヲ得タリ

### 米穀貯藏獎勵規則

(昭和七年十一月二十八日  
農林省令第三十五號)

七四

- 第一條 農林大臣ハ米穀ノ出廻數量ヲ調節スル爲特ニ米穀ノ貯藏ヲ獎勵スル必要アリト認ムルトキハ本則ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 農林大臣本則ニ依ル米穀貯藏ノ獎勵ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨ヲ告示ス
- 第二條 獎勵金ハ産業組合、農事實行組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル者ガ米穀ノ貯藏ヲ爲ス場合之ニ對シ道府縣ノ交付スル助成金ニ對シ之ヲ交付ス
- 第三條 獎勵金ノ額ハ道府縣ノ交付スル助成金ノ額ノ範圍内トス
- 第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 一 事業計畫書
  - 二 收支豫算書
  - 三 助成金交付ニ關スル規程又ハ條件ヲ記載シタル書類
- 前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル道府縣前條第一項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル道府縣獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ精算書及助成金交付ニ關スル調書ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ事業成績書ヲ事業終了後遲滞ナク農林大臣ニ提出スベシ

第八條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル道府縣又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 第十二第六十四回帝國議會

#### (一) 法律案

##### 甲 政府提出

政府ハ米穀統制法案及米穀需給調節特別會計法中改正法律案ヲ衆議院ニ提出セリ

七五



(4) 米穀統制法案  
米穀統制法

- 第一條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節シ米穀ノ統制ヲ圖ル爲本法ニ依リ米穀ノ買入及賣渡ヲ行フ
- 第二條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年米穀ノ最低價格及最高價格ヲ公定シ之ヲ告示ス
- 前項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費、家計費及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム
- 前項ノ規定ニ依リ定メタル最低價格又ハ最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ物價ノ變動著シキ場合又ハ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ之ヲ改定スルコトヲ得
- 第三條 政府ハ前條ノ最低價格又ハ最高價格ヲ維持スル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ最低價格ニ依ル賣渡ノ申込又ハ最高價格ニ依ル買入ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス
- 第四條 政府ハ道府縣ヨリ該地域外ニ又ハ朝鮮若ハ臺灣ヨリ内地ニ移出スル米穀ノ數量ヲ月別平均的ナラシムル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ出廻期ニ於テ米穀ノ買入ヲ爲シ出廻期後ニ於テ米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得
- 前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム
- 第五條 政府ハ必要ニ應ジ所有米穀ノ貯藏、買換、交換、加工及整理ノ爲ニスル賣渡並ニ輸入ヲ目的トスル米穀ノ買入及輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得
- 前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

- 第六條 政府ハ米穀ノ買換ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ買換ニ代ヘ買換ノ爲賣渡ヲ爲サントスル米穀ヲ道府縣ニ對シ貸付スルコトヲ得
- 第七條 米穀ノ輸入又ハ輸出ハ勅令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第八條 政府ハ米穀ノ統制ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ指定シ粟、高粱又ハ黍ノ輸入ヲ制限スルコトヲ得
- 第九條 政府ハ米穀ノ統制ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入税ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得
- 第十條 米穀生産費、家計費並ニ米穀其ノ他ノ穀物ノ生産高、現在高、移動及價格ノ調査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十一條 政府ハ前條ニ規定スル事項其ノ他米穀ノ統制ニ關シ必要ナル事項ヲ調査スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀其ノ他ノ穀物ノ生産者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其ノ營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スル證票ヲ携帯スベシ
- 第十二條 第七條ノ規定ニ違反シテ米穀ヲ輸入若ハ輸出シ又ハ第八條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ粟、高粱若ハ黍ヲ輸入シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ米穀、粟、高粱又ハ黍ヲ沒收ス若シ



其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス  
 營業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ前項ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年  
 者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ  
 營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第七條ノ規定又ハ第八條ノ  
 規定ニ依ル制限ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ  
 法人ノ代表者其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ第七條ノ規定又ハ第八條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シ  
 タルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス  
 第十三條 第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨ゲタル  
 者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 米穀法ハ之ヲ廢止ス  
 本法施行前米穀法第三條ノ規定ニ依リ爲シタル許可ハ本法第七條ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看  
 做ス  
 本法施行前ニ米穀法ノ罰則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス

米穀統制法案理由書

我國ニ於ケル諸般ノ米穀事情ニ鑑ミ米穀法ニ代ヘ更ニ一層有力ナル統制制度ヲ樹立シ米穀ノ數量及市

價ノ調節上遺憾ナキヲ期スルノ要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

議事經過

昭和八年三月三日衆議院議員由谷義治外一名ヨリ左ノ修正案ヲ提出セシモ三月四日ノ本會議ニ於テ採  
 決ノ結果否決セリ

米穀統制法案中左ノ通修正ス

第二條第二項中「米穀生産費、」ノ下ニ「相當利潤、」ヲ加フ  
 第十條中「米穀生産費、」ノ下ニ「相當利潤、」ヲ加フ

昭和八年三月四日衆議院ハ左ノ附帶決議ト共ニ原案ヲ可決セリ

附帶決議

- 米穀統制ニ關シテハ更ニ調査研究ヲ爲シ米穀政策ノ徹底ヲ期スルヲ必要ト認ムルモ本法施行ニ關シ  
 テハ少クトモ政府ハ左記事項ヲ考慮スベシ
  - 一 本法第二條第二項生産費中ノ租稅公課ノ中ニハ戶數割、水利費、部落費ヲ加算シ更ニ米ノ生産  
 地ヨリ買上場所ニ至ル運賃諸掛リヲ加ヘラレタシ
  - 一 朝鮮米臺灣米ニ付テハ本法所期ノ目的ヲ達スル爲更ニ徹底的統制ノ方策ヲ講ズベシ
- 昭和八年三月二十三日貴族院ニ於テハ左ノ希望條項ヲ附シ原案ヲ可決セリ
- 希望決議
- 一 内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジテ米穀ノ生産ヲ統制的ニ計畫實行スルコト



二 米穀需給調節特別會計ノ被レル既往ノ損失ハ速ニ之ヲ整理シ將來ノ米穀統制ノ圓滑ナル運用ニ努ムルコト

三 米穀生産費及家計費ノ調査ニ關シ政府ハ合理的の規準ヲ得ル爲更ニ大ニ攻究ヲ遂グルコト  
(ロ) 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中左ノ通改正ス

第一條中「又ハ貯藏」ヲ「貯藏又ハ貸付」ニ改ム

第四條ノ三中「四億八千萬圓」ヲ「七億圓」ニ改ム

第六條中「貯藏」ヲ「貯藏貸付」ニ改ム

附 則

本法ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀需給調節特別會計法中改正法律案理由書

米穀統制法ノ圓滑ナル施行ヲ圖ル爲ニハ現行米穀需給調節事業資金ヲ増額スルノ必要アルト共ニ他ニ米穀需給調節特別會計法中改正ヲ要スルモノアリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

(昭和八年三月四日衆議院可決)

(昭和八年三月二十三日米穀統制法案ト同時ニ貴族院可決)

乙 議員 提出

荒川五郎外二名ヨリ穀類搗精製粉取締法案ヲ衆議院ニ提出セリ

昭和八年三月二日

衆法第八八號

穀類搗精製粉取締法案

右成規ニ據リ提出候也

昭和八年三月二日

提出者

荒川五郎

大竹貫一

安部磯雄

中村繼男

外百五名

賛成者

穀類搗精製粉取締法

第一條 本法ニ於テ穀類ト稱スルハ米、麥、粟、黍、高粱ヲ謂フ

第二條 食用ニ供スル目的ヲ以テスル穀類ノ搗精又ハ製粉ニハ砂土、石粉其ノ他液類等ヲ混入スルコトヲ得ズ但シ大麥及高粱ヲ搗精スル爲ニ之ヲ水ニ浸スハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 搗精、製粉シタル穀類又ハ搗精、製粉セザル穀類ト雖モ食用ニ供スル目的ノモノハ之ニ砂

土、石粉其ノ他液類等ヲ混入スルコトヲ得ズ

第四條 砂土、石粉其ノ他液類等ヲ混入シテ搗精又ハ製粉シタル穀類ハ食用ニ供スル目的ヲ以テ之ヲ

所持シ若ハ販賣シ又ハ輸入シ若ハ移入スルコトヲ得ズ



第五條 前三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

(本案ハ審議未了)

山本莊一郎外二名ヨリ左記法律案ヲ衆議院ニ提出セリ

昭和八年三月九日提出

穀類搗精製粉取締法

第一條 本法ニ於テ穀類ト稱スル米、麥、粟、黍、高粱ヲ謂フ

第二條 食用ニ供スル目的ヲ以テスル穀類ノ搗精又ハ製粉ニハ砂土、石粉其ノ他液類等ヲ混入スルコトヲ得ズ但シ大麥及高粱ヲ搗精スル爲ニ之ヲ水ニ浸スハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 搗精、製粉シタル穀類又ハ搗精、製粉セザル穀類ト雖モ食用ニ供スル目的ノモノハ之ニ砂土、石粉其ノ他液類等ヲ混入スルコトヲ得ズ

第四條 砂土、石粉其ノ他液類等ヲ混入シテ搗精又ハ製粉シタル穀類ハ食用ニ供スル目的ヲ以テ之ヲ所持シ右ハ販賣シ又ハ輸入シ若ハ移入スルコトヲ得ズ

第五條 前三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六條 豫メ主務官廳ノ許可ヲ得タルモノニ付テハ本法ハ之ヲ適用セズ

(本案ハ審議未了)

(二) 建議案

○衆議院

(イ) 米穀生産費調査ニ關スル建議案  
提出者 八田 宗吉

米穀生産費調査ニ關スル建議

政府ハ米穀生産費ノ調査項目ニ加フルニ部落協議費並戸數割ノ一部、用排水監視費及基準市場ニ至ル迄ノ運賃諸掛リヲ加算シタルモノヲ以テシ且ツ調査農家ハ反當收量其ノ他ニ於テ中庸ナルモノヲ選定シ以テ公正ナル米穀政策ノ確立ヲ期セラレムコトヲ望ム  
右建議ス

米穀生産費調査ニ關スル建議案理由書

米穀政策確立ノ基礎ハ米價ノ適當ナル最低價格ノ決定ニアリ故ニ最低價格ノ基準タル生産費ノ調査方法ニ關シテハ最慎重ナル考慮ヲ要ス然ルニ從來ノ米穀法運用ニ伴フ農林省ノ調査方法ハ國家經濟ノ實情ニ即セザル憾アリ是レ政府ニ對シ主文ノ如ク生産費ノ調査方法ヲ改正セラレムコトヲ要望スル所以ナリ

(右ハ可決)

(ロ) 宮城縣下ニ國立米穀倉庫設置ニ關スル建議案  
提出者 佐々木家壽治外三名

宮城縣下ニ國立米穀倉庫設置ニ關スル建議

政府ハ宮城縣下適當ノ地ヲ選ビ國立倉庫ヲ建設シ其ノ管理ニ係ル米穀ヲ集積セラレムコトヲ望ム  
右建議ス



(右ハ可決)

(ハ) 米穀貯藏獎勵ニ關スル建議案  
提出者 多木久米次郎

米穀貯藏獎勵ニ關スル建議

(要旨)

昭和八年度ヨリ米價維持ノ爲米穀貯藏獎勵ノ方法ヲ實施セラレムコトヲ望ム

(右ハ可決)

(三) 請願

○貴族院

(イ) 穀類搗精取締法制定ノ件

長野縣埴科郡坂城町兒玉勝助

「速ニ穀類搗精取締法ヲ制定シ混砂搗精ヲ嚴禁スルト共ニ無砂搗精米麥ノ普及ヲ圖ラレタシ」トノ請願

(右ハ採擇)

(ロ) 農村救濟ニ關スル件

福島縣雙葉郡長塚村長塚中野重藏 外五百九十二名

「農産物特ニ米ハ其生産費ヲ下ラサル程度ニ維持セシメラレタシ(其他ノ事項略)」トノ請願

(右ハ採擇) 案議決了

(ハ) 農村更生ノ施設ニ關スル件

社團法人中央畜産會々頭 伯爵 堀田正恒

「混砂搗精禁止ノ法令制定ノ必要ヲ切望ス」トノ請願

(右ハ採擇)

(ニ) 農村振興ニ關スル件

新潟縣中頸城郡農會會長 野口孝治 外三十二名

「米穀法ニ於ケル米價最低價格算定方法ノ改正其ノ他適切ナル米穀政策ヲ今期議會ニ提出サレタシ」トノ請願

案議決了

○衆議院

(イ) 穀類搗精取締法制定ノ請願

長野縣埴科郡坂城町 兒玉勝助

「速ニ混砂搗精ヲ嚴禁シ我國食料自給自足ノ基礎ヲ確立スル爲穀類搗精取締法ヲ制定セラレタシ」トノ請願

請願

(右ハ採擇)

(ロ) 穀類搗精取締法制定反對請願

千葉縣安房郡館山町

房州白土株式會社

房州白土共販株式會社

右代表 取締役 佐野傳兵衛

外十名

「穀類搗精取締法ハ制定相成ラザル様」トノ請願  
不採擇



(ハ) 農村振興ニ付請願

新潟縣中頸城郡町村農會長會議長  
新潟縣中頸城郡農會長野口孝治 外三十一名

「政府ハ直ニ米穀法ノ最低價格ノ算定方法ヲ適當ニ改正シ米價ト一般物價トノ騰貴率トヲ一致セシムルヲ必要ト認ム、永久的米穀政策ニ付最善ノ成案ヲ得テ必ズ今議會ニ提出セラレタシ」トノ請願  
(右ハ採擇)

(ニ) 國民保健更生請願書

横濱市中區戸部町四丁目百二十七番地  
藥種商 菅沼惣吉 外十九名

「常食トシテ玄米使用獎勵ノ省令ヲ公布アリタキ事」トノ請願(外一項略)  
採擇

(ホ) 農家救濟ニ關スル件

大阪府北河内郡山田村大字甲斐田九百五十七番地  
農 辻文一 外百二十名  
外六件

「米蠶農家損失ノ國家補償等ヲ行ハレタシ(其ノ他ノ事項略)」トノ請願  
(右ハ參考送付)

(ヘ) 農村窮乏打破ニ關スル件

横濱市中區末吉町三丁目五十六番地  
渡邊小太郎 外八十名  
外一件

「米蠶農家損失ノ國家補償等ヲ行ハレタシ(其ノ他ノ事項略)」トノ請願  
(右ハ參考送付)

(四) 質問主意書

我が民族力ヲ衰耗銷磨シツツアル三大弊事ニ關スル質問主意書

第一 (略)

第二 (略)

第三 榮養缺損ノ爲國民全體ノ身體機能ヲ萎靡銷磨セシメツツアルコト  
(玄米食普及ニ關スル件)

提出者 荒川 五郎

第三 米穀ニ關スル調査會

一 各種調査會

從來設置セラレタル米穀ニ關スル各種調査會ヲ示セバ左ノ如シ



名稱	所屬	設置		廢止		備考
		年月日	勅令	年月日	勅令	
中央統計委員會	內閣	大正九、一〇	五一四			
人口食糧問題調查會	"	昭和二、七	七二二	五、四、一〇	七二	
資源審議會	"	二、七	二三三			
經濟審議會	"	三、九	七二四	四、一〇	七三	
米穀調查會	"	四、五	二二七	四、一	四七	
關稅審議會	"	四、七	一九三	四、二九	三九八	
臨時產業審議會	"	五、一	二一三			勅令ニ依ラズ
農林調查委員會	"	四、四	八	六、三、三一		同
國際統計協會	"	四、一	二六			同
米穀準備委員會	"	七、一	九三三			
米穀統制委員會	"	六、一	八	七、一二、一六		
硫酸アンモニア委員會	"	大藏省明治三二、六	二四九			
關稅訴願審查委員會	"	大正一一、三	一三九			
國有財產調查會	"	一四、四	五五			
預金部資金運用委員會	"	一五、五	二一五			
關稅調查委員會	"					
地租改正委員會	"					
米穀委員會	農林省	大正一〇、五	一四一〇八			

小作調查會	"	一五、五、二五	一三五六	四、一	二七	勅令ニ依ラズ
肥料調查委員會	"	二、六	七			省令二五
農林審議會	"	六、九	九三六七	四、一	四四	
國產振興委員會	商工省	一五、六	一一一六〇			
臨時產業審議會	"	六、一	二一三			
統制委員會	"	六、八	九二〇九			

二 米穀調查會

米穀法施行後既ニ相當ノ歲月ヲ經過シ我國ノ米穀事情モ亦變化シ來リタルヲ以テ米穀ノ需給及價格調節ニ關スル根本方策ニ關シ調査審議スル爲第五十六議會ニ於テ米穀調査會費四萬圓ノ追加豫算ヲ提出シテ其ノ協賛ヲ經昭和四年五月二十二日勅令第二百二十七號ヲ以テ米穀調査會官制ヲ公布シ同年六月十三日第一回總會ヲ開キテ諮問第一號ヲ附議セシガ爾後特別委員會(開會二十回)小委員會(開會十回)ヲ開キテ審議ノ結果昭和五年三月二十日第四回總會ニ於テ答申ヲ議決セリ

次デ昭和五年十月十五日第五回總會ニ於テ諮問第二號ヲ附議セシガ特別委員會(開會十一回)ヲ開キテ審議ヲ重ネ同年十二月十三日第七回總會ニ於テ答申ヲ議決セリ

以上諮問第一號及第二號ニ對スル答申ニ基キ昭和六年三月米穀法ノ改正ヲ行ヒタルガ更ニ昭和六年十月十日第八回總會ヲ開キテ諮問第三號乃至第五號ヲ附議シ同日午後及翌十一日特別委員會ヲ開キテ審議セリ



參照 米穀調查會官制

第一條 米穀調查會ハ内閣總理大臣ノ監督ニ屬シ、關係各大臣ノ諮問ニ應ジテ米穀政策ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

調査會ハ前項ノ事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 調査會ハ會長一人、副會長二人及委員三十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ内閣總理大臣ヲ以テ之ニ充ツ

副會長ハ農林大臣及大藏大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ内閣總理大臣ノ指名スル副會長其ノ職務ヲ代理ス

第五條 調査會ニ幹事ヲ置ク内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 調査會ニ書記ヲ置ク内閣ニ於テ之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス (昭和四年五月二十二日公布)

米穀調查會議事規則

第一條 會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定ム

第二條 會長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス

第三條 會長副會長共ニ事故アルトキハ會長ニ於テ指命シタル委員臨時議長ヲ代理ス

第四條 會議ハ委員(臨時委員ヲ含ム以下同ジ)二分ノ一以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ

第五條 委員ノ議席ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 會議ハ之ヲ公開セズ其ノ議事ハ特ニ秘密ヲ要セザル限り會長ノ指揮ニ依リ之ヲ公表ス

第七條 發言セントスル者ハ議長ノ許可ヲ受クベシ

發言ハ議席ニ於テ起立シテ之ヲ爲スベシ

第八條 議事ノ整理上必要アルトキハ議長ハ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルコトヲ得

第九條 關係各廳職員其ノ他ノ者ニシテ議長ニ於テ適當ト認メタル者ハ會議ニ出席シ議案ノ説明ヲ爲シ又ハ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第十條 修正ノ動議ヲ提出セントスル者ハ案ヲ具シ之ヲ議長ニ差出スベシ但シ簡單ナルモノハ口頭ヲ以テ陳述スルコトヲ得

第十一條 動議ハ賛成者アルニ非ザレバ議題ト爲スコトヲ得ズ

第十二條 議事ハ出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十三條 採決ハ起立ニ依ル但シ議決ニ依リ記名投票又ハ無記名投票ヲ用フルコトヲ得



第十四條 委員建議案ヲ提出セントスルトキハ案ヲ具シ理由ヲ附シ委員十人以上ノ賛成者ト共ニ連署シテ之ヲ會長ニ差出スベシ

第十五條 會長必要ト認ムルトキハ委員ノ中ヨリ特別委員ヲ選定シ審査ヲ命ズルコトヲ得

第十六條 特別委員ハ其ノ互選ヲ以テ委員長ヲ置ク

特別委員會ニハ本會ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條 議事録ハ幹事之ヲ作成スベシ

第十八條 本則ニ規定ナキ事項ハ會長之ヲ決ス

米穀調查會經費豫算

四〇、〇〇〇圓

三五、〇〇〇圓

一七、四三〇圓

昭和四年度

昭和五年度

昭和六年度

(昭和四年六月十三日)

米穀調查會第一回總會ニ於ケル内閣總理大臣挨拶  
本日茲ニ米穀調查會ノ開會ニ當リ所信ノ一端ヲ述ブルノ機會ヲ得タルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ。惟フニ米穀ハ我國民ノ主要食糧タルト共ニ、我農家ノ主要生産品タリ。茲ヲ以テ之ガ需給ヲ圓滑ナラシメ、價格ノ安定ヲ圖ルコトニ關シテハ歴代政府ノ均シク意ヲ用ヒタル所ニシテ、現政府ニ於テモ亦其ノ就任以後數次ノ買上、外米ノ輸入制限等米穀法ノ運用ニ依リ米穀ノ需給及價格ノ調節ニ努メ以テ同法所期ノ目的ヲ實現スルニ努力シ來リタリ。然レドモ米穀法ハ其ノ成立後既ニ相當ノ歲月ヲ經過シ

其ノ間本邦人口ノ増加、臺灣米生産ノ發展、外米事情ノ變化等米穀ニ關スル諸般ノ事情ニ著シキ變遷ヲ見ルニ至リタルヲ以テ、米穀政策ニ付テハ新ナル考察ヲ加フルノ必要ヲ生ズルニ至リタリ。而シテ既ニ第五十六議會ニ於テ政府ハ運用資金ノ借入限度ヲ七千萬圓増額スル爲メ米穀需給調節特別會計法ヲ改正スルノ案ヲ提出シ、之ガ協賛ヲ得ル所アリタルモ、右ハ應急ノ施設タルニ止マルヲ以テ、米穀ノ需給及價格調節ニ關スル根本方策ニ關シ改メテ慎重審議ヲ爲シ以テ刻下ノ事情ニ適切ナル政策ヲ樹立スル爲メ、茲ニ米穀ニ關スル各方面ノ權威者ヲ網羅シテ本調查會ヲ設置スルニ至リタル次第ナリ。右ノ如キ次第ナルヲ以テ、各位ニ於テハ本調查會ノ重要ナル任務ニ鑑ミ、蘊蓄ヲ傾ケ、充分ニ論議ヲ盡サレ、適切ナル意見ヲ答申セラレンコトヲ望ム。

諮問第一號

(昭和四年六月七日)

米穀ノ需給及價格ノ調節ニ關シ執ルベキ方策如何

說 一 明

米穀ノ需給及價格ノ調節ニ關シテハ大正十年四月以來米穀法ヲ施行シ爾來同法ノ運用ニ依リ極力之ガ需給ヲ圓滑ヲ圖リ價格ヲ安定セシムルコトニ努メタルノ結果既ニ相當ノ效果ヲ擧ゲ得タルモ、我國ノ米穀事情ハ今ヤ米穀法制定當時トハ著シク其ノ趣ヲ異ニシ、殊ニ人口ノ増加、朝鮮米、臺灣米ノ生産狀況等ニ於テ其ノ變化ノ顯著ナルモノアリ、之ガ爲今後ニ於ケル米穀ノ調節政策ハ内地及朝鮮臺灣ヲ通ジテ之ヲ考慮スルヲ緊要ナリトスルニ至レリ。次ニ外國米ニ關シテモ米穀法施行後其ノ事情ノ變遷ヲ來シ現行米穀法ノ範圍内ニ於テハ之ガ統制上遺憾ノ點尠カラズ



又米穀需給調節資金ノ制度ニ付テハ第五十六帝國議會ニ於テ借入金ノ限度ヲ七千萬圓擴張セラレタルモ右ハ臨時ノ應急的施設ニ止ルヲ以テ損失金補填ノ問題ト共ニ更ニ根本的ニ攻究スルノ必要ニ迫ラレツツアリ。以上ハ本調査會ニ於テ特ニ論議ヲ要スベキ重要ナル事項ヲ擧ゲタルモノニシテ米穀ノ調節ニ關シテハ尙調査攻究スベキ事項尠カラズ。之ヲ要スルニ我國今後ニ於ケル米穀ノ需給及價格ノ調節ニ關シテハ以上各般ノ米穀事情ニ關スル調査ヲ遂ゲ更ニ根本的ニ之ガ對策ヲ確立スルノ寔ニ緊要ナルモノアリト認メラルルガ故ニ、茲ニ本案ヲ提出シ之ニ對スル意見ヲ求ムル次第ナリ。

諮問第一號ニ對スル答申

(昭和五年三月二十日)

答申

米穀ノ需給及價格ノ調節ニ關シ執ルベキ方策左ノ通答申ス

- 一 米價基準ヲ設定スルハ緊要ナリト認ム仍テ政府ハ速ニ米穀法ノ發動ニ必要ナル米價ノ最高最低基準ヲ調査決定スベシ

說明

米穀法ノ運用ニ當リ據ルベキ米價ノ最高最低基準ヲ設クルコトハ米穀法ノ發動ヲ公正ナラシメ運用ニ遺憾ナカラシムル上ニ於テ極メテ緊要ナリト認ム本會ニ於テハ物價指數ニ基ク案、生産費及生計費ニ基ク案、物價指數ニ米價ノ趨勢ヲ加味スル案等ノ提出ヲ見タルモ各種ノ事情ニ付尙ホ充分ノ調査ヲ遂グルノ必要アリ仍テ政府ニ於テ速ニ成案ヲ得ル様力ムベシ

- 二 農業倉庫ヲ獎勵シ之ニ低利資金ヲ融通スルコト

說明

米穀ノ需給ヲ調節シ之ガ價格ノ安定ヲ圖ルコトニ關シテハ獨リ米穀法ノ運用ノミニ俟ツベキニ非ズ生産者ヲシテ自治的ニ調節セシムルノ方策ヲモ併セ行フヲ適當ト認ムルヲ以テ農業倉庫ノ普及發達ヲ圖ルト共ニ之ニ對シテ低利資金ヲ融通シテ市場出廻數量ヲ自治的ニ調節セシムルヲ緊要ナリト認ム

- 三 内地ニ移出スル朝鮮米ノ數量ヲ月別平均的ニ調節スル爲速ニ朝鮮總督府ニ於テ適當ナル方策ヲ樹立スベシ

說明

近時激増ヲ見ルニ至レル朝鮮米ノ内地移入ハ出來秋ニ一時ニ殺到スルガ爲米價ノ低落ヲ來シ内地米ヲ壓迫スルコト大ナルノミナラズ朝鮮米ニ對シテモ惡影響ヲ與フルコト少ナカラズ其ノ移入ヲ調節スルハ單ニ内地ノミナラズ朝鮮ニ對シテモ利益ナリ仍テ内地ニ移出スル朝鮮米ノ數量ヲ月別平均的ニ調節スル爲速ニ朝鮮總督府ニ於テ適當ナル方策ヲ樹立スベキモノトス

- 四 外國米輸出入許可制度ヲ設ケ一定數量ノ輸入ヲ許可シ同時ニ輸出ヲモ許可ヲ受ケシムルコトトシ外國米輸出入ノ管理統制ヲ圖ルベシ

說明

外國米ノ輸入及輸出ノ制限ニ付テハ現行米穀法第二條ニ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ之ヲ制限シ得ベキ規定アレドモ右ハ臨時的調節策ニ過ギザ



ルヲ以テ米穀政策遂行上遺憾ノ點少シトセズ仍テ外國米ノ輸出入ヲ政府ノ管理統制ノ下ニ置ク爲  
常時許可ヲ要スルモノトシ調節ノ徹底ヲ期スベシ  
五 從來ノ米穀需給調節特別會計ノ損失ヲ一般會計ニ移スコト

說明

米穀需給調節特別會計ノ過去ノ損失ハ今更ラ自ラ償却スルニ由ナシ仍テ米穀法改正ノ際之ヲ一般  
會計ニ移スベシ

米穀調査會第五回總會ニ於ケル内閣總理大臣挨拶

(昭和五年十月十五日)

本日米穀調査會總會ヲ開キ再ビ委員各位ト相見ユルノ機會ヲ得タルハ誠ニ欣幸トスル所ナリ。  
政府ハ米穀ノ需給及價格ノ調節ニ關シ執ルベキ方策ニ付テハ本會ノ答申ニ基キ其ノ趣旨ニ副フベク努  
メツツアル所ナルガ、殊ニ米價基準ノ設定ニ付テハ本會答申ノ趣旨ニ依リ慎重調査ヲ遂ゲタル結果茲  
ニ其ノ成案ヲ得タルヲ以テ更メテ各位ノ意見ヲ聽カントス。

各位ハ充分ナル論議ヲ盡シ適切ナル意見ヲ答申セラレシコトヲ望ム。

詰問第二號

(昭和五年十月九日)

米穀法ニ依リ米穀ノ市價ヲ調節スル爲米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ノ基準ト爲ルベキ最高及最低ノ  
價格ハ左記三項ヲ基礎トシ之ヲ決定セントス其ノ可否如何

記

米穀生産費

家計費

米價指數ノ物價指數ニ對スル割合(米價率)ノ趨勢ニ依リ算出シタル米價

說明

米穀法ニ依リ米穀ノ市價ヲ調節スル爲米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ノ基準ト爲ルベキ最高及最低  
ノ價格ノ決定方法ニ關シテハ曩ニ本調査會ニ於テ政府ハ速ニ米穀法ノ發動ニ必要ナル米價ノ最高最  
低基準ヲ調査決定スベシトノ答申アリタル次第ナルガ、政府ニ於テハ其ノ後調査ノ結果本決定ニ當  
リテハ特ニ米穀法ノ精神ニ鑑ミ米穀生産者ノ生産經濟ヲ安定ナラシメ消費者ノ家計ヲ困難ニ陥ラシ  
メザル爲米穀生産費及消費者ノ家計費ヲ考慮スルト同時ニ、米價ノ過去ニ於ケル一般物價トノ關係  
ヲモ考慮スルノ必要アリト認メタルヲ以テ、本案ニ於テハ米穀生産費、家計費及米價指數ノ物價指  
數ニ對スル割合(米價率)ノ趨勢ニ依リ算出シタル米價(率勢米價)ヲ基礎トシ其ノ時ノ米穀事情ニ最  
モ適合シタル最高最低ノ價格ヲ決定スルヲ適當ナリト認メタリ。茲ニ本案ヲ提出シテ各位ノ意見ヲ  
求メントスル次第ナリ。

詰問第二號ニ對スル答申

(昭和五年十二月十三日)

答申

米穀法ニ依リ米穀ノ市價ヲ調節スル爲米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ノ基準トナルベキ最高及最低ノ  
價格ハ米穀生産費、家計費及率勢米價ヲ基礎トシテ別記基準價格要綱ニ依リ之ヲ決定スベシ仍テ政府  
ハ直ニ米穀生産費及家計費ノ調査ニ着手シ適當ナル資料ヲ得ルコトニ努ムベク其ノ資料ノ整備スルニ



至ル迄ハ暫定方法トシテ率勢米價ヲ基礎トシ別記基準價格要綱ニ準ジ基準價格ヲ決定スベシ此ノ場合ニ於テハ率勢米價ノ上値二割及下値二割ニ相當スル價格ヲ以テ最高及最低ノ基準價格トス

記

基準價格要綱

第一 基準價格決定ノ基礎

米穀法ニ依リ米穀ノ市價ヲ調節スル爲米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ行フ場合ノ基準トナルベキ最高及最低ノ價格ハ左ノ三項ヲ基礎トシテ之ヲ決定スルモノトス

米穀生産費

家計費

率勢米價

率勢米價トハ明治三十三年十一月以降ノ日本銀行調査米價指數ノ物價指數ニ對スル割合(米價率)ヲ基礎トシ當該米穀年度ニ於ケル米價率ノ趨勢値ヲ算出シ之ヲ基準價格決定ノ前月ノ物價指數ニ乗ジタルモノヲ十一圓八十一錢(日本銀行調査ノ基礎年月タル明治三十三年十月ノ米價)ニ乗ジテ算出シタル價格ヲ謂フ。

第二 基準價格ノ決定及改定

(一) 基準價格ノ決定

(1) 最低價格ノ決定方法

米穀生産費ト率勢米價ノ下値二割ニ相當スル價格トノ間ニ於テ適當ト認ムル價格ヲ以テ最低價格トス。

(2) 最高價格ノ決定方法

家計費ノ調査ニ依リ算出セラルル米價ト率勢米價ノ上値二割ニ相當スル價格トノ間ニ於テ適當ト認ムル價格ヲ以テ最高價格トス。

(3) 基準價格ノ決定時期

基準價格ハ毎年十二月之ヲ決定ス。

(二) 基準價格ノ改定

(1) 經濟界ノ異常ナル變動ニ因リ物價ノ變動著シキ場合ニ於テハ基準ト爲ルベキ最高及最低ノ價格ノ決定方法ニ準ジ基準價格ノ改定ヲ行フモノトス。

(2) 九月一日ヨリ次ノ基準價格ノ決定迄ノ期間中米穀需給狀態ニ著シキ變動ヲ生ジタル場合又ハ其ノ虞アリト認メタル場合ニ於テハ改定セントスル月ノ前月ノ物價指數ニ依リ算出シタル率勢米價ノ下値二割ニ相當スル價格ヲ以テ最低價格ヲ改定スルコトヲ得。

第三 基準價格ノ適用期間

基準價格ハ公表ノ日ヨリ次ノ基準價格公表ノ前日迄之ヲ適用ス

第四 基準價格ニ基ク米穀ノ買入及賣渡

東京(深川、神田川)及大阪正米市場ニ於ケル中米ノ現物時價(中米各銘柄ノ總平均價格)ガ基準價格



ヲ超エ低落又ハ騰貴シタルトキハ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ行ヒ其ノ趨勢ヲ抑制スルコトニ努ム

附帶希望

米穀生産費及家計費ノ調査方法及調査項目ニ付テハ本會審議ノ經過ニ鑑ミ政府ニ於テ適當ニ之ヲ定メラレンコトヲ望ム

米穀調査會第八回總會ニ於ケル内閣總理大臣挨拶

(昭和六年十二月十日)

本日米穀調査會ヲ開キ各位ト相見ユルノ機會ヲ得タルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ。政府ハ曩ニ米穀ノ需給及價格ノ調節ニ關シ執ルベキ方策竝ニ米價基準ノ設定ニ付本會ニ諮問シ其ノ答申ニ基キ米穀法ノ改正其ノ他適當ナル方策ヲ講ジツツアリト雖モ尙朝鮮米ノ内地移入統制、外國米ノ輸入許可及米穀需給調節ノ基礎タル米穀ノ數量調査ニ關シ充分攻究スルノ必要アルヲ認メ政府ノ執ルベキ方策ニ付各位ノ意見ヲ聽カントス。各位ハ充分論議ヲ盡サレ適切ナル意見ヲ答申セラレムコトヲ望ム。

諮問第三號

朝鮮米ノ内地移入ノ統制ニ關シ執ルベキ方策如何

說明

朝鮮米ノ内地移入ノ統制ニ關シテハ曩ノ諮問第一號ニ對スル答申第三ニ於テ朝鮮米移入ノ數量ヲ月別平均的ニ調節スル爲速ニ朝鮮總督府ニ於テ適當ナル方策ヲ樹立スベキ旨答申アリ、右ニ基キ同總督府ニ於テモ倉庫ノ建設、低利資金ノ融通等ノ經濟施設ニ依リ其ノ目的ヲ達スルニ努メツツアルモ、

其ノ他ノ經濟施設ニシテ適當ナルモノアラバ之ヲ實行シ尙一層有效ニ所期ノ目的ヲ實現スルコトヲ期スルハ緊要ナル事項ナリト認ム。是レ茲ニ本諮問ヲ爲シテ意見ヲ求ムル所以ナリ。

諮問第四號

米穀法第三條ノ規定ニ依ル許可ニ關シ執ルベキ方策如何

說明

米穀法第三條ノ規定ニ從ヒ政府ノ許可ニ依リ輸入セラルベキ米穀ノ數量ヲ決定スルニ付テハ米穀需給上ノ供給不足量ノ外米價ノ狀況及米穀ノ需給ニ影響ヲ及ボスベキ事項ヲ考慮スルコト必要ナリ。又輸入許可ノ方法ニ付テハ豫定數量ノ全部ヲ一時ニ許可スベキカ又ハ數回ニ分割シテ許可スベキカ、數回ニ分割スルトセバ各回ニ於ケル許可數量ヲ如何ニスベキカノ問題竝ニ許可ヲ受クルコトヲ得ル者ノ資格ヲ限定スベキカ否カ、限定スルトセバ如何ナル者ニ之ヲ限定スベキカノ問題等ニ付慎重ニ攻究ヲ爲スノ必要アリ。是レ茲ニ本諮問ヲ爲シテ意見ヲ求ムル所以ナリ。

諮問第五號

米穀ノ數量調査ノ改善ニ關シ執ルベキ方策如何

說明

米穀ノ産額、朝鮮臺灣ヨリノ移入高、内地在米高ヲ敏速且正確ニ知ルコトハ米穀政策ヲ遂行スル上ニ於テ極メテ重要ナル事項ナルガ之ニ關スル從來ノ調査ハ未ダ充分ナラズシテ米穀政策上遺憾ノ點尠カラズ。是レ茲ニ本諮問ヲ爲シテ意見ヲ求ムル所以ナリ。



三 米穀統制調査委員會

米穀統制ニ關スル調査ヲナス爲米穀統制調査委員會ヲ設置シ左記ノ通委員長、委員、幹事及書記ヲ任命シ昭和七年七月十一日、十二日、十三日及十五日農林大臣官邸ニ於テ會議ヲ開キ米穀統制ニ關シ協議セリ

○昭和七年六月二十九日

委員長	米穀部長	長瀬貞一
委員	計畫課長	荷見安
	資料課長	本多佐七
	米穀課長	横山敬教
	經理課長	平岡梓
	農林事務官	中尾桂一郎
幹事	農林技師	小松孝行
書記	農林技師	新井睦治
	農林屬	平又市
	同	中野休文
委員	農林技師	片山秀太郎

○昭和七年七月八日

四 米穀統制調査會

昭和七年十一月九日勅令第三百三十四號ヲ以テ米穀統制調査會官制ヲ公布シ、同日委員、幹事、書記ヲ任命セリ

昭和七年十一月二十四日第一回總會ヲ開キテ「諮問第一號米穀統制ニ關スル方策如何」ヲ提出シ、爾後特別委員會ヲ開クコト七回、小委員會ヲ開クコト八回、昭和八年一月十四日第三回總會ヲ開キテ答申ヲ議決セリ

米穀統制調査會官制

(昭和七年十一月九日公布  
勅令第三百三十四號)

第一條 米穀統制調査會ハ內閣總理大臣ノ監督ニ屬シ關係各大臣ノ諮問ニ應ジテ米穀統制ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

調査會ハ前項ノ事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 調査會ハ會長一人、副會長二人及委員三十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ內閣總理大臣ヲ以テ之ニ充ツ

副會長ハ農林大臣及大藏大臣ヲ以テ之ニ充ツ



委員及臨時委員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ内閣總理大臣ノ指名スル副會長其ノ職務ヲ代理ス

第五條 調査會ニ幹事ヲ置ク内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 調査會ニ書記ヲ置ク内閣ニ於テ之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀統制調査會議事規則

第一條 會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定ム

第二條 會長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス

第三條 會長、副會長ニ事故アルトキハ會長ニ於テ指名シタル委員臨時議長ヲ代理ス

第四條 會議ハ委員（臨時委員ヲ含ム以下同ジ）二分ノ一以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得

第五條 委員ノ議席ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 會議ハ之ヲ公開セズ其ノ議事ハ特ニ秘密ヲ要セザル限り會長ノ指揮ニ依リ之ヲ公表ス

第七條 發言セントスル者ハ議長ノ許可ヲ受クベシ

發言ハ議席ニ於テ起立シテ之ヲ爲スベシ

第八條 議事ノ整理上必要アルトキハ議長ハ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルコトヲ得

第九條 關係各廳職員其他ノ者ニシテ議長ニ於テ適當ト認メタル者ハ會議ニ出席シ議案ノ説明ヲ爲シ

又ハ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第十條 修正ノ動議ヲ提出セントスル者ハ案ヲ具シ之ヲ議長ニ差出スベシ但シ簡單ナルモノハ口頭ヲ

以テ陳述スルコトヲ得

第十一條 動議ハ賛成者アルニ非ザレバ議題ト爲スコトヲ得ズ

第十二條 議事ハ出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十三條 採決ハ起立ニ依ル但シ議決ニ依リ記名投票又ハ無記名投票ヲ用フルコトヲ得

第十四條 委員建議案ヲ提出セントスルトキハ案ヲ具シ理由ヲ附シ委員十人以上ノ賛成者ト共ニ連署

シテ之ヲ會長ニ差出スベシ

第十五條 會長必要ト認ムルトキハ委員ノ中ヨリ特別委員ヲ選定シ審査ヲ命ズルコトヲ得

第十六條 特別委員ハ其ノ互選ヲ以テ委員長ヲ置ク

特別委員會ニハ本會ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條 議事録ハ幹事之ヲ作成スベシ

第十八條 本則ニ規定ナキ事項ハ會長之ヲ決ス



米穀統制調査會職員名簿

(昭和八年一月十四日現在)

○印ハ特別委員

會長	齋藤實
副會長	高橋是清
委員	後藤文夫
農林大臣	柴田善三郎
大藏大臣	堀切善次郎
農林政務次官	瀧正雄
農工政務次官	齋藤隆夫
拓務政務次官	堀切善兵衛
貴族院議員	○有馬頼寧
	○岩切重雄
	○堤康次郎
	○上山滿之進
	○堀切善兵衛
	○酒井忠正
	○橋本圭三郎
	○郷誠之助
	○岩倉道俱
	○若宮貞夫
	山崎達之輔
	秦豊助
	小池仁郎
	○高田耘平
	川崎克
	○東
	○胎中楠右衛門
	○岡田良平
	○馬場鎭一

同	伊澤多喜男
同	侯爵 松平康昌
同	子爵 青木信光
同	伯爵 酒井忠正
同	○橋本圭三郎
同	○郷誠之助
同	○岩倉道俱
同	○若宮貞夫
同	山崎達之輔
同	秦豊助
同	小池仁郎
同	○高田耘平
同	川崎克
同	○東
同	○胎中楠右衛門
同	○岡田良平
同	○馬場鎭一
正三位勳一等	
從四位勳一等	



從三位勳二等  
 正四位勳三等  
 正三位勳二等  
 從四位勳四等  
 正五位勳二等  
 從四位勳四等  
 從七位勳四等  
 從六位  
 從七位勳六等

臨時委員

大藏次官  
 專賣局長官  
 農林次官  
 農林參與官  
 拓務次官

朝鮮總督府政務總監  
 臺灣總督府總務長官

子爵

○矢作榮藏  
 ○河田嗣郎  
 ○牧野忠篤  
 ○有賀光豐  
 ○土方久徵  
 ○渡邊鏡藏  
 ○上田彌兵衛  
 ○安川雄之助  
 三橋信三  
 黑田英雄  
 佐々木謙一郎  
 石黒忠篤  
 松村謙三  
 河田清烈  
 今井田清德  
 平塚廣義

幹事

正五位

○橋本傳左衛門

內閣書記官  
 法制局參事官  
 大藏省主計局長  
 大藏省理財局長  
 農林省米穀部長  
 農林書記官  
 商工省商務局長  
 拓務省殖產局長

書記

內閣屬  
 同  
 大藏屬  
 農林屬  
 同  
 同

池之上武雄  
 小林正雄  
 長谷川基衛  
 平又市  
 福地誠助  
 池內豐太

村瀬直養  
 金森徳次郎  
 藤井眞信  
 富田勇太郎  
 荷見安  
 村上富士太郎  
 川久保修吉  
 北島謙次郎



米穀統制調査會經費豫算

昭和七年度

一四、五五五圓

米穀統制調査會第一回總會ニ於ケル内閣總理大臣挨拶

(昭和七年十一月二十四日  
内閣總理大臣官邸ニ於テ)

本日茲ニ米穀統制調査會ノ開會ニ當リ一言ヲ述ブルノ機會ヲ得タルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ。惟フニ米穀ハ我が國民生活ニ密接不離ノ關係ヲ有シ其ノ需給ノ均衡及價格ノ安定ヲ圖ルハ極メテ緊要ナル事項ナリ。茲ヲ以テ歴代ノ政府ハ米穀ノ數量及市價ノ調節ニ多大ノ意ヲ須ヒ來リ昭和六年ニ於テハ米穀調査會ノ答申ニ基キ米穀法ヲ改正シ其ノ發動ニ必要ナル基準ヲ設ケタリ。然レドモ米穀ニ關スル諸般ノ事情ニ適應シテ更ニ適切ナル方策ヲ攻究スルヲ緊要ト認メ第六十二議會ニ於テ之ガ爲必要ナル豫算ノ協賛ヲ經本年六月以來農林省ニ米穀部ヲ設置シ銳意之ガ調査ヲ爲シツツアリ。而シテ過般ノ臨時議會ニ於テハ應急ノ對策トシテ米穀法及米穀需給調節特別會計法ヲ改正シ以テ米穀政策遂行上機宜ノ處置ニ遺憾ナキヲ期シタル次第ナルモ、更ニ米穀統制ニ關スル恒久の方策ノ確立ニ付テハ慎重審議ヲ要スルモノアリ。是レ茲ニ各方面ノ權威者ヲ網羅シタル本調査會ヲ設置スルニ至リタル所以ナリ。

仍テ各位ニ於テハ充分ニ論議ヲ盡サレ適切ナル意見ヲ開示セラレンコトヲ望ム

諮問第一號

米穀統制ニ關スル方策如何

說明

米穀需給ノ調節ハ從來米穀法ニ依リ之ヲ行ヒ既ニ三度同法ノ改正ヲ見タルモ、内地、朝鮮及臺灣ニ於ケル米穀需給狀況ノ變化等各般ノ事情ハ尙米穀統制ノ方策ニ付深ク攻究ヲ必要トスル狀勢ニ在リ。仍テ茲ニ本諮問ヲ提出シ之ニ對スル意見ヲ求ムル次第ナリ。

昭和八年一月十四日

米穀統制調査會會長

子爵

齋

藤

實

内閣總理大臣

子爵

齋

藤

實

殿

本會ハ諮問第一號ニ付慎重審議ヲ遂ゲ別紙ノ通告申ヲ議決致候條此段及報告候

答 申

米穀統制案要綱

第一 本制度ノ目的ハ米穀ノ數量及價格ノ調節ヲ圖ルニ在リ

第二 數量ノ調節

一 米穀ノ輸出入ノ許可

二 政府ハ必要アリト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ外國米、粟其ノ他ノ雜穀ノ輸入税ノ増減若ハ



免除ヲ爲シ又ハ粟其ノ他ノ雜穀ノ輸入ヲ制限スルコトヲ得

三 米穀ノ季節的出廻數量ノ調節及地方の偏在ノ匡正ヲ圖ル爲政府ハ毎年各道府縣、朝鮮及臺灣ノ各月ノ管外移出數量ヲ推算シ全國ヲ通ジ移出數量ヲ月別平均的ナラシムル爲出廻期ニ於テ買入ヲ行ヒ出廻期後ニ賣却ヲ行フ

第三 内地ニ於ケル價格ノ公定

一 最低價格ハ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定メ最高價格ハ家計米價、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム(公定價格)

二 政府ハ公定價格ヲ維持スル爲其ノ指定スル市場ニ於テ最低價格ニ依ル買上ノ申込及最高價格ニ依ル賣渡ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入又ハ賣却ヲ行フ

第四 前各項ノ實行上必要ナル調査ニ關シテハ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

附記

本制度ノ實施ニ付テハ左記事項ヲ實行スルコトヲ要ス

第一 産業組合、農業倉庫等ヲシテ自治的統制ヲ圖ラシムルコト

第二 内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジテ米穀ノ生産ヲ統制的ニ計畫實行スルコト

前項ノ目的ヲ達スル爲關係當局者其ノ他ノ者ヨリ成ル委員會ニ諮問シ之ヲ決定スルコト

第三 出廻期ニ於ケル朝鮮米及臺灣米ノ殺到ヲ防止スル爲有效適切ナル方途ヲ講ズルニ付中央及兩總督府ニ於テ充分ナル協議ヲ遂ゲ萬遺憾ナキヲ期スルコト

第四 現行米穀需給調節特別會計ハ之ガ整理充實ヲ圖ルコト

内閣總理大臣ノ挨拶

(昭和八年一月十四日於總會)

此場合ニ於キマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、昨年十一月二十四日第一回總會以來屢々會合ヲ重ネラレ、各委員ノ熱心ナル調査御審議ノ結果、諮問第一號ニ對スル答申ガ只今決議セラレタルコトヲ衷心ヨリ喜ブト共ニ、委員各位ノ御盡力ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表スル次第アリマス、尙今回ノ答申ニ對シマシテハ深ク考慮ヲ加へ、其趣旨ニ副フベク努メタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、一言御挨拶ヲ申上ゲマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

政府ヨリ提出シタル參考資料

(一) 米穀統制制度要綱

第一 目的

本制度ノ目的ハ米穀ノ生産者並消費者ノ經濟ヲ安定セシムル爲米穀ノ數量ノ調節及價格ノ安定ヲ圖ルニ在リ

第二 米穀ノ價格ノ公定

(一) 政府ハ毎年米穀ノ最低價格及最高價格ヲ定メ之ヲ告示ス



最低價格ハ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定メ最高價格ハ家計米價、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第三 米穀ノ買入及賣渡

(二) 米穀事情ニ著シキ變動アル場合ニ於テハ最低價格及最高價格ハ之ヲ改定スルコトヲ得

(一) 政府ハ米穀ノ季節的及地方的出廻數量ヲ調節スル爲メ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ行フコトヲ得

前項ノ買入及賣渡ハ最低價格及最高價格ノ範圍内ノ價格ヲ以テ之ヲ行フ

(二) 政府ハ最低價格ニ依ル買上ノ申込及最高價格ニ依ル賣渡ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入及賣渡ヲ行フ

(三) 朝鮮及臺灣ヨリ内地ニ移出セントスル米穀ハ政府ニ於テ之ヲ買入レ内地ニ於ケル需給推算ヲ基礎トシ移入數量ヲ豫定シ月別平均的ニ賣渡ヲ行フ

前項ノ買入ハ朝鮮及臺灣ニ於ケル中庸ノ米穀生産費、内地米トノ格差、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格ヲ以テ之ヲ行ヒ、内地ニ於ケル賣渡ハ内地米トノ格差ニ依リ定メタル價格ヲ以テ之ヲ行フ

第四 賣買價格ノ制限  
政府ノ指定スル地域ニ於ケル米穀ノ賣買ハ最低價格及最高價格ノ範圍内ノ價格ヲ以テスルニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ賣買當事者ヲ處罰ス

第五 米穀ノ徵收  
政府ハ最高價格ニ依ル賣渡希望ニ應ジ賣渡ヲ行フベキ米穀ヲ所有スル爲メ必要アリト認ムルトキハ米穀(自家用米ヲ除ク)ノ徵收ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ價額ヲ賠償ス

第六 米穀ノ輸出入  
(一) 米穀ノ輸出及輸入ハ政府之ヲ管理ス

(二) 政府ハ必要アリト認ムルトキハ粟其ノ他ノ雜穀ノ輸入ヲ制限スルコトヲ得

第七 米穀検査  
米穀検査ハ之ヲ國營トシ銘柄等級ヲ整理シ其ノ單純化ヲ圖ル

検査料ハ之ヲ徵收ス

第八 生産統制  
米穀増殖計畫ニ付テハ内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジ之ガ統制ヲ圖ル

第九 自治的統制

全國ニ米穀販賣組合及農業倉庫ヲ普及セシメ自治的統制ヲ圖ラシム

第十 本制度ノ實施ニ必要ナル諸調査ヲ行フ

第十一 統制機關  
(一) 農林省ニ米穀局ヲ、全國樞要ノ地ニ米穀事務所ヲ、各道府縣ニ米穀事務所支所ヲ置ク

農林省ニ米穀局ヲ、全國樞要ノ地ニ米穀事務所ヲ、各道府縣ニ米穀事務所支所ヲ置ク



(二) 最低價格及最高價格ノ決定其ノ他本制度運用ニ關スル重要事項ヲ審議セシムル爲委員會ヲ設ク  
第十二 會計  
本制度ノ實施ニ關シ特別會計ヲ設ク

(二) 米穀管理制要綱

第一 米穀管理地區

- (一) 全國ヲ十管理地區ニ分ツ
- (二) 管理地區内ノ米穀ノ取引ハ之ヲ自由トシ地區外ヘノ輸送ハ之ヲ禁止又ハ制限ス
- (三) 管理地區毎ニ米穀ノ需給推算ヲ行ヒ供給過剩ノ管理地區ニ於テハ其ノ過剩分ヲ政府ニ於テ買入レ之ヲ供給不足ノ管理地區ニ賣却ス

第二 政府ノ買入及賣却

- (一) 政府ハ一定ノ價格ヲ以テ常時米穀ノ買入及賣却ヲ行フ
- (二) 買入價格ハ各管理地區ニ於ケル中庸ノ米穀生産費ヲ基礎トシ全國ノ中庸ノ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ各管理地區毎ニ之ヲ定ム
- (三) 買入價格ハ毎年十二月之ヲ決定告示ス
- (四) 賣却價格ハ買入價格ニ保管配給等ノ經費ヲ加ヘタルモノヲ基礎トシ管理地區内ノ米穀事情、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム
- (五) 買入代金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ支拂フ

第三 米穀ノ徵收

政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ徵收ヲ爲スコトヲ得

第四 米穀ノ移出入

- (一) 米穀ノ移出又ハ移入ハ之ヲ禁止又ハ制限ス
- (二) 朝鮮米及臺灣米ノ移入數量ハ内地ニ於ケル米穀事情ヲ考慮シテ之ヲ決定ス
- (三) 朝鮮米及臺灣米ノ買入價格ハ朝鮮又ハ臺灣ニ於ケル中庸ノ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定ム

第五 米穀ノ輸出入

- (一) 米穀ノ輸出及輸入ハ之ヲ禁止又ハ制限ス
- (二) 外國米ノ輸入數量ハ内地ニ於ケル米穀事情ヲ考慮シテ之ヲ決定ス

第六 米穀検査

米穀検査ハ之ヲ國營トス

第七 自治的統制

産業組合、農業倉庫等ヲ指導シ自治的統制ヲ圖ラシム

第八 管理機關

- (一) 農林省外局トシテ米穀管理局ヲ置ク
- (二) 各管理地區ニ地方米穀管理局ヲ、各道府縣ニ地方米穀管理局支局ヲ置ク



朝鮮及臺灣ニ米穀事務所ヲ置ク

(三) 買入價格、賣却價格其ノ他米穀管理ニ關スル重要事項ヲ審議セシムル爲委員會ヲ設ク

第九 會計

米穀管理ノ實施ニ關スル歲入歲出ハ之ヲ特別會計トス

第十 民業ノ賠償

内地ニ於ケル米穀取引所及其ノ取引員ニ對シテハ賠償金ヲ交付ス

(三) 米價公定制要綱

第一 價格ノ公定

(一) 政府ハ毎年十二月其ノ月ヨリ翌年十一月ニ至ル各月ノ米穀ノ最低價格及最高價格ヲ定メ之ヲ告示ス(公定價格)

(二) 前項ノ最低價格ハ全國中庸ノ米穀生產費ヲ基礎トシ物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定メ、最高價格ハ家計費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ最低價格ニ適當ト認ムル金額ヲ加ヘテ之ヲ定ム

(三) 米穀事情又ハ物價ニ著シキ變動アル場合ニ於テハ公定價格ヲ改定ス

第二 賣買價格ノ制限

政府ノ指定スル市場ニ於ケル米穀ノ賣買ハ最低價格及最高價格ノ範圍内ノ價格ヲ以テスルニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得ズ

第三 政府ノ買入及賣却

政府ハ最低價格ニ依ル米穀ノ買上希望及最高價格ニ依ル米穀ノ賣渡希望ニ對シテハ之ニ應ジテ買上又ハ賣渡ヲ行フ

第四 米穀ノ徵收

政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀ヲ徵收スルコトヲ得

第五 米穀ノ輸移出入

米穀ノ輸出入及移出入ハ政府ノ獨占トス

第六 米穀検査

米穀ノ検査ハ之ヲ國營トス

第七 自治的統制

産業組合、農業倉庫等ヲ指導シ自治的統制ヲ圖ラシム

第八 實施機關

(一) 農林省外局トシテ米穀局ヲ置ク

(二) 全國樞要ノ地ニ地方米穀局ヲ置ク

(三) 朝鮮及臺灣ニ各米穀事務所ヲ置ク

公定價格ノ決定其ノ他米價公定ニ關スル重要事項ヲ審議セシムル爲委員會ヲ設ク

第九 會計



米價公定ノ實施ニ關スル歲入歲出ハ之ヲ特別會計トス

第十 民業ノ賠償

内地ニ於ケル米穀取引所及其ノ取引員ニ對シテハ賠償金ヲ交付ス

(四) 米穀專賣制要綱

第一 專賣米ノ範圍

内地ニ於ケル米穀(農家自家用米ヲ除ク)ハ政府ノ專賣トス  
米穀ノ輸出入及移出入ハ政府ノ獨占トス

第二 内地米ノ收納方法

(一) 專賣官廳ハ米穀納入組合ヨリ粃又ハ玄米ヲ以テ收納ス

(イ) 米穀納入組合ノ地區ハ原則トシテ市町村ノ區域ニ依ル

(ロ) 米穀納入組合ノ組合員ハ地區内ニ於テ米作ニ從事スル農家並耕地所有者ニシテ其ノ耕地ヲ小作ニ附シ小作料トシテ米穀ヲ受クル者トス

(ハ) 産業組合又ハ農會ハ專賣官廳ノ許可ヲ受ケ米穀納入組合ノ事務ヲ代行スルコトヲ得

(二) 收納代金ノ支拂方法ハ國債證券ノ交付ニ依ル

(三) 前項ノ國債證券ハ之ヲ租稅其ノ他ノ公課ノ支拂ニ充當スルコトヲ得

第三 内地米ノ收納價格

收納價格ハ毎年十二月全國中庸ノ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ標準米ノ價格ヲ定

メ之ヲ基準トシテ品質ニ依リ格差ヲ附シ決定告示ス

第四 内地米ノ賣却方法

賣却ハ原則トシテ白米ヲ以テ專賣官廳ヨリ指定小賣人ニ對シ之ヲ行フ

第五 内地米ノ賣却價格

(一) 專賣官廳ヨリ小賣人ニ對スル賣却價格ハ收納價格ニ保管、搗精及配給等ニ要スル經費ヲ加ヘタルモノヲ標準トシテ之ヲ定ム

(二) 小賣人ノ賣却價格ハ專賣官廳ノ賣却價格ニ一定ノ手数料ヲ加ヘタルモノトス

第六 朝鮮米及臺灣米ノ移入

(一) 朝鮮米及臺灣米ノ移入數量ハ内地ニ於ケル米穀事情ヲ考慮シテ之ヲ決定ス

(二) 朝鮮米及臺灣米ノ買入價格ハ朝鮮及臺灣ニ於ケル中庸ノ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ決定ス

第七 外國米ノ輸入

外國米ノ輸入數量ハ内地ニ於ケル米穀事情ヲ考慮シテ之ヲ決定ス

第八 專賣ノ機關

(一) 農林省外局トシテ中央米穀局ヲ、全國十地區、朝鮮及臺灣ニ地方米穀局ヲ、各道府縣ニ地方米穀局支局ヲ、各道府縣ノ主要地ニ地方米穀局支局出張所及米穀配給所ヲ置ク

暹羅、佛領印度支那、ビルマニ駐在米穀官ヲ置ク



(二) 收納價格、賣却價格、輸移入米ノ數量ノ決定其ノ他米穀專賣ノ實施ニ關スル重要事項ヲ審議セシムル爲委員會ヲ設ク

第九 會計

米穀專賣ノ實施ニ關スル歲入歲出ハ特別會計トス

第十 民業ノ賠償

内地ニ於ケル米穀取引所、其ノ取引員、米穀商及精米業者ニ對シテハ賠償金ヲ交付ス、但シ小賣人ニ指定セラレタルモノニ對シテハ賠償金ハ之ヲ交付セス

顧問 有 賀 光 豐

現行米穀制度ハ其ノ名ニ於テ需給調節ト云フモ其ノ實消費一方ノミノ統制ニシテ其ノ根本ヲ誤ルモノト認ム、依テ米穀法ヲ生産統制ニ擴張スルコトヲ希望ス

方法

- 一 米穀需給ノ趨勢ニ鑑ミ必要ニ應ジ内地、朝鮮、臺灣ニ於テ或年度ヲ限リ米穀生産ヲ制限ス
- 二 制限水田及陸稻畑ニハ代作セシメ水田一反歩ニ對シ平均十圓陸稻畑一反歩ニ對シ平均二圓補給ス
- 三 制限面積ハ行政單位ニ責任ヲ負ハシメ地方廳ノ監督ノ下ニ査定ス
- 四 行政單位ハ其ノ内部ニ於テ制限實行ヲ協議ス
- 五 内地、朝鮮、臺灣ノ水田總面積約五百四十萬町歩ニ對シ假リニ其ノ百分ノ三陸稻畑約二十萬町歩ニ對シ其ノ二分ノ一ヲ制限スルトセバ

1 制限面積

水田約十六萬町歩

陸稻畑約十萬町歩

2 生産制限量

水稻約二百七十萬石

陸稻約一百萬石

3 補給金

計 約三百七十萬石

六 違反制裁トシテハ刑事罰ヲ科セズ補給金ノ停止ト相當ノ過怠金ヲ行政單位ヨリ徴ス、則チ全國的協議ヲ法制化スル主旨ナリ

七 代作ニ依ル田租ハ輕減セズ、補給金ニ於テ鹽梅セラレ居ルモノト見ル

八 代作地ノ小作關係等ノ協定ニ付指導ス

九 人口對食糧ノ趨向ニ照シ米穀生産ノ充實方策ハ益々積極的ナルヲ要スルモ制限年度ニ於ケル新規作付地ハ一般ノ制限比率ヲ守ラシム

幹事私案トシテ提出シタルモノ左ノ如シ

米穀統制案要綱

(幹事私案)

第一 本制度ノ目的ハ米穀ノ數量及價格ノ調節ヲ圖ルニ在リ

第二 數量ノ調節

一 米穀ノ輸出入ノ許可

二 政府ハ必要アリト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ外國米、粟其ノ他ノ雜穀ノ輸入税ノ増減若ハ免



- 除ヲ爲シ又ハ粟其ノ他ノ雜穀ノ輸入ヲ制限スルコトヲ得
- 三 米穀ノ季節的の出廻數量ノ調節及地方的偏在ノ匡正ヲ圖ル爲政府ハ毎年各道府縣、朝鮮及臺灣ノ各月ノ管外移出數量ヲ推算シ全國ヲ通ジ移出數量ヲ月別平均的ナラシムル爲出廻期ニ於テ買入ヲ行ヒ出廻期後ニ賣却ヲ行フ
- 政府ハ出廻期ニ於テ各道府縣、朝鮮及臺灣ノ米穀移出ニ付許可ヲ受ケシム但シ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 政府ハ必要アリト認ムルトキハ產業組合、農業倉庫等ニ對シ新米ノ賣却ノ停止ヲ命ズルコトヲ得
- 第三 内地ニ於ケル價格ノ公定
  - 一 最低價格ハ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定メ最高價格ハ家計米價、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム(公定價格)
  - 二 政府ハ公定價格ヲ維持スル爲其ノ指定スル市場ニ於テ最低價格ニ依ル買上ノ申込及最高價格ニ依ル賣渡ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入又ハ賣却ヲ行フ
  - 第四 前各項ノ實行上必要ナル調査ニ關シテハ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

附記

本制度ノ實施ニ付テハ左記事項ヲ實行スルコトヲ要ス

- 第一 產業組合、農業倉庫等ヲシテ自治的統制ヲ圖ラシム
- 第二 内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジテ生産ノ統制ヲ圖ルモノトシ之ガ考究ヲ爲ス

第三 現行米穀需給調節特別會計ハ之ガ整理充實ヲ圖ル

委員ヨリ提出シタル案左ノ如シ

(一) 米穀統制ニ關スル意見

委員 上山滿之進

- 一 米穀法ハ之ヲ存置ス
- 二 米穀ノ季節的殺到ヲ防グガ爲メ政府ハ其ノ管外(道府縣、朝鮮、臺灣)移出ヲ統制ス各月ノ管外移出見込數量ガ移出年總量ノ月別平均數量ヲ超ユル場合ハ其ノ超過分ハ政府之ヲ買入レ月別平均數量ニ達セザル月ニ之ヲ賣渡スモノトス
- 三 米穀ノ過剩產出ヲ防グ爲メ政府ハ内地朝鮮及臺灣ヲ通ジテ當分ノ間米穀ノ生産統制ヲ行フ
- 生産統制ハ將來ノ田地面積擴張及土地改良事業ニ對スル政府又ハ公共團體ノ補助金助成金交付低利資金貸付等ヲ節制シテ之ヲ行フ

委員 岡田良平

(二)

- 一 米穀年度結了前ニ當リ殘存米ノ多寡ト收穫豫想トヲ按シ政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ一定期間新穀ノ賣買ヲ停止ス
- 一 新穀ノ賣買停止中ハ產業組合ニ於テ新穀ヲ擔保トシテ貸金ヲ行フ
- 一 前項ノ貸金ニ對シテハ政府ヨリ低利資金ヲ融通ス
- 一 農村ノ產業組合ヲシテ農業倉庫ヲ經營セシム



- 一 全國米穀販賣組合聯合會ノ發達ヲ圖リ又農業倉庫並ニ一般農業者ヲ指導シテ平均賣ヲ行ハシム
- 一 新穀賣買停止中ハ朝鮮米及ビ臺灣米ノ内地ニ於ケル賣買モ停止ス但シ移入セラレタル米穀ニ對シテハ低利資金ヲ融通ス
- 一 米穀法ハ大體現在ノ儘存置ス
- 一 但シ運用上ニ就キテハ改善ヲ施ス

委員 小 池 仁 郎

(三) 米穀政策ニ關スル意見  
政府ノ參考案中米穀統制制度ヲ大體ニ於テ妥當ナリト認ムルモ其内數點ノ條項ニ就キ左ノ如キ意見ヲ有スルモノナリ

- 一 公定價格ニ就テ
  - (イ) 公定價格ハ生産費及一般物價ノ趨向ヲ參酌シテ之ヲ定ムル外更ニ生産者ノ自家用米ノ施肥代金並ニ公租公課ヲ生産費ニ含マシムルカ否カニ就キ充分考慮スルコト
  - (ロ) 公定價格ハ十一月ヨリ翌年十月マデノ保管料及金利ヲ加算シテ月別ニ差等ヲ設ケ公定スル外農家直接ノ需要品價格ニ著シキ變動アリタル際ハ之ヲ考慮ニ入レテ公定價格ヲ算出スルコト
- 二 米穀販賣ノ自治的統制ニ就テ
  - 米穀生産者ガ地方的團體的活動ニヨリ自治的ニ米穀ノ販賣統制ヲ行フハ極メテ必須ノ要件ニ就キ之ガ充實整備ニ關シ政府ハ左ノ如キ助成方法ヲ講ズルコト
- (イ) 低金利融通ノ道ヲ開クコト

(ロ) 農業倉庫ノ普及増設ヲ助成スルコト

三 朝鮮、臺灣米ノ管理

(イ) 朝鮮、臺灣米モ前々項ニ據ル公定價格ヲ定メ其ノ移入量ハ政府ニ於テ毎月之ヲ定ムルコト

四 輸入米ノ管理

輸入米ハ政府之ヲ管理スルコト

五 肥料ノ統制ニ就テ

米穀ノ統制ト共ニ肥料ノ統制ヲ行フハ必須ノ條件ナリト認ム

米穀統制ニ關スル根本大策ヲ決定スルニ當リテハ右記ノ如キハ必ズ之ヲ實現セシムルノ要アリト信ズ

(四) 米穀統制ニ關スル意見  
委員 渡 邊 鏡 藏

第一 政府及公共團體ニヨル米穀生産獎勵方策ヲ節制スルコトニヨリ生産調節ヲ行フコト

上山委員提出ノ意見中第三項「生産統制ハ將來ノ田地面積擴張及土地改良事業ニ對スル政府又ハ公共團體ノ補助金助成金交付低利資金貸付等ヲ節制シテ之ヲ行フ」ト同一意見ナリ

第二 朝鮮米、臺灣米ノ移入ヲ統制スルコト

朝鮮米、臺灣米ノ月平均的移入ノ勵行ヲ圖リ、政府ハ必要ニ應ジテ出廻り期ニ於テ之ヲ買上グルコト

即昭和五年三月米穀調查會諮問第一號ニ對スル答申第三項ノ趣旨ニ基ク昭和七年法律第三十四號附

則第四項ノ規定ヲ充分ニ活用シ、更ニ其ノ趣旨ヲ徹底セシムル方法ヲ講ズルコト



第三 政府ノ米買上ハ内地米ヨリハ主トシテ朝鮮米、臺灣米ヲ買上グル方ガ米穀統制上有效ニシテ且政府財政上好都合ナリト思惟ス

第四 内地、朝鮮、臺灣米ヲ世界的商品タラシムルタメ常ニ輸出市場ノ開拓ト維持ニ努ムルコト

第五 米穀法ニヨル米價基準ノ基礎事項タル米穀生産費及家計費ハ之ヲ廢シ率勢米價ニヨルコト、但シ率勢米價ハ政府ノ買上賣却ノ時期ニ出來得ルダケ近キ時ノモノヲ採リ得ル方法ヲ講ズルコト（例ヘバ上山委員所論ノ如ク月々ノ率勢米價ヲ定ムル如キコト）

生産費及家計費ニヨル補正無キ率勢米價ヲ不完全ナリトスルナラバ寧ロ單純ナル物價指數基準ニヨルヲ可トス

第六 稀ナル大豊作ニ對スル方策トシテハ政府ガ昭和五年ノ大豊作ニ際シ收穫豫想當時ヨリ供給過剩ヲ見込ミテ行ハレタル諸方策例ヘバ政府所有米ノ海外委託賣却、米穀貯藏低利資金ノ融通、粃又ハ玄米貯藏獎勵其他ノ外ニ特ニ朝鮮米、臺灣米ノ移入ガ内地米價ニ對シ急激ニ重大ナル壓迫ヲ加フル虞アル場合ニ於テハ其ノ移入數量及移入時期ヲ制限スルコトヲ得ル方法ヲ講ジ置クコト

(五) 米穀政策ニ關スル意見

委員 矢 作 榮 藏

米穀統制ニ關スル根本方策ヲ樹立スルニ當リテハ左ノ各項ノ如キハ必ず之ヲ實現セシムルノ必要アリト認ム

第一 内地米ニ對スル方策

一 内地米ニ對シ政府ハ以下各項ニ依リ最低價格及最高價格ヲ公定スルコト

二 最低價格ハ米穀生産費ヲ最高價格ハ家計費ヲ基礎トシ何レモ物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ決定スルコト

三 最低價格ノ基礎トスル生産費ハ從來ノ調査項目ニ部落協議費及戸數割ノ一部ヲ附加シ尙基準市場ニ至ル迄ノ運賃諸掛リヲ加算シタルモノト爲スコト

四 生産費ノ調査農家トシテハ反當收量其ノ他ニ於テ中庸ナルモノヲ選定スルコト

五 各月ノ最低價格ハ米穀年度始期ニ於ケル生産費ニ其ノ月ニ至ル迄ノ利子及保管料ニ相當スル金額ヲ加算シテ之ヲ定ムルコト

六 政府ハ最低價格及最高價格ニ依リ生産者及消費者ノ希望ニ應ジ買入及賣渡ヲ行フコト

七 政府ハ毎年度端境期ニ於テ其ノ所有米ノ一部若ハ全部ノ買換ヲ行フコト

第二 朝鮮臺灣米ニ對スル方策

一 朝鮮、臺灣米ノ移入ハ政府ノ獨占ト爲シ生産地ニ於テ時價ヲ以テ買入レ内地ニ於ケル米穀ノ需給其ノ他ノ經濟事情ヲ考慮シ時價ヲ以テ之ヲ賣却スルコト

二 政府必要アリト認ムルトキハ朝鮮及臺灣ニ於ケル外米、粟及雜穀ノ輸入數量ヲ制限スルヲ得ル方法ヲ設クルコト

第三 外米ニ對スル方策



外米ノ輸出入並ニ其ノ處分ハ政府ノ獨占ト爲スコト

第四 米穀生産ノ統制

- 一 内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジ米作地ノ擴張ニ付テハ需給其ノ他ヲ考慮シ凡テ許可主義トスルコト
- 二 米穀検査法ヲ制定シ政府監督ノ下ニ検査ノ統一ヲ圖ルコト

第五 米穀販賣ニ關スル自治的統制

米穀生産者ハ其ノ團體並ニ機關ノ活動ニ依リ自治的ニ米穀ノ販賣組織ヲ合理化シ米價ノ安定ニ資スルハ極メテ必要ノコトナルヲ以テ之ニ對シ政府ハ助成ニ努ムルコト

第六 調 査

米穀ニ關スル各般ノ調査ヲ整備スルコト

第七 委 員 會

- 一 最低價格及最高價格ノ決定、朝鮮、臺灣米ノ買入、賣却外米ノ輸出入並ニ處分、其ノ他米穀政策ノ實施ニ關スル重要ナル事項ヲ審議スル爲委員會ヲ設クルコト
- 二 委員ノ半數ハ米穀生産者側ヨリ選定スルコト

第四 米穀法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

米穀法第二條ノ規定ハ之ヲ

大正十五年七月十五日ヨリ

臺灣ニ

昭和三年二月二十二日ヨリ

朝鮮ニ

昭和五年十月三十日ヨリ

樺太ニ

ニ施行シ、昭和六年米穀法中改正ノ結果米穀法第三條及第七條ノ規定ヲ昭和六年七月一日ヨリ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行シ尙附則第五項ヲ昭和七年十月四日ヨリ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行セリ(六〇頁參照)

參 照

○勅令第二百五十九號(大正十五年七月十五日)

米穀法第二條ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○勅令第十八號(昭和三年二月二十二日)

米穀法第二條ノ規定ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○勅令第二百五號(昭和五年十月三十日)

米穀法第二條ノ規定ハ之ヲ樺太ニ施行ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



○勅令第六十九號(昭和六年六月三十日)  
米穀法第三條及第七條ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附則

本令ハ昭和六年法律第三十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和六年七月一日ヨリ施行)

### 第五 米穀需給調節特別會計法附屬規程ノ沿革

一 米穀需給調節特別會計規則 (大正十年五月二十四日)  
(勅令第二百二十四號)

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付ス  
ヘシ

前項ノ豫定計算書ニハ其ノ年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ貸借對照表及損益計算表並其ノ年三月三十一日ニ於ケル米穀在高明細表ヲ添附スヘシ

第二條 本會計ニ於テハ當該年度ノ收入濟歳入額ヲ以テ仕拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此ノ仕拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ス

第三條 毎年度ノ歳出ニ屬スル仕拂命令ヲ發スルハ毎年度三月三十一日限トス

第四條 毎年度ニ屬スル定額戻入ヲ爲スハ毎年度三月三十一日限トス

第五條 毎年度内ニ收入ヲ爲スヘキ權利ヲ得テ當該年度内ニ收入濟トナラサルモノハ收入未濟トシテ遞次翌年度ニ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

第六條 毎年度内ニ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ當該年度内ニ仕拂命令ヲ發セサルモノハ支出未濟トシテ遞次翌年度ニ繰越シ當該年度經過後五年内ハ支出ノ請求アル毎ニ支拂命令ヲ發スヘシ但シ支出未濟ノ繰越額ハ支出濟額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルコトヲ得ス

第七條 米穀ノ賣買、交換、加工ノ請負及加工又ハ貯藏ノ設備ノ借入並勞力供給ノ請負ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

第八條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付ス  
ヘシ

第九條 本會計ノ保有スル米穀ノ價格ハ毎年度三月三十一日ニ於テ市價ニ準據シ之ヲ改定スヘシ

第十條 貸借對照表、損益計算表及米穀在高明細表ノ様式ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムヘシ

第十一條 大藏省ハ米穀需給調節特別會計ノ主計簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、確定額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額、歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、仕拂元受高、支出濟額、翌年度繰越額、殘額ヲ登記スヘシ

第十二條 所管大臣ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ本會計ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第十三條 金庫出納役ハ支出簿及仕拂元受高差引簿ヲ備ヘ支出簿ニハ歳出ノ豫算額、仕拂命令受領濟額ヲ登記シ仕拂元受高差引簿ニハ仕拂元受高、仕拂命令受領濟額、仕拂額ヲ登記スヘシ

第十四條 本令ニ規定セサルモノニ付テハ會計規則ヲ準用ス但シ第七條ノ場合ニ於テハ同規則第八十



二條ニ規定スル契約書ハ之ヲ省略スルコトヲ得

附則

本令ハ大正十年度ヨリ之ヲ適用ス

大正七年勅令第九十二號ハ大正十年五月三十一日限之ヲ廢止ス

備考 大正七年四月二十五日公布勅令第九十二號ハ外國米ノ輸入等ニ關スル件ナリ

參照

○勅令第四十號(大正十一年三月二十五日)

米穀需給調節特別會計規則中左ノ通改正ス

第一條中「八月三十一日」ヲ「九月三十日」ニ改ム

第二條中「仕拂元受高」ヲ「支拂元受高」ニ改ム

第三條 毎年度ニ屬スル歳出ヲ支出スル爲小切手ヲ振出スハ當該年度三月三十一日限トス但シ國庫

内ニ於ケル移換ノ爲ニスル支出又ハ會計法第十九條ノ規定ニ依リ歳出金ニ繰替使用シタル現金補

填ノ爲ニスル支出ニ付テハ翌年度四月三十日迄小切手ヲ振出スコトヲ得

第四條 毎年度ニ屬スル定額戻入ヲ爲スハ當該年度三月三十一日限トス

第六條 毎年度内ニ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ當該年度内ニ小切手ヲ振出ササルモノハ支出未済ト

シテ遞次翌年度ニ繰越シ時効完成ニ至ル迄ハ支拂ノ請求アル毎ニ小切手ヲ振出スヘシ但シ支出未

済ノ繰越額ハ支出済額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルコトヲ得ス

第七條 削除

第八條中「八月三十一日」ヲ「七月三十一日」ニ改ム

第十一條 削除

第十二條 支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高支出済額及殘額ヲ登記スヘシ

第十三條ノ二 農商務省ハ歳出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高、支出済額及殘額ヲ登記

スヘシ但シ支出官一人ナル場合ニ於テハ支拂元受高差引簿ヲ省略スルコトヲ得

第十四條 但書ヲ削ル

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 米穀證券發行規程 (大正十年五月三十日 大藏省令第十七號)

第一條 政府ハ米穀需給調節特別會計法第三條ニ依リ隨時米穀證券ヲ發行ス

第二條 本證券ハ其ノ額面金額ヲ一定セス

第三條 本證券ニハ記號ヲ附セス

第四條 本證券ハ買入米穀ノ受渡ヲ爲シタル日ヲ以テ之ヲ發行ス

第五條 本證券ハ其ノ發行日ノ屬スル年度ノ翌年度四月一日ニ額面金額ヲ以テ之ヲ支拂フ

第六條 本證券ニハ利子ヲ附セス

第七條 米穀需給調節特別會計法第四條ノ割引歩合ハ別ニ之ヲ告示ス



第八條 米穀賣渡人本證券ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ額面金額、枚數、發行日、交付ヲ受クヘキ國債事務取扱店及住所氏名(商號其ノ他ノ名稱)ヲ記載シタル請求書ニ米穀賣買契約ニ使用シタル印章ヲ押捺シ之ヲ農商務省ニ提出スヘシ

第九條 本證券ヲ交付スルトキハ農商務省ハ別紙書式ノ米穀證券交付通知書ヲ米穀賣渡人ニ交付ス第十條 米穀賣渡人ハ前條ノ米穀證券交付通知書ノ領收欄内ニ式ノ如ク署名シ米穀賣買契約ニ使用シタル印章ヲ押捺シ指定ノ取扱店ニ差出シ之ト引換ニ本證券ヲ受領スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
別紙

米穀證券交付通知書

第 號	指定日本銀行「何」店	受取人「氏」名
一 米穀證券額面「何」圓也		
發行日	大正 年 月 日	
支拂期日	大正 年 月 日	

右證券ハ前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ

農商務省食糧局長「氏」名「印

大正 年 月 日

前記ノ證券正ニ領收候也

大正 年 月 日

「住所」

受取人「氏」名「印

名「印

領收證

(注意事項)

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ證券領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ證券ノ交付ヲ受クヘシ
- 一 受取人カ代人ヲ以テ證券ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ
- 一 受取人ノ印章ハ賣買契約ニ使用シタル印鑑ト同一ノモノニ限ル

印紙

委 任 欄



表書證券ノ受取方ヲ

ニ委任候也

大正 年 月 日

米穀證券發行規程ハ昭和六年四月一日大藏省令第八號ヲ以テ改正ス

参照

大藏省令第八號

大正十年大藏省令第十七號米穀證券發行規程左ノ通改正ス

昭和六年四月一日

大藏大臣 井上準之助  
農林大臣 町田忠治

三 米穀證券發行規程

第一條 以下略(現行法規参照)

### 第六 米穀法施行機關

#### 一 食糧局設置

大正十年五月七日勅令第九十五號ヲ以テ農商務省官制中改正ヲ行ヒ米穀法施行ニ關スル事務ハ農商

務大臣之ヲ管理シ食糧局ヲ設ケテ此ノ事務ヲ掌ルコトトシ同時ニ農商務省分課規程ヲ改正シテ食糧局ニ業務課、調査課及經理課ヲ置キテ執務スルコトトセリ

参照

○勅令第九十五號(大正十年五月七日公布)

農商務省官制中左ノ通改正ス

第一條中「礦山及地質」ノ下ニ「米穀法施行其ノ他主要食糧需給調節」ヲ加フ

第四條中「六局」ヲ「七局」ニ改メ「水産局」ノ次ニ「食糧局」ヲ加フ

第九條ノ二 食糧局ニ於テハ米穀法施行其ノ他主要食糧需給調節及耕地ニ關スル事務ヲ掌ル

農商務省官制(抄) (明治三十一年十月二十二日勅令第九十二號)

第一條 農商務大臣ハ農、商、工、水産、林野、鑛山及地質、畜産、米穀法施行其ノ他主要食糧需給調節並軍需調査統轄ニ關スル事務ヲ管理ス

第四條 農商務省ニ左ノ七局ヲ置ク

農務局  
商務局  
工務局  
山林局  
鑛山局



水産局  
食糧局

第九條ノ二 食糧局ニ於テハ米穀法施行其ノ他主要食糧需給調節及耕地ニ關スル事務ヲ掌ル

農商務省分課規程(抄)

第二十七條 食糧局ニ業務課、調査課、經理課、耕地整理課及開墾課ヲ置ク

第二十八條 業務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 米穀ノ買入、賣渡、交換、加工及貯藏ニ關スル事項
- 二 前號ノ外主要食糧ノ需給調節ノ實行ニ關スル事項
- 三 他課ノ主掌ニ屬セサル事項

第二十九條 調査課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 米穀ノ生産、消費、取引、貯藏等ノ調査ニ關スル事項
  - 二 米穀ノ買入又ハ賣渡ノ數量、價格及時期ノ決定ニ關スル事項
  - 三 前號ノ外主要食糧ノ需給調節上必要ナル調査ニ關スル事項
  - 四 主要食糧ノ輸入税ノ増減若ハ免除又ハ其ノ輸入若ハ輸出ノ制限ニ關スル事項
- 第三十條 經理課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 米穀需給調節特別會計ニ關スル事項
  - 二 前號ノ外經理事務ノ整理ニ關スル事項

三 第一號ノ會計ニ屬スル官有財産、物品及營繕ニ關スル事項

次テ大正十二年十月五日勅令第四百三十六號ヲ以テ農商務省官制中改正ヲ行ヒ、必要ト認ムル地ニ食糧局出張所ヲ設クルコトヲ得ルコトトシ、大正十三年三月三十一日農商務省告示第四十八號ヲ以テ大阪市ニ食糧局出張所ヲ設ケ、同年六月十七日農商務省分課規程ヲ改正シ且ツ同日食第二二八八號ヲ以テ食糧局出張所處務細則ヲ、同年九月十八日食第三二三五號ヲ以テ食糧局出張所會計事務規程ヲ制定セリ

參照

○勅令第四百三十六號(大正十二年十月五日公布)

農商務省官制中左ノ通改正ス

第九條ノ二ニ左ノ二項ヲ加フ

農商務大臣ハ必要ト認ムル地ニ食糧局出張所ヲ設ケ米穀法施行其ノ他主要食糧需給調節ノ實行ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

出張所長ハ農商務技師ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○大正十三年六月十七日文第二九二號

農商務省分課規程中左ノ通改正ス



第二十七條中「食糧局ニ」ノ下ニ「食糧局出張所ノ外」ヲ加フ

○農商務省告示第四十八號

米穀法ノ施行其ノ他主要食糧需給調節ノ實行ニ關スル事務ヲ分掌セシムル爲左ノ箇所ニ食糧局出張所ヲ置ク

大正十三年三月三十一日

農商務大臣 子爵 前 田 利 定

大阪市西區船町一番地

食糧局出張所

○食第二二八八號

食糧局出張所處務細則左ノ通定ム

大正十三年六月十七日

農 商 務 大 臣

食糧局出張所處務細則

第一條 食糧局大阪出張所ハ大阪府及兵庫縣下所在ノ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ管理スルモノトス

第二條 所長ハ左ニ掲クル事項ヲ專決處理スルコトヲ得但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 一廉金千圓ヲ超エサル印刷物ノ調製、所用物品ノ買入、貸借、運搬、職工人夫ノ雇傭及勞力

供給ノ請負ニ關スル件

二 一廉金二百圓ヲ超エサル國有財産及所用物品ノ修繕ニ關スル件

三 一廉金二百圓ヲ超エサル不用物品ノ賣拂ニ關スル件

四 米穀及物品ノ亡失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル處分ニ關スル件但シ價格百圓ヲ超ユルモノ及故意又ハ怠慢ニ因ルモノヲ除ク

五 一廉金五百圓ヲ超エサル廣告料ニ關スル件

六 官吏出張先ニ於テ公務ニ要スル通信運搬費等金五十圓以内ノ處理ニ關スル件

七 所員ノ事務分擔ニ關スル件

八 七日以内ノ内地出張及所員ノ十四日以内ノ内地出張ニ關スル件

九 所員ノ看護歸省、墓參、除服出仕、轉地療養、旅行願及受験願ニ關スル件

十 所員ノ大正十一年閣令第六號ノ規定ニ依ル休暇ニ關スル件

十一 所員ノ缺勤届、内地出張發著届、宅調及外勤ニ關スル件

十二 巡視、給仕、小使其ノ他傭人ノ傭罷及給與ニ關スル件

十三 官廳其ノ他ニ對スル照會、回答ニシテ事ノ輕易ナルモノニ關スル件

十四 提出者ノ請求ニ依ル處分未濟書類返戻ニ關スル件

十五 受領證、證明書等ノ下付又ハ移送ニ關スル件

十六 公共團體、學校又ハ展覽會等ニ參考品ノ貸與又ハ出陳ニ關スル件



十七 圖書、印刷物、標本、見本等ノ領收又ハ配布ニ關スル件  
第三條 所長前條第一號、第二號、第四號、第七號、第八號ノ規定ニ依ル所長ノ出張及所員ノ八日  
以上ノ出張並第十二號ノ規定ニ依ル事項ヲ處理シタルトキハ其ノ都度遲滯ナク之ヲ食糧局長ニ報  
告スヘシ

二 農務局ニ合併

然ルニ行政整理ノ爲大正十三年十二月二十日勅令第三百六十三號ヲ以テ農商務省官制中改正ヲ行ヒ食  
糧局ヲ廢止シテ從來食糧局ニ於テ主掌セシ事務ハ之ヲ農務局ニ於テ主掌スルコトトシ、同時ニ農商務  
省分課規程ヲ改正シ、業務課及調査課ヲ合併シテ米穀課トシ、經理課ト共ニ米穀法ニ關スル事務ヲ執  
ルコトトセリ、尙此ノ時農商務省官制第一條中「其ノ他主要食糧需給調節」ヲ削除セリ

參照

○勅令第三百六十三號(大正十三年十二月二十日公布)

農商務省官制中左ノ通改正ス

第一條中「其ノ他主要食糧需給調節」ヲ削ル

第五條中「蠶」ヲ「蠶、繭、生糸、」ニ「及狩獵」ヲ「狩獵、耕地及米穀法施行」ニ改メ同條ニ左ノ二項  
ヲ加フ

農商務大臣ハ必要ト認ムル地ニ米穀事務所ヲ設ケ米穀法施行ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコト  
ヲ得

米穀事務所長ハ農商務技師ヲ以テ之ニ充ツ  
第九條ノ二ヲ削リ、、、、

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○大正十三年十二月二十日 文第五五六號

農商務省分課規程中左ノ通改正ス

第五條 農務局ニ米穀事務所ノ外農政課、農產課、繭糸課、農務課、耕地課、米穀課及經理課ヲ置ク

第十條ノ二 米穀課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀ノ買入、賣渡、交換、加工及貯藏ニ關スル事項

二 米穀ノ需要、供給、貯藏、生産費等ノ調査ニ關スル事項

三 米穀ノ輸入税ノ増減若ハ免除又ハ其ノ輸入若ハ輸出ノ制限ニ關スル事項

第十條ノ三 經理課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀需給調節特別會計ニ關スル事項

二 前號ノ會計ニ屬スル國有財産、物品及營繕ニ關スル事項

大正十四年三月三十一日勅令第三十五號ヲ以テ各省官制中改正ヲ行ヒ、同日勅令第三十六號ヲ以テ農  
林省官制ヲ公布シ、勅令第三十八號ヲ以テ農商務省官制ヲ廢止シ大正十四年四月一日ヨリ農林、商工  
兩省分立セリ



參照

○各省官制通則 (明治二十六年十月三十一日) (勅令第百二十二號)

第一條 本則ハ外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、逓信及鐵道ノ各省ニ適用ス

○勅令第三十五號(大正十四年三月三十一日)

各省官制通則中左ノ通改正ス

第一條中「農商務」ヲ「農林、商工」ニ改ム

附則

本令ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○農林省官制(抄) (大正十四年三月三十一日) (勅令第三十六號)

第一條 農林大臣ハ農、林、水産、畜産及米穀法施行ニ關スル事務ヲ管理ス

第二條 農林省ニ左ノ五局ヲ置ク

- 農 務 局
- 山 林 局
- 水 産 局
- 畜 産 局
- 蠶 絲 局

第三條 農務局ニ於テハ農事、茶、副業、産業組合、産業組合中央金庫及米穀法施行ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條 農林大臣ハ必要ト認ムル地ニ米穀事務所ヲ設ケ米穀法施行ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

米穀事務所長ハ農林技師ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本令ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○勅令第三十八號(大正十四年三月三十一日)

農商務省官制ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○大正十四年四月一日

農林省分課規程 (抄)

第七條 農務局ニ米穀事務所ノ外農政課、農産課、副業課、産業組合課、耕地課、米穀課及經理課ヲ置ク

第十三條 米穀課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 米穀ノ買入、賣渡、交換、加工及貯藏ニ關スル事項



- 二 米穀ノ需要、供給、貯藏、生産費等ノ調査ニ關スル事項
  - 三 米穀ノ輸入税ノ増減若ハ免除又ハ其ノ輸入若ハ輸出ノ制限ニ關スル事項
- 第十四條 經理課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 米穀需給調節特別會計ニ關スル事項
  - 二 前號ノ會計ニ屬スル國有財産、物品及營繕ニ關スル事項

○秘發第六號

農務局  
山林局  
水産局  
畜産局

農商務省官制及農商務部内臨時職員設置制ニ依ル職員ニシテ農務局山林局水産局又ハ畜産局ニ勤務シタル者農林省官制及農林部内臨時職員設置制定並農商務省官制廢止ノ件施行ニ依リ農林省職員ニ任用セラレタルトキハ特ニ辭令ヲ發セラレザル限リ農務局、山林局、水産局又ハ畜産局勤務ヲ命ゼラレタルモノトシ農商務省ノ囑託員、雇員ニシテ農務局、山林局、水産局又ハ畜産局ニ勤務シタル者右官制施行ニ際シ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各従前ノ給與ヲ以テ農林省ノ囑託員、雇員ヲ命ゼラレ農務局、山林局、水産局又ハ畜産局勤務ヲ命ゼラレタルモノト心得ベシ

大正十四年四月一日

○達第一號

元食糧局職員

今般農商務省官制中改正並農商務部内臨時職員設置制中改正ノ件施行ニ際シ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ農務局勤務ヲ命ゼラレ尙左記ニ依リ各課勤務ヲ命ゼラレタルモノト心得ベシ

大正十三年十二月二十日

農商務省農務局長 石 黒 忠 篤

左 記

元業務課及調査課勤務ノモノハ 米 穀 課  
 元耕地整理課開墾課ニ勤務ノモノハ 耕 地 課  
 元經理課勤務ノモノハ 經 理 課  
 米穀法施行上米穀ノ價格調査ノ必要アルヲ以テ昭和四年六月二十七日文第三三四號ヲ以テ農林省分課規程ヲ改正セリ

參 照

○昭和四年六月二十七日文第三三四號

農林省分課規程中左ノ通改正ス

第十三條第二號中「生産費」ノ下ニ「價格」ヲ加フ

昭和六年五月七日勅令第七十二號ヲ以テ農林部内臨時職員設置制ヲ改正シ米穀生産費調査ノ爲技師、



屬、技手ヲ設置スルコトトセリ

參照

○勅令第七十二號(昭和六年五月七日)

農林部内臨時職員設置制中左ノ通改正ス

第二條、、、、、、、同條中第十八號ヲ削リ第十一號ヲ第十二號トシ以下順次繰下ケ

同條ニ第十一號及第十九號トシテ左ノ二號ヲ加フ

十一 (略)

十九 米穀生産費調査ニ關スル事務ニ従事スル者

技 師 專任二人

屬 專任二人

技 手 專任四人

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 米穀部ノ設置

最近ニ於ケル我國ノ米穀事情ニ鑑ミ内地、臺灣、朝鮮及外國米ニ付充分ナル調査ヲ遂ゲ米穀統制計畫ヲ樹立スルノ必要アルニ依リ之ニ要スル經費十萬圓ヲ昭和七年度追加豫算トシテ要求シ昭和七年六月二十九日勅令第九十四號ヲ以テ農林省官制ヲ改正スルト共ニ勅令第九十五號ヲ以テ農林省ニ米穀部ヲ

設置シ米穀法ノ施行及米穀統制計畫ノ調査ニ關スル事務ヲ掌ラシムルコトトナレリ、尙同日文第七四〇號ヲ以テ農林省分課規程ヲ改正シ農務局ヨリ米穀、經理ノ二課及米穀事務所ヲ分離シテ米穀部ニ計畫、資料、米穀、經理ノ四課及米穀事務所ヲ置クコトトセリ

參 照

○勅令第九十四號(昭和七年六月二十九日公布)

農林省官制中左ノ通改正ス

第三條中「産業組合中央金庫及米穀法施行」ヲ「及産業組合中央金庫」ニ改ム

第九條第一項中「農林事務官專任十二人」ヲ「農林事務官專任十人」ニ改ム

第十三條第一項中「農林技師專任五十一人」ヲ「農林技師專任四十六人」ニ改ム

第十四條中「專任百十二人」ヲ「專任百二人」ニ改ム

第十七條第一項中「農林技手專任七十五人」ヲ「農林技手專任六十九人」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臨時農林省ニ米穀部ヲ設置スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

昭和七年六月二十八日

内閣總理大臣 子爵 齋 藤 實



農林大臣 後 藤 文 夫

○勅令第九十五號(昭和七年六月二十九日公布)

第一條 米穀法ノ施行及米穀統制計畫ノ調査ニ關スル事務ヲ掌ラシムル爲臨時農林省ニ米穀部ヲ置ク

第二條 農林省ニ左ノ職員ヲ置キ米穀部ニ屬セシム

部長 一人 勅任

書記官 專任一人

事務官 專任三人

技師 專任四人

屬 專任七人

技手 專任十一人

第三條 部長ハ農林大臣ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第四條 米穀統制計畫ノ調査ニ關スル事務ヲ輔ケシムル爲農林省ニ米穀部顧問ヲ置ク

米穀部顧問ハ農林大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

米穀部顧問ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○勅令第九十六號(昭和七年六月二十九日公布)

農林部内臨時職員設置制中左ノ通改正ス

第二條第一項中第十九號ヲ削ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○文第七四〇號

省 内 一 般

農林省分課規程中左ノ通改正ス

昭和七年六月二十九日

農林大臣 後 藤 文 夫

第七條 農務局ニ農政課、農産課、副業課、産業組合課、耕地課及肥料課ヲ置ク

第十三條 削 除

第十四條 削 除

第三十條 米穀部ニ米穀事務所ノ外計畫課、資料課、米穀課及經理課ヲ置ク

第三十一條 計畫課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀政策上諸般ノ調査ニ關スル事項

二 米穀統制計畫ニ關スル事項



三 他課ノ主掌ニ屬セザル事項

第三十二條 資料課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 在米高ノ調査ニ關スル事項

二 米穀生産費ノ調査ニ關スル事項

三 米穀法第四條ノ最低價格及最高價格ニ關スル事項

四 米穀ノ需給、價格及取引ノ調査ニ關スル事項

五 米穀ノ加工、運送、貯藏、病蟲害ノ驅除豫防等ノ調査ニ關スル事項

第三十三條 米穀課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀法ニ依ル米穀ノ買入、賣渡、交換、加工及貯藏ニ關スル事項

二 米穀ノ輸入税ノ増減若ハ免除又ハ其ノ輸入若ハ輸出ノ許可ニ關スル事項

三 米穀法施行令第十二條ノ指定及同令第十三條ノ報告ニ關スル事項

第三十四條 經理課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀需給調節特別會計ニ關スル事項

二 前號ノ會計ニ屬スル國有財産、物品及營繕ニ關スル事項

○昭和七年六月二十九日

米 穀 部 長 殿

農 務 局 長

農林省官制中改正、農林部内臨時職員設置制中改正及臨時農林省ニ米穀部ヲ設置スルノ件ニ關スル勤務關係ニ付別紙ノ通令達有之候條御了知相成度候也

〔寫〕

○農祕甲第三二八號

農 務 局 長

元農務局米穀課、元農務局經理課及米穀事務所勤務ノ者ニシテ今般農林省官制中改正、農林部内臨時職員設置制中改正及臨時農林省ニ米穀部ヲ設置スルノ件ニ關スル勅令施行ニ際シ別ニ辭令ヲ發セラレザルモノハ米穀部勤務ヲ命ゼラレタル義ニ付右各本人ヘ示達スベシ囑託員及雇員ニ就テモ亦同シ

昭和七年六月二十九日

農林大臣 後 藤 文 夫

○達第一號

元農務局米穀課職員

元農務局經理課職員

元農務局米穀事務所職員

今般農林省官制中改正、農林部内臨時職員設置制中改正及米穀部官制施行ニ際シ別ニ辭令ヲ發セラレサルトキハ米穀部勤務ヲ命ゼラレ尙別ニ課勤務辭令ヲ發セラレサル者ハ左記ニ依リ各課



勤務ヲ命セラレタルモノト心得フヘシ

昭和七年六月二十九日

農林省米穀部長

記

元農務局米穀課勤務ノ者ハ米穀部米穀課

元農務局經理課勤務ノ者ハ米穀部經理課

元農務局各米穀事務所勤務ノ者ハ其ノ勤務ノ米穀事務所

米穀部顧問

昭和七年勅令第九十五號(米穀部設置ニ關スル件)第四條ノ規定ニ依リ左記ノ通米穀部顧問ヲ置キ昭和七年七月二十七日、二十八日、二十九日、八月二日、三日、五日、六日ノ七回ニ亘リ農林大臣官邸ニ於テ顧問會ヲ開キ米穀統制ニ關シ協議セリ

○昭和七年七月二十三日

- 從三位勳一等 上山滿之進
- 從三位勳二等 安藤廣太郎
- 正三位勳二等 牧野忠篤
- 從四位勳三等 高田耘平
- 正五位勳三等 東武

從四位勳四等

有賀光豊

農林省米穀部顧問被仰付

昭和七年九月二十七日文第一二二六號ヲ以テ農林省分課規程中改正ヲ行ヒ米穀部資料課ヲ米穀部調査課ニ改メタリ

參照

○文第一二二六號(昭和七年九月二十七日)

農林省分課規程中左ノ通改正ス

(抄)

第三十條中「資料課」ヲ「調査課」ニ改ム

第三十二條中「資料課」ヲ「調査課」ニ改ム

四 米穀事務所

農商務省官制及農林省官制ノ規定ニ依リ東京、大阪、酒田、門司、新潟、名古屋及京城ニ米穀事務所ヲ神戸ニ大阪米穀事務所出張所ヲ設ケ米穀事務所處務細則ヲ以テ其ノ管理スベキ米穀所在ノ地域ヲ規定セシガ各米穀事務所設置年月日及所在地左ノ如シ

米穀事務所	所在地	設置年月日
東京米穀事務所	東京市深川區濱園町二番地	大正十四年一月十九日
大阪米穀事務所	大阪市大正區船町一番地	大正十三年十二月二十日



同 神戸出張所  
 酒田米穀事務所  
 門司米穀事務所  
 新潟米穀事務所  
 名古屋米穀事務所  
 京城米穀事務所

神戸市兵庫區川崎町九十三番地  
 山形縣飽海郡酒田町新光ヶ丘五十三番  
 門司市大字門司字大久保三千七百五十番地ノ一  
 新潟市船場町二丁目字船繫場三千四百三十五番ノ一  
 名古屋市南區大江町一番地ノ五  
 京城府黃金町二丁目百九十五番地

昭和七年四月十三日  
 大正十五年三月二十日  
 大正十五年三月二十日  
 昭和四年六月二十七日  
 昭和五年四月一日  
 昭和八年二月十一日

備考

食糧局出張所ヲ大阪米穀事務所トセリ

尙管理區域設定年月日及區域左ノ如シ

管理區域	設定年月日	區域
一三、六、一七	東京府	大阪府
一四、一、二三	神奈川縣	兵庫縣
一五、三、二〇		酒田
		門司
		新潟
		名古屋
		京城

四、六、二七	栃木縣	京都府	新瀉縣
五、四、一	群馬縣	滋賀縣	愛知縣
六、二、二五	埼玉縣	鳥取縣	三重縣
六、一〇、二一	千葉縣	香川縣	岐阜縣
六、一二、一五	茨城縣	廣島縣	福井縣
七、五、一九			
八、二、一一			

○米穀法施行機關一覽表

設置年月日

大正十年五月七日

農商務省食糧局

局

課、所

大正十三年三月三十一日

業務課  
 調査課  
 經理課  
 食糧局出張所(大阪)



大正十三年十二月二十日

農商務省農務局ニ合併

大正十四年一月十九日

大正十四年四月一日

農林省農務局

大正十五年三月二十日

昭和四年六月二十七日

昭和五年四月一日

昭和七年四月十三日

昭和七年六月二十九日

農林省米穀部

米穀課  
 經理課  
 東京米穀事務所  
 大阪米穀事務所  
 東京米穀事務所  
 米穀課  
 經理課  
 東京米穀事務所  
 大阪米穀事務所  
 酒田米穀事務所  
 門司米穀事務所  
 新潟米穀事務所  
 名古屋米穀事務所  
 神戶出張所  
 計畫課  
 資料課  
 米穀課  
 經理課  
 米穀事務所

昭和七年九月二十七日  
昭和八年二月十一日

○大臣、政務次官、次官、參與官、局長、部長、課長氏名

(大正十年以降)

資料課ヲ調査課ニ變更  
京城米穀事務所

就任年月日	農商務大臣	政務次官	次官	參與官	食糧局長	業務課長	調査課長	經理課長
大正 七、九、二九	山本 達雄		田中 隆三					
九、六、二二					長滿 欽司	馬場 由雄	平田 慶吉	江入 魁
一〇、五、一七					副島 千八			
一〇、七、一	荒井賢太郎						代 入江 魁	
一一、一六、一二			岡本英太郎				竹内 可吉	代 竹内 可吉
一一、一六、一四								
一一、八、一二								
一一、四、一一								
一一、四、一五								
一一、八、二九					宮内國太郎			
一一、九、二	田 健治郎				三浦 實生			
一一、一、二八			竹内友治郎					











杉寅五郎  
先崎武敏  
井田かね子  
毛利君子

前田小一郎  
富澤徳二  
西鳥羽武四  
淺野祐利  
大貫弘  
阿部三郎

福田徳治  
寺澤三郎  
菱田清  
西宮勇  
大岡又衛  
佐々木房吉

山中胤衛  
香川正儀  
小川親一  
壇木哲藏  
荒木幸子  
井田昇三  
岡村昇三  
川原武雄  
川久保新一  
山崎義一  
阿部清峰  
谷中晋  
吉岡喜八郎  
石和田恒雄  
小林潤平  
浦山良晴  
池田義正

技 嘱 雇

手 託

郷勝三郎  
野々村卯平  
梅澤徳三郎  
金城順隆  
五百井亨  
清井正也  
兩角信也  
葦原浩二  
皿田三千代  
五十嵐俊雄  
大庭玉治  
大宮二郎  
飯野義彦  
星崎三郎

江畑元一郎  
半田久美  
安保宗人  
田中清吾  
石橋三郎治  
財津永康  
土井直哉  
寺田庄次郎  
宗藤哲  
松本洪

田尻壽而善  
佐藤研一  
中川代二  
中野聰悟  
表野正毅  
下川正毅  
坂川昂祐  
吉田和  
青木政雄  
最所徳次郎  
篠田静子  
大矢万市  
井上深藏

吉川恭藏  
山崎源太郎  
田中秀夫  
清水俊輔  
鳴重好太郎  
野平忠  
幸田恒雄  
小林健  
樋口秀雄  
關口一郎  
佐々木源之助  
岩本平吉  
長谷川不二夫  
彌勒地九三  
小玉新藏  
井形泰吉  
細谷武雄



所長	技師	技師	屬手	嘱託	雇
東京	對馬 彌作 ○小松 孝行	石川 俊次	高橋 獎	近藤 寛保 對馬 貞道	山本 行 青木 直 木下 義親 高橋 守治 五月女 廣 鈴木 太助 酒井 豐三 河野 常盛 小川 重保 坂本 政重 白井權太郎 內藤 廣
大阪	楠原 正秀	井澤 久	柴田勝三郎 大鳥居尙典	森井 長造 市川 清 鈴木 義勝 熊谷 三郎	小林 忠治 高月安喜治 高倉 勇 佐藤 清美 田中 爲雄 石渡 武房 黒瀬 善平
門司	水川 潔	芳賀 道德 滿藤 栗太			諸藤 好雄 弘中 利夫 岩田 茂 岡安 良雄 宮野 豊治郎 小林 一太 戸田アイ子
酒田	上川 爲	宮原巳之助 酒井 正男		長崎 新介 大林 直治	渡邊 長治 菊地勝太郎 眞島 清雄 大須賀於愛
新潟	砂田 久雄	日野 香海 糸山 貞興		石原 重之 江口 武男	末藤 勇人 小池市太郎 青木 貞治 加藤 幸夫 熊木カツイ
名古屋	井水 正名	上中 秀雄 齋藤 廣三		黒川 佐吉	志田善太郎 水木 龍侯 岩田 保之 杉山猪三夫 黒田 釧一 高橋 たけ 中川 吉次

臨時雇
工藤祐太郎 石塚 利政 白石 與三 大原 一郎 大倉サダ子 渡邊桂太郎 平野 博 齋藤 權作 中村 昂 太田 浩 荒川 敏治 有吉 菊夫 田口 正己 田村 甲一
藤井 英一 星野 海重 古賀 常雄 吉廣正四郎
山室 昇
佐藤 貞藏

第七 米穀需給調節特別會計

一、豫算及決算



年 度	豫 算		前年度繰越額		豫 算 現 額		支 出 決 算		年 度 繰 越 額		不 用 額	
	豫算額	前年度繰越額	豫算現額	支出済額	年度繰越額	不用額	備考					
大正 一一	七三、三二七、五〇〇	四、七七、八六三、三九	七七、四四、四一六、三九	二、五四七、七五九、二四	八、六四二、六七三、〇〇	五七、三〇四、九八四、六五						
大正 一二	四〇、六二一、七〇〇	八、四三三、六七一、三〇	四八、八四〇、三三三、〇〇	一四、九〇二、六三三、六四〇	二、〇二四、六六五、三〇〇	三三、八八七、〇四五、三八〇						
大正 一三	四二、九六六、九三〇	一一、一〇、六六五、三〇〇	五三、二二二、六二七、三〇〇	一九、二〇九、四七六、四四〇	三、六三三、八八七、五七〇	三〇、三六四、二五三、二九〇						
大正 一四	六二、〇三三、六六七	三、六三二、八八七、五七〇	六四、六六六、八五四、五七〇	一七、〇四六、一〇四、二四六	三、五七二、三三二、四八〇	四〇、〇四八、四七、八四四						
大正 一五	六、一九三、五九三	三、五七二、三三二、四八〇	八、七六五、八五、四八〇	七、六九二、四二二、二〇	三、三〇二、三〇〇、四三〇	七〇、七三三、〇〇二、三〇						
昭和 二	六、二四六、八〇一	三、三〇一、六〇〇、四三〇	七、五五六、四〇一、四三〇	七、五五六、八二四、五八九	二、四九九、九〇〇、三〇〇	五三、五九九、六六六、五四						
昭和 三	六八、二六四、八〇一	二、四九九、九〇〇、三〇〇	七〇、七六四、七〇一、三〇〇	二七、〇三九、四九八、八三三	三、九四三、六四五、五〇	四八、七七一、五六一、九七						
昭和 四	六四、七九七、一九五	三、九四三、六四五、五〇	六八、七四〇、八四〇、五〇	二二、七三四、一八五、三八〇	七二、七六六、八〇	四八、二四四、八六、二七						
昭和 五	六八、九三九、一八三	七、一、七七六、八七〇	六九、七〇六、九三九、八七〇	三三、一九七、〇五五、九九	三、一〇一、三三三、三〇	四三、四八八、五七七、五六一						
昭和 六	五三、六〇〇、三三三	三、一〇一、三三三、三〇	五六、七〇一、六八二、三〇	二四、一五〇、四七、三七	一、二七、六五五、二〇	三二、四三三、〇六六、九三						
昭和 七	六八、五五五、五五六	一、二七、六五五、二〇	六九、八三三、一六〇									
大正 一〇												
大正 一一												
大正 一二												

二、支出済額内訳

年 度

保 管 料

倉庫建設及維持費

借入金利息

借入金返還

其ノ他

計

備考

一三	一、二八三、九五、六一〇	二、九〇八、八六三、〇五〇	一、五五四、一〇一、八八〇	三、八一〇、一八五、六四〇	六、七三三、三〇九、三〇〇	一、九、二〇九、四七、四四〇	
一四	一、二二四、七〇一、五〇〇	二、一三三、七〇〇、二八〇	三、〇〇九、八八二、一〇一	九、九七、五三二、〇〇〇	七、七三九、〇五	一七、〇三三、二〇〇、二四六	
一五	一、〇八三、四三三、七七〇	二、三〇五、〇九三、六〇〇	三、六四八、三三二、一〇		六、五五、二五、六〇〇	七、六九二、一四二、一一〇	
二	一、三九、九二〇、〇〇〇	一、二〇六、三三三、五三〇	四、三八七、七七〇、七三		六三三、八〇〇、九九七	七、五三六、八二四、五八九	
三	二、四四六、〇〇五、七〇	二、三三三、五六九、三三〇	七、四三八、〇四八、八八		一、九〇三、八五四、九五	二七、〇三九、四九八、八三三	
四	三、一四五、六七、八一〇	一、七九九、四五、六九〇	八、三三七、五四一、六六五		九二二、五〇〇、八二五	三三、七四、一八五、三〇	
五	二、四九九、六二一、〇五〇	四、七四、七四一、〇一〇	一、〇、〇、〇、〇、〇、〇		一、〇三三、一九〇、一四五	一三、一九七、〇五五、九九	
六	二、八六七、二四五、七五〇	六、一八五、二二〇	一〇、二四七、〇七五、二八七		五、九七四、七〇〇、九六〇	二四、一五、九四七、三七	

備考 大正十年、十一年、十二年ハ震災ノ爲内容不明ノモノアルニ因リ本表ヨリ之ヲ除外ス

三、累年損益比較

年 度 別	利 益	損 失	累計(差引損益)	備 考
大正十 年度	一、二三四、九〇〇、八五〇		一、二三四、九〇〇、八五〇	利益
十一 年度		八、二八三、〇五七、〇三九	七、〇五八、一五六、一八九	損失
十二 年度		七、七九七、三五〇、四一八	一四、八五五、五〇六、六〇七	
十三 年度		一、四六〇、七四九、四五二	一六、三二六、二五六、〇五九	
十四 年度		六、三六五、六五七、五七五	二二、六八一、九一三、六三四	
昭和 十五 年度		一、〇七八、五六〇、一〇一	三三、七六〇、四七三、七三五	

其ノ他ノ増加シタルハシニ因リ



發行年 度	記號	大藏省告示 年月日及番號	割引歩合	發行額	備考
二年度			一五、九六八、五九八、一〇二	四九、七三九、〇七一、八三七	
三年度			二五、三三〇、五六二、九〇四	七五、〇五九、六三三、七四一	
四年度			二八、九四六、〇八〇、九三八	一〇四、〇〇五、七二四、六七九	
五年度			四三、九〇六、五〇六、八〇六	一四七、九一二、三二一、四八五	
六年度			一八、八四三、四一七、〇五三	一六六、七五五、六三八、五三八	

四、大正十年度以降米穀證券發行高竝ニ割引歩合

發行年 度	記號	大藏省告示 年月日及番號	割引歩合	發行額	備考
大正一〇	無號	大正一〇、六、一八、三、七、四	二錢二厘	二〇、三〇三、四五四、五六〇	
二		二、三、六、七、四		八五〇、一六九、四一〇	
三		二、三、六、七、四		二二五、五八一、一九〇	
		三、一、二、二、二		一一、二二七、五八九、六八〇	
		三、一、二、二、二		三、二八九、五七一、三四〇	
		三、一、二、二、二		三、六〇三、九七八、二八〇	
		四、九、九、二		二、二〇九、八六一、八一〇	
		四、九、九、二		二、七〇六、五七五、七八〇	
		九、八、九		一一、二、一六四、四七〇	
		九、八、九		三、三七九、七六九、七七〇	
		九、八、九			
		一〇、二、二、二			
		一〇、二、二、二			
		一〇、二、二、二			

昭和	一四	一五	元	二	三	四	五	六
のむらなねつそれたよかわをるぬり	昭和三、一、二、四	昭和三、一、二、四	昭和三、一、二、四	昭和三、一、二、四	昭和三、一、二、四	昭和三、一、二、四	昭和三、一、二、四	昭和三、一、二、四
	九、二、六	九、二、六	九、二、六	九、二、六	九、二、六	九、二、六	九、二、六	九、二、六
	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三
	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三	一、二、三

内六年度發行  
五〇、〇九一、圓七三



昭和六		發行年度	記號	大藏省告示 年月日及番號	割引歩合	發行額	備考
第一回	〃	昭和六、四、二	七、四、五	昭六、四、二	八厘	五、四〇〇,〇〇〇,〇〇〇	七、二、一償還
第二回	〃	〃	〃	〃	〃	三、二一七,〇〇〇,〇〇〇	
第三回	〃	〃	〃	〃	〃	五、七二七,〇〇〇,〇〇〇	
第四回	〃	〃	〃	〃	〃	一、八五〇,〇〇〇,〇〇〇	
第五回	〃	〃	〃	〃	〃	五、七二七,〇〇〇,〇〇〇	
七							
第六回	〃	〃	〃	〃	〃	七、〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	
第七回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第八回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第九回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第十回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第十一回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第十二回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	

五、昭和六年度以降借替米穀證券發行高並ニ割引歩合

昭和六		發行年度	記號	大藏省告示 年月日及番號	割引歩合	發行額	備考
第一回	〃	昭和六、四、二	七、四、五	昭六、四、二	八厘	五、四〇〇,〇〇〇,〇〇〇	七、二、一償還
第二回	〃	〃	〃	〃	〃	三、二一七,〇〇〇,〇〇〇	
第三回	〃	〃	〃	〃	〃	五、七二七,〇〇〇,〇〇〇	
第四回	〃	〃	〃	〃	〃	一、八五〇,〇〇〇,〇〇〇	
第五回	〃	〃	〃	〃	〃	五、七二七,〇〇〇,〇〇〇	
七							
第六回	〃	〃	〃	〃	〃	七、〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	
第七回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第八回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第九回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第十回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第十一回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
第十二回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	

第八 米穀貯藏設備

政府所有米ヲ貯藏保管スル爲東京、大阪、酒田、門司、新潟及名古屋ノ六箇所ニ國費ヲ以テ米穀倉庫ヲ建設シ尙不足スル分ハ東京其ノ他必要ナル地ニ民間倉庫ヲ指定シテ政府所有米ノ貯藏ヲ寄託スルコトトセリ、指定倉庫ノ所在地左ノ如シ

- (一) 米穀課主管
  - 北海道、青森、宮城、福島縣
- (二) 東京米穀事務所主管
  - 東京府、神奈川、千葉、埼玉、栃木、群馬、茨城縣
- (三) 大阪米穀事務所主管
  - 大阪府、兵庫縣、京都府、滋賀、鳥取、島根、香川、廣島縣



- (四) 酒田米穀事務所主管  
山形、秋田縣
- (五) 門司米穀事務所主管  
福岡、大分、熊本、山口縣
- (六) 新潟米穀事務所主管  
新潟、富山縣
- (七) 名古屋米穀事務所主管  
愛知、三重、岐阜、福井縣
- (八) 京城米穀事務所主管  
朝鮮

所	在	棟數	收容力	經	費	敷	地
東	京	一八	二九四,〇三〇 <sup>石</sup>		六,五四〇,〇二 <sup>四</sup>		二五三,〇五六〇 <sup>坪</sup>
大	阪	一〇	二〇六,五五〇		二,八六四,三三〇		二〇,二二二,〇三,七五
酒	田	六	九八,八二七		一,七〇二,九五		一,二六四,三五〇〇
新	司	一〇	一〇〇,八〇〇		二,一二五,二五八		一〇,四一九〇二〇
	鴻	四	五〇,三〇一		九三二,七三七		一七,三三〇,五三五

一 米穀事務所倉庫 一

名	計	五二	五七,一七三	一,二七五,三二五	一一〇,三三四
古	屋	四	五七,一七三	一,二七五,三二五	一一〇,三三四
		五二	八〇七,六八〇	一五,四三〇,四七六	九六,九四六,九六二,七五

備考 經費中ニハ土地代、倉庫以外ノ建物及工作物等ヲモ含ム  
同 二

所	在	工事着手年月日	竣工年月日
東	京	大正 一二、二、一六	昭和 四、一、一五
大	阪	大正 一一、一、二九	昭和 四、三、一八
酒	田	大正 一一、一、二四	昭和 四、三、一〇
門	司	昭和 一五、七、二五	昭和 四、三、一〇
新	鴻	昭和 一五、五、二五	昭和 四、三、一〇
名	古	昭和 一五、三、二八	昭和 四、三、一〇

二 指定倉庫

指定年月日	倉庫名	所在地	摘要
-------	-----	-----	----

北海道所在



昭和六、二、一八	興亞起業株式會社倉庫部	福島市榮町	
昭和六、二、一八	株式會社青森臨港倉庫	青森市新安方町八十三番地	
昭和六、二、一八	株式會社宮城倉庫	仙臺市東五番丁二番地	大正十三年四月一日以降中斷
昭和六、二、一八	株式會社同運送株式會社	仙臺市東五番丁八番地	大正十四年二月二十四日再指定
昭和六、二、一八	株式會社山田屋	亶理郡亶理町字中町五十五番地	同 舊合資會社白石倉庫(支庫) 大河原長町
昭和六、二、一八	小半田倉庫株式會社	遠田郡不動堂村字素山七〇ノ七五	大正十五年四月一日以降中斷 昭和二年十一月二十六日再指定
昭和六、二、一八	亶理倉庫株式會社	亶理郡亶理町上町三十一番地	支庫新田、築館 大正十五年四月一日以降指定セ
昭和六、二、一八	石巻運輸造船株式會社	牡鹿郡石巻町石巻仲町四番地	
昭和六、二、一八	仙北倉庫株式會社	志田郡古川町中里字大町一九〇ノ一	
昭和六、二、一八	岩沼運送株式會社	名取郡岩沼町宇崎ヶ崎五十八番地	支庫槻木、船岡、増田、中田
昭和六、二、一八	有限責任大河原町信用販賣購買利 用組合	柴田郡大河原町大字大谷字荒屋敷 後一八五番地	
昭和六、二、一八	有限責任鹿島臺村信用購買販賣組 合	志田郡鹿島臺村平渡字西錢神五九 番地	
昭和六、二、一八	有限責任船岡村信用販賣購買組合	柴田郡船岡村大字船岡字川原四八 ノ二	

青森縣所在

昭和六、二、一八	株式會社青森臨港倉庫	青森市新安方町八十三番地	
昭和六、二、一八	株式會社宮城倉庫	仙臺市東五番丁二番地	大正十三年四月一日以降中斷
昭和六、二、一八	株式會社同運送株式會社	仙臺市東五番丁八番地	大正十四年二月二十四日再指定
昭和六、二、一八	株式會社山田屋	亶理郡亶理町字中町五十五番地	同 舊合資會社白石倉庫(支庫) 大河原長町
昭和六、二、一八	小半田倉庫株式會社	遠田郡不動堂村字素山七〇ノ七五	大正十五年四月一日以降中斷 昭和二年十一月二十六日再指定
昭和六、二、一八	亶理倉庫株式會社	亶理郡亶理町上町三十一番地	支庫新田、築館 大正十五年四月一日以降指定セ
昭和六、二、一八	石巻運輸造船株式會社	牡鹿郡石巻町石巻仲町四番地	
昭和六、二、一八	仙北倉庫株式會社	志田郡古川町中里字大町一九〇ノ一	
昭和六、二、一八	岩沼運送株式會社	名取郡岩沼町宇崎ヶ崎五十八番地	支庫槻木、船岡、増田、中田
昭和六、二、一八	有限責任大河原町信用販賣購買利 用組合	柴田郡大河原町大字大谷字荒屋敷 後一八五番地	
昭和六、二、一八	有限責任鹿島臺村信用購買販賣組 合	志田郡鹿島臺村平渡字西錢神五九 番地	
昭和六、二、一八	有限責任船岡村信用販賣購買組合	柴田郡船岡村大字船岡字川原四八 ノ二	

宮城縣所在

昭和六、二、一八	興亞起業株式會社倉庫部	福島市榮町	
昭和六、二、一八	株式會社青森臨港倉庫	青森市新安方町八十三番地	
昭和六、二、一八	株式會社宮城倉庫	仙臺市東五番丁二番地	大正十三年四月一日以降中斷
昭和六、二、一八	株式會社同運送株式會社	仙臺市東五番丁八番地	大正十四年二月二十四日再指定
昭和六、二、一八	株式會社山田屋	亶理郡亶理町字中町五十五番地	同 舊合資會社白石倉庫(支庫) 大河原長町
昭和六、二、一八	小半田倉庫株式會社	遠田郡不動堂村字素山七〇ノ七五	大正十五年四月一日以降中斷 昭和二年十一月二十六日再指定
昭和六、二、一八	亶理倉庫株式會社	亶理郡亶理町上町三十一番地	支庫新田、築館 大正十五年四月一日以降指定セ
昭和六、二、一八	石巻運輸造船株式會社	牡鹿郡石巻町石巻仲町四番地	
昭和六、二、一八	仙北倉庫株式會社	志田郡古川町中里字大町一九〇ノ一	
昭和六、二、一八	岩沼運送株式會社	名取郡岩沼町宇崎ヶ崎五十八番地	支庫槻木、船岡、増田、中田
昭和六、二、一八	有限責任大河原町信用販賣購買利 用組合	柴田郡大河原町大字大谷字荒屋敷 後一八五番地	
昭和六、二、一八	有限責任鹿島臺村信用購買販賣組 合	志田郡鹿島臺村平渡字西錢神五九 番地	
昭和六、二、一八	有限責任船岡村信用販賣購買組合	柴田郡船岡村大字船岡字川原四八 ノ二	

福島縣所在



東京府所在

東神倉庫株式會社東京支店	日本橋區箱崎町三丁目一番地	震災前ニ付指定年月日不明
東京倉庫株式會社	深川區門前仲町一丁目二七ノ五	〃
日本倉庫株式會社	京橋區月島西海岸通九丁目七番地	〃
乾倉庫土地株式會社	京橋區小田原町二丁目二五ノ三	〃
澁澤倉庫株式會社	日本橋區南茅場町七十一番地	〃
帝國倉庫運輸株式會社	深川區龜住町四十番地	〃
三菱倉庫株式會社	日本橋區江戸橋一丁目一番地	〃
株式會社住友倉庫東京支店	京橋區越前堀二丁目一番地	〃
東京倉庫運輸株式會社	北豐島郡高田町雜司ヶ谷九八一番地	〃
保證責任秋田縣販賣購買組合聯合會	北豐島郡高田町雜司ヶ谷七〇三番地	〃
興亞起業株式會社赤羽支庫	北豐島郡岩淵町赤羽	〃
六、一二、四	北豐島郡王子町	〃
六、一二、四	東京市王子區王子町六六四	〃
八、二、二八		〃
王子倉庫株式會社		〃
神奈川縣所在		
橫濱倉庫株式會社	橫濱市神奈川區千若町一ノ二	震災前ニ付指定年月日不明
橫濱船渠株式會社倉庫部	橫濱市中區綠町四番地	〃

神奈川縣所在

七、一二、七	保證責任北海道信用購買組合聯合會東京支庫	本所區橫綱一六ノ一〇	〃
	東神倉庫株式會社橫濱支店	橫濱市中區新港町稅關構内	支庫川崎
	浪華倉庫株式會社橫濱支店	橫濱市神奈川區千若町二ノ一	〃
	三菱倉庫株式會社橫濱支店	橫濱市中區海岸通二ノ四	〃
大正一五、一、七	橫濱共立倉庫株式會社	橫濱市神奈川區表高島町四	〃
	興亞起業株式會社倉庫部	橫濱市神奈川區守屋町三ノ三四四	〃
昭和四、四、八	株式會社橫濱貿易倉庫	橫濱市神奈川區平沼町一丁目十六番地	〃
六、一二、一二	東神倉庫株式會社橫濱支店川崎支庫	川崎市扇町	〃
七、九、一七	橫濱新港倉庫株式會社	橫濱市中區新港町	〃

茨城縣所在

昭和三、二、一六	土浦倉庫株式會社	新治郡土浦町	昭和三年四月一日以降指定セズ
	株式會社川崎倉庫	新治郡石岡町	〃
七、五、一七	有限責任購買販賣利用組合石岡町外六ヶ村農業倉庫	新治郡石岡町大字石岡字金丸一六四五	〃
	有限責任販賣利用組合高濱町外五ヶ村農業倉庫	新治郡高濱町大字高濱七九五	〃
	有限責任下妻町外十ヶ村販賣購買利用組合	眞壁郡下妻町大字下妻乙一三三一	〃
	有限責任利用販賣購買組合下館農業倉庫	眞壁郡下館町丙二一〇	〃
	有限責任販賣利用組合結城農業倉庫	結城郡結城町大字結城七二二五	〃



七、六、二〇 有限責任大宮町外九ヶ村販賣利用組合

栃木縣所在

大正一二、一一、一	寶積寺倉庫株式會社	鹽谷郡阿久津村大字阿久津大字寶積寺九〇番地	大正十三年四月一日以降指定
〃	利榮商會運送部	那須郡大田原町二四一四番地	〃
〃	東野運送株式會社	那須郡大田原町二四〇九番地	〃
〃	下野倉庫株式會社	宇都宮市川向町六七	大正十三年四月一日以降中斷
昭和二、一二、二六	有限責任販賣利用組合宇都宮農業倉庫	宇都宮市川向町七三五	昭和二年十二月二十六日再指定
六、二、一八	有限責任栃木販賣利用組合	下都賀郡栃木町大字沼和田八九七	〃
〃	有限責任鹽谷郡南部販賣利用組合	鹽谷郡阿久津村大字寶積寺二三八	〃
〃	有限責任石橋販賣利用組合	下都賀郡石橋町大字石橋二四七ノ二	〃

埼玉縣所在

昭和六、一二、四	興亞起業株式會社倉庫部浦和支店	浦和町字矢頭六二七	〃
六、一〇、二三	澁澤倉庫株式會社深谷支庫	大里郡深谷町	〃
〃	熊谷支庫	大里郡熊谷町	〃

群馬縣所在

昭和六、二、一八	高崎倉庫株式會社	高崎市旭町	〃
----------	----------	-------	---

千葉縣所在

昭和六、一二、一四	有限責任千葉販賣購買組合聯合會	千葉市寒川一四五番地ノ一	倉庫所在地、佐原及東京
〃	有限責任東總信用販賣購買利用組合	山武郡成東町津邊一一二番地	〃

大阪府所在

大正一〇、六、二三	東神倉庫株式會社大阪支店	大阪市北區中ノ島三丁目五番地	〃
〃	三菱倉庫株式會社大阪支店	大阪市北區玉江町二丁目四ノ一	〃
〃	株式會社杉村倉庫	大阪市港區北福崎西町六番地	〃
〃	浪華倉庫株式會社	大阪市北區堂島濱通三ノ三	〃
〃	株式會社住友倉庫	大阪市西區川口町八丁目一番地	〃
昭和二、一二、二七	株式會社富島組	大阪市港區富島町六十番屋敷	〃

兵庫縣所在

東神倉庫株式會社神戸支店	神戸市加納町六丁目五番地	震災前ニ付指定年月日不明
--------------	--------------	--------------



京都府所在

昭和六、二、二〇	三菱倉庫株式會社神戸支店	神戸市東川崎町一丁目四十六番地	◇
七、四、一八	株式會社住友倉庫神戸支店	神戸市海岸通七番地ノ一	◇
	川西倉庫株式會社	神戸市兵庫川崎町一四番地	◇
	兵庫倉庫株式會社	神戸市兵庫鍛冶屋町五十一ノ一	◇
	株式會社鈴鹿商店	神戸市兵庫鍛冶屋町二十九番地	◇
	森本倉庫株式會社	神戸市磯上通二丁目三番地	◇
	横山倉庫株式會社	神戸市磯上通八丁目九番屋敷	◇
	有限責任手柄村信用販賣購買利用組合	飾磨郡手柄村栗山三四	◇
昭和五、九、一	京都倉庫株式會社	京都市下京區醒ヶ井通三哲下ル松明町五四九	昭和四年四月一日以降中斷 昭和五年九月十一日再指定
三、二、二〇	第一倉庫株式會社	京都市下京區不門通七條下ル	
	株式會社京都取引所	京都市中京區東洞院通錦小路南入阪東屋町	
	京都中央市場倉庫株式會社	京都市下京區朱雀分木町一九	

滋賀縣所在

昭和六、二、一八	近江倉庫土地株式會社	大津市阪本町三十番地	
----------	------------	------------	--

鳥取縣所在

昭和六、一、二、一	有限責任信用購買販賣利用組合伯耆農業倉庫	米子市萬能町十九番地	
	有限責任販賣組合鳥取農業倉庫	鳥取市東品治村五十七番地六	

島根縣所在

昭和六、一、二、一	有限責任能義郡販賣購買利用組合安來農業倉庫	能義郡安來町大字安來一九六六番地	
-----------	-----------------------	------------------	--

香川縣所在

昭和六、一、二、一七	有限責任販賣購買利用組合高松農業倉庫	高松市東濱町一二六番地	
	有限責任販賣購買利用組合丸龜農業倉庫	丸龜市新町四番地	
	有限責任販賣利用組合觀音寺農業倉庫	三豊郡觀音寺町甲二九七九第一	
	有限責任購買販賣利用組合坂出農業倉庫	綾歌郡坂出町一五三九第三	

廣島縣所在

七、五、一	糸崎倉庫土地株式會社	御調郡糸崎町大字東野五九二四ノ一	
-------	------------	------------------	--



山形縣所在

大正一二、一、一	株式會社酒田米穀取引所	鶴海郡酒田町秋田町(支庫藤島所外四箇所)	大正十三年四月一日以降中斷 大正十四年二月二十四日再指定
〃	株式會社鶴岡米穀取引所	鶴岡市三日町二番地	支庫、大山、狩川、横山、京田
〃	米澤倉庫部	米澤市驛前	大正十三年四月一日以降指定七
〃	社団法人寒河江農業倉庫	西村山郡寒河江町	〃
〃	有限責任置賜農産販賣購買利用組合	東置賜郡沖郷村大字鄂山	〃
〃	合名會社山形商事倉庫(支庫(漆山外一))	山形市香澄町字大寶寺三二七番地	大正十三年四月一日以降中斷 昭和三年二月十五日再指定
昭和五、一二、一五	合資會社水澤倉庫	西田川郡上郷村	〃
〃	米澤合同運送株式會社	米澤市字片子七三四五番地	〃
〃	有限責任福岡信用購買組合	北村山郡福岡町	〃

秋田縣所在

昭和六、二、二三	有限責任雄勝共同販賣購買利用組合	雄勝郡湯澤町	〃
〃	有限責任西馬音内販賣購買利用組合	雄勝郡西馬音内町	〃
五、一二、一五	有限責任販賣購買利用組合十文字農業倉庫	平鹿郡十文字町	大正十三年四月一日以降中斷 大正十五年一月十二日再指定
大正一二、一、一	有限責任平鹿共同販賣購買利用組合	平鹿郡横手町	〃

昭和六、三、七	有限責任里見信用購買販賣利用組合	平鹿郡里見村	〃
五、一二、一五	有限責任沼館信用販賣購買利用組合	平鹿郡沼館町	〃
〃	有限責任辛酉販賣購買利用組合	仙北郡飯詰村	〃
大正一二、一、一	有限責任仙北購買販賣組合	仙北郡大曲町	大正十三年四月一日以降中斷 大正十五年一月十二日再指定
昭和五、一二、一五	有限責任中仙購買販賣利用組合	仙北郡長野町	支庫、四谷
六、三、七	有限責任販賣購買組合仙北西部農業倉庫	仙北郡刈和野町	〃
六、二、二三	有限責任販賣購買利用組合鷹巣農業倉庫	北秋田郡鷹巣町	〃
〃	保證責任神村信用販賣購買利用組合	山本郡神村	〃
五、一二、一五	有限責任追分信用販賣購買利用組合	南秋田郡金足村	〃
二、一二、二九	物產委託合名會社	南秋田郡土崎港町永覺町二九	支庫、秋田
大正一二、一、一	村金倉庫	南秋田郡土崎港町永覺町二一	大正十三年四月一日以降指定七
〃	土崎倉庫	南秋田郡土崎港町	〃
昭和六、三、六	有限責任新屋販賣購買組合	河邊郡新屋町	〃
三、二、一五	有限責任本莊販賣購買組合	由利郡本莊町	〃
大正一五、一、一二	株式會社本莊倉庫	由利郡本莊町看町二五番地	〃
一二、一一、一	有限責任平澤町信用購買販賣利用組合	由利郡平澤町	大正十三年四月一日以降中斷 昭和五年十二月十五日再指定
昭和五、一二、一五	有限責任象潟上郷上濱購買販賣利用組合	由利郡象潟町	〃



大正一二、一一、一	有限責任金浦町購買販賣組合	由利郡金浦町	大正十三年四月一日以降指定セ
◇	鈴木倉庫	由利郡本庄町	
◇	石臨倉庫	由利郡本庄町	

福岡縣所在

	濠澤倉庫株式會社門司支店	門司市大字門司濱町七ノ一	震災前ニ付指定年月日不明
	三菱倉庫株式會社門司支店	門司市大字門司東港町二	
	東神倉庫株式會社門司支店	門司市大字門司濱町九ノ一	◇
七、六、二五	有限責任蓬内信用購買販賣利用組合	糟屋郡席内村大字蓬内八六六	
七、一〇、二八	邑本倉庫合資會社	門司市門司字濱町六ノ一	

山口縣所在

	浪華倉庫株式會社下關支店	下關市觀音崎町六ノ一	震災前ニ付指定年月日不明 倉庫ハ大部分門司ニ在リ
	下關倉庫株式會社	下關市西南郡町八〇番地	

熊本縣所在

昭和二、一二、二三	保證責任信用販賣組合肥後米券社	熊本市中唐人町十六番地	支庫、來民、甲佐
-----------	-----------------	-------------	----------

五、一二、一五	株式會社藤本倉庫	熊本市西唐人町十六番地	昭和四年四月一日以降指定セ
三、二、一五	濠澤倉庫株式會社門司支店熊本派 出倉庫	熊本市	
◇	三角派出倉庫	宇土郡三角町	◇

長崎縣所在

昭和二、一二、二三	高見倉庫	長崎市浦五島町	昭和三年四月一日以降指定セ
◇	松本倉庫	◇	
◇	中村倉庫	◇	
◇	平松倉庫	◇	◇

大分縣所在

昭和三、二、一五	有限責任中津販賣組合今津支庫	中津市字中殿大字福成六九七ノ二	大分市大字生石一〇
二、一二、二二	東神倉庫株式會社門司支店大分倉庫	大分市大字生石	
四、四、一	有限責任大分販賣組合	大分市大字生石	字佐郡長州町大分長州九〇七
五、一二、一五	有限責任字佐郡東部販賣組合	字佐郡安心院村一、七八六	
◇	有限責任字佐郡南部販賣組合	字佐郡中山香村大字内河野二、七	遠見郡立石町大字立石二四五二
◇	有限責任山香販賣購買組合	遠見郡中山香村大字内河野二、七	
◇	有限責任立石販賣組合	遠見郡立石町大字立石二四五二	



六、二、一九 有限責任三重郷販賣利用組合

大野郡三重町大字市場一〇六三

新潟縣所在

大正一五、一、一一

新潟倉庫株式會社

新潟市船場町二ノ三四二三

昭和二年四月一日以降中斷  
昭和二年九月二十一日再指定

昭和二、一一、一一

廻船問屋倉庫株式會社

新潟市船場町二ノ三四三六

昭和二、一一、一一

新潟港灣倉庫株式會社

新潟市沼垂

昭和二、一一、一一

臨港倉庫株式會社

新潟市沼垂四九一四

昭和二、一一、一一

株式會社北越倉庫銀行

中頸城郡直江津町

昭和四年四月一日以降指定セス  
昭和五年四月一日以降指定セス

昭和二、一一、一一

城岡合同運送株式會社

長岡市長岡町三六四

昭和二、一一、一一

有限責任上古志農業倉庫販賣利用組合

古志郡上頸村大字宮内

昭和二、一一、一一

長岡倉庫運輸株式會社

長岡市城内町二丁目七五〇ノ二

昭和二、一一、一一

頸城倉庫株式會社

中頸城郡大湊村百間

昭和二、一一、一一

有限責任見附郷販賣購買利用組合

南蒲原郡見附町四四六

昭和二、一一、一一

有限責任販賣購買組合加治川米農

北蒲原郡新發田町字諏訪裏

昭和二、一一、一一

北越倉庫株式會社

中頸城郡直江津町大字直江津六〇二

昭和二、一一、一一

三條倉庫株式會社

南蒲原郡三條町大字田島三九六

昭和二、一一、一一

有限責任新潟縣販賣購買利用組合

長岡市城内町二ノ七五〇ノ一

昭和二、一一、一一

高田倉庫株式會社

高田市仲町三丁目

七、五、一六

高田倉庫株式會社

高田市仲町三丁目

富山縣所在

昭和二、一一、二七

栗田倉庫

射水郡伏木町

昭和三年四月一日以降指定セス

昭和二、一一、二七

越中倉庫株式會社

射水郡伏木町湊町六二

昭和三年四月一日以降中斷  
昭和五年十二月十二日再指定

昭和二、一一、二七

荻布合名會社

射水郡伏木町古國府八七

昭和二、一一、二七

伏木新倉庫株式會社

射水郡伏木町古國府八七

昭和二、一一、二七

新湊商業株式會社

射水郡新湊町放生津二四二

昭和二、一一、二七

有限責任利用組合富北農業倉庫

上新川郡豊田村一一八

昭和二、一一、二七

有限責任下新川中央販賣利用組合

下新川郡石田村天神新三六〇

昭和二、一一、二七

有限責任販賣利用組合四輪農業倉庫

西頸波郡吉江村荒木五四四一

昭和二、一一、二七

有限責任販賣利用組合不動地方農業倉庫

西頸波郡石動町上野本二五八ノ一

昭和二、一一、二七

有限責任入善區域利用販賣組合

下新川郡入善町入善五二二七ノ三

昭和二、一一、二七

新湊物產株式會社

射水郡新湊町六渡寺一三七

昭和二、一一、二七

有限責任射水東部販賣利用組合

射水郡小杉町三ヶ四ノ一五六

愛知縣所在

昭和二、一一、二三

東神倉庫株式會社名古屋出張所

名古屋市南區千手字二ノ割七〇六

支庫、新川

昭和二、一一、二三

東陽倉庫株式會社

名古屋市中區新柳町六丁目三ノ一

昭和二、一一、二三

川西倉庫株式會社名古屋出張所

名古屋市南區海岸通